

臨床工学技士の業務実態調査 2022

調査・統計委員会

『臨床工学技士の業務実態調査 2022』を2022年10月1日から11月14日の期間で実施したので、その結果概要を報告いたします。お忙しい業務の中、貴重なお時間を割いていただきご協力いただきありがとうございました。

臨床工学技士の業務範囲の追加（告示研修関連）や今後の更なる業務獲得、診療報酬獲得に向けてなど、安定した臨床工学技士の基盤を構築していくうえで、業務実態調査は行政機関への政策提言や関連団体との折衝に使用する根拠となり重要なものとなっております。

そのうえで、回収率の高い調査結果は、団体への協力の高さや調査結果に偏りが少なく信憑性の高い資料ともなりえます。

尚、今回の調査結果は（公社）日本臨床工学技士会の活動の貴重な資料として活用させていただき、事務局にて適正に保管いたします。

本調査の目的

業務実態調査は、公益社団法人日本臨床工学技士会定款第2章目的及び事業に基づき、業務に関する調査を行い、実態を把握すること、また当会に対する意識調査を行い、今後の活動に反映することを目的とする。

調査事項

- 1) 「個人調査」正会員全員が回答
- 2) 「施設基本調査」施設代表者が回答
- 3) 「施設基本調査」に加え(アドオン)血液浄化編, 呼吸療法編, 在宅呼吸療法編, 集中治療編, 心臓・血管カテーテル編, 内視鏡編, 手術室編, 不整脈アブレーション治療編, 心臓植込み型デバイス関連編, 高気圧酸素治療編, ハイパーサーミア編を実施した。

臨床工学技士の業務実態調査 2022

2022年12月18日
 調査期間：2022年10月1日～11月14日
 正会員数：23,485名
 回答数：11,405件
 回収率：49%
 調査・統計委員会

- I. 「臨床工学技士の業務実態調査 2022」の概要
- II. 個人調査
- III. 施設基本調査
- IV. 施設調査 血液浄化アドオン
- V. 施設調査 呼吸療法アドオン
- VI. 施設調査 在宅呼吸療法アドオン
- VII. 施設調査 集中治療アドオン
- VIII. 施設調査 心臓・血管カテーテルアドオン
- IX. 施設調査 内視鏡アドオン
- X. 施設調査 手術室アドオン
- XI. 施設調査 不整脈アブレーション治療アドオン
- XII. 施設調査 心臓植込み型デバイス関連アドオン
- XIII. 施設調査 高気圧治療アドオン
- XIV. 施設調査 ハイパーサーミアアドオン

調査統計委員会

石井 宣大 東京慈恵会医科大学附属柏病院
 今田 寛人 広島赤十字・原爆病院
 内田 隆央 (医) 静正会 三井クリニック
 岸上 香織 医療法人 厚生会 福井厚生病院
 杉浦 正人 関西医科大学香里病院
 塚野 雅幸 長崎みなとメディカルセンター
 久行 菜帆 医療法人中央内科クリニック
 三春 摩弥 山形大学医学部附属病院

調査統計委員会担当理事

五十嵐 茂幸 福井県済生会病院

I. 「臨床工学技士の業務実態調査 2022」の概要

1. 本調査の目的

業務実態調査は、公益社団法人日本臨床工学技士会定款第2章目的及び事業に基づき、労務に関する調査を行い、実態を把握すること、また当会对する意識調査を行い、今後の活動に反映することを目的とする。

2. 調査の範囲及び対象

日本臨床工学技士会 正会員

3. 調査対象数

正会員数 23,485名 (2022年10月3日時点)

4. 調査事項

- 1) 「個人調査」正会員が回答
- 2) 「施設基本調査」施設代表者が回答
- 3) 「施設基本調査」に加え (アドオン) 11領域の調査を実施した。

5. 調査の時期

2022年10月1日から2022年11月14日に行った。

6. 調査方法

日本臨床工学技士会 会員情報システム「e-プリバド」内のアンケートを使用してオンラインにより回収する方法を使用した。

7. 有効回答数及び有効回答率

- 1) 個人調査：有効回答数：11,405件、有効回答率49%
- 2) 施設基本調査：有効回答数：1,890件
- 3) 施設調査 (アドオン) 「血液浄化編」：有効回答数：1,638件
- 4) 施設調査 (アドオン) 「呼吸療法編」：有効回答数：1,093件
- 5) 施設調査 (アドオン) 「在宅呼吸療法編」：有効回答数：586件
- 6) 施設調査 (アドオン) 「集中治療編」：有効回答数：516件
- 7) 施設調査 (アドオン) 「心臓・血管カテーテル編」：有効回答数：613件
- 8) 施設調査 (アドオン) 「内視鏡編」：有効回答数：651件
- 9) 施設調査 (アドオン) 「手術室編」：有効回答数：817件
- 10) 施設調査 (アドオン) 「不整脈アブレーション治療編」：有効回答数：426件
- 11) 施設調査 (アドオン) 「心臓植込み型デバイス関連編」：有効回答数：622件
- 12) 施設調査 (アドオン) 「高気圧酸素治療編」：有効回答数：243件

13) 施設調査 (アドオン)「ハイパーサーミア編」:
有効回答数: 122 件

8. 今後の課題

- 1) 選択, 単一回答は回答数を n (%) で表し, 選択複数回答では回答者数を n (%) で表記した.
- 2) 量的変数は, 階級 n (%) を表記した.
- 3) その他は, 代表的な内訳 (n) を表記した.

9. その他

1) 調査に関する問い合わせについて

業務実態調査期間中に問い合わせは 740 件あった.

e-プリバドのシステム変更後に初めて実施した調査であり, ログイン方法, ID・パスワードが不明などで問い合わせが増加したものと考えられた. ログインできない場合などの対処を事前に周知することを検討する.

回答	n	割合
北海道	302	(2.6%)
青森県	151	(1.3%)
岩手県	178	(1.6%)
宮城県	398	(3.5%)
秋田県	174	(1.5%)
山形県	240	(2.1%)
福島県	243	(2.1%)
茨城県	187	(1.6%)
栃木県	122	(1.1%)
群馬県	249	(2.2%)
埼玉県	418	(3.7%)
千葉県	481	(4.2%)
東京都	782	(6.9%)
神奈川県	588	(5.2%)
新潟県	206	(1.8%)
富山県	134	(1.2%)
石川県	101	(0.9%)
福井県	120	(1.1%)
山梨県	123	(1.1%)
長野県	164	(1.4%)
岐阜県	130	(1.1%)
静岡県	249	(2.2%)
愛知県	609	(5.3%)
三重県	178	(1.6%)
滋賀県	96	(0.8%)
京都府	177	(1.6%)
大阪府	507	(4.4%)
兵庫県	340	(3.0%)
奈良県	117	(1.0%)
和歌山県	57	(0.5%)
鳥取県	125	(1.1%)
島根県	151	(1.3%)
岡山県	450	(3.9%)
広島県	492	(4.3%)
山口県	161	(1.4%)
徳島県	127	(1.1%)
香川県	230	(2.0%)
愛媛県	299	(2.6%)
高知県	130	(1.1%)
福岡県	433	(3.8%)
佐賀県	75	(0.7%)
長崎県	123	(1.1%)
熊本県	260	(2.3%)
大分県	131	(1.1%)
宮崎県	62	(0.5%)
鹿児島県	199	(1.7%)
沖縄県	136	(1.2%)
合計	11,405	(100.0%)

2) 個人調査の問 39, 問 40 について

回答が必須の設問に対し「なし」の選択肢がなく, 意図しない選択をする状況が発生したことから, 結果は回答数のみの公開とする.

3) 施設調査の重複について

施設調査について, それぞれ施設名で重複が 2~7% 発生した. 施設 1 回答に制限できる仕組みを検討する.

II. 個人調査

問 1 所属する都道府県技士会を選択してください.
(単一回答)

目的: 所属地域別の分析のため

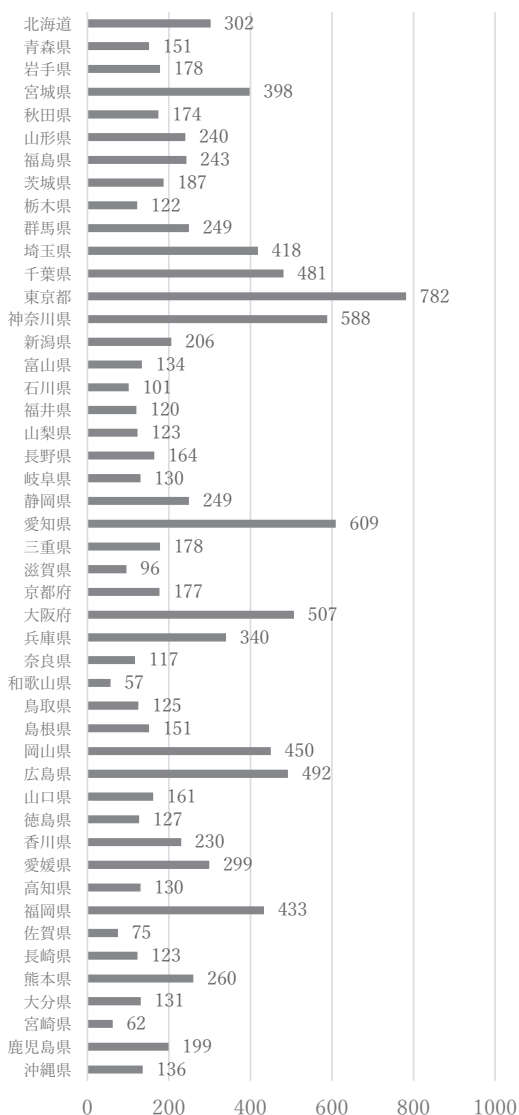
定義: 所属する都道府県技士会を選択する.

対象: 2022 年 10 月 1 日時点

回答数: 11,405 件

問 1 所属する都道府県技士会を選択してください.

(単一回答) n=11,405



問2 性別を選択してください。(単一回答)

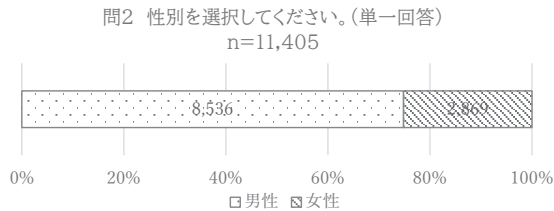
目的: 性別による分析調査

定義: 性別(男・女)を選択してください。

対象: 2022年10月1日時点

総投稿件数: 11,405件

回答	n	割合
男性	8,536	(74.8%)
女性	2,869	(25.2%)
合計	11,405	(100.0%)



問3 ご自身の年齢を記載して下さい。

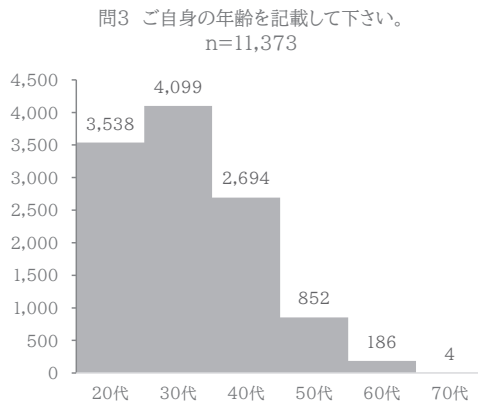
目的: 年代別における分析調査に使用する。

定義: 満年齢を記載してください。

対象: 2022年10月1日時点

総投稿件数: 11,373

回答	n	割合
20代	3,538	(31.1%)
30代	4,099	(36.0%)
40代	2,694	(23.7%)
50代	852	(7.5%)
60代	186	(1.6%)
70代	4	(0.0%)
合計	11,373	(100.0%)



問4 ご自身の臨床工学技士免許の登録年(西暦)を記載してください。

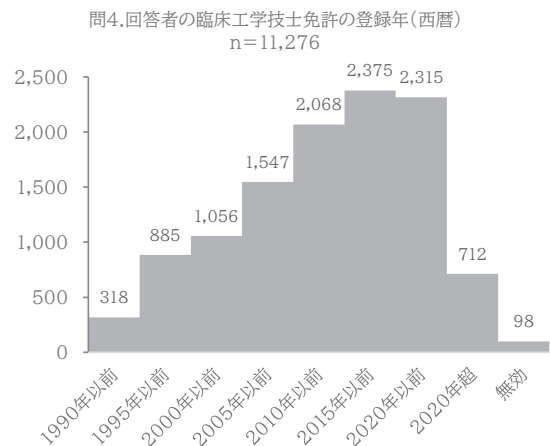
目的: 免許登録後の経過に関する分析調査に使用する。

定義: 臨床工学技士免許の登録年を西暦で記載してください。

対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 11,276

回答	n	割合
1990年以前	318	(2.8%)
1995年以前	885	(7.8%)
2000年以前	1,056	(9.4%)
2005年以前	1,547	(13.7%)
2010年以前	2,068	(18.3%)
2015年以前	2,375	(21.1%)
2020年以前	2,315	(20.5%)
2020年超	712	(6.3%)
無効	98	(0.9%)
合計	11,276	(100.0%)



問5 勤務先について選択してください。 ※ (1) (2) (3) (4) 以外を選択された方は、問12に進んでください。(単一回答)

目的: 臨床工学技士の就業状況の把握

定義: 勤務先の機関, 勤務状況を選択してください。

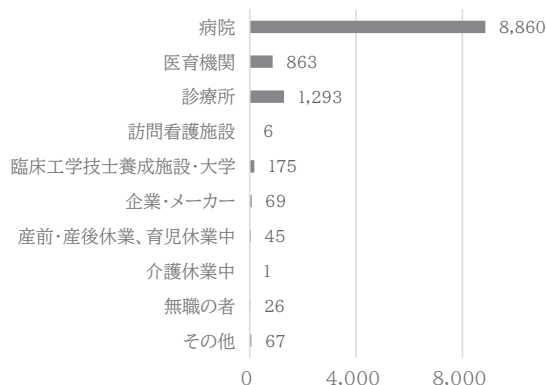
対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 11,405

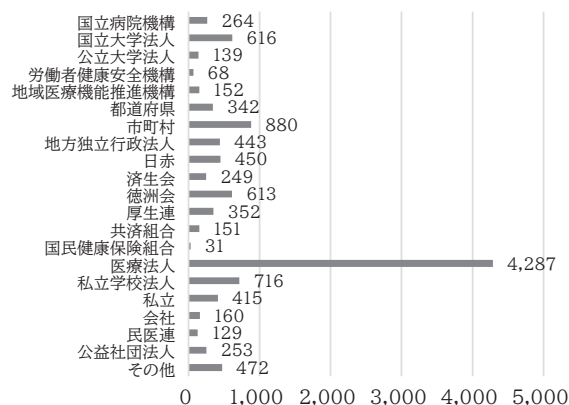
回答	n	割合
病院	8,860	(77.7%)
医育機関	863	(7.6%)
診療所	1,293	(11.3%)
訪問看護施設	6	(0.1%)
養成施設・大学	175	(1.5%)
企業・メーカー	69	(0.6%)
産前・後・育児休業中	45	(0.4%)
介護休業中	1	(0.0%)
無職の者	26	(0.2%)
その他	67	(0.6%)
合計	11,405	(100.0%)

その他内訳: クリニック(16), 透析クリニック(14), 官公庁(2), 大学院生(2), CRC(1), 日本医師会(1), 他の免許で病院で勤務(1) 外来透析クリニック(1), 病院経営本部の施設課(1), 医療コンサルタント(1)

問5.勤務先について選択してください。
n=11,405



問6.勤務施設の設置主体を選択してください。
n=11,182



問6 勤務施設の設置主体を選択してください。(単一回答)

目的：設置主体別の分析調査

定義：所属母体名を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：11,182

回答	n	割合
国立病院機構	264	(2.5%)
国立大学法人	616	(5.8%)
公立大学法人	139	(1.3%)
労働者健康安全機構	68	(0.6%)
地域医療機能推進機構	152	(1.4%)
都道府県	342	(3.2%)
市町村	880	(8.3%)
地方独立行政法人	443	(4.2%)
日赤	450	(4.3%)
済生会	249	(2.4%)
徳洲会	613	(0.0%)
厚生連	352	(3.3%)
共済組合	151	(1.4%)
国民健康保険組合	31	(0.3%)
医療法人	4,287	(40.6%)
私立学校法人	716	(6.8%)
私立	415	(3.9%)
会社	160	(1.5%)
民医連	129	(1.2%)
公益社団法人	253	(2.4%)
その他	472	(4.5%)
合計	11,182	(100.0%)

その他内訳：公益財団法人(92),社会福祉法人(68),一般財団法人(54),社会医療法人(39),一般社団法人(19),社会医療法人財団(7),宗教法人(6)株式会社(6),国立研究開発法人(5),個人(5)

問7 勤務施設の区分を選択してください。(任意, 単一選択)

目的：病院, クリニック勤務の状況確認

定義：病院, 無床・有床診療所を選択してください。

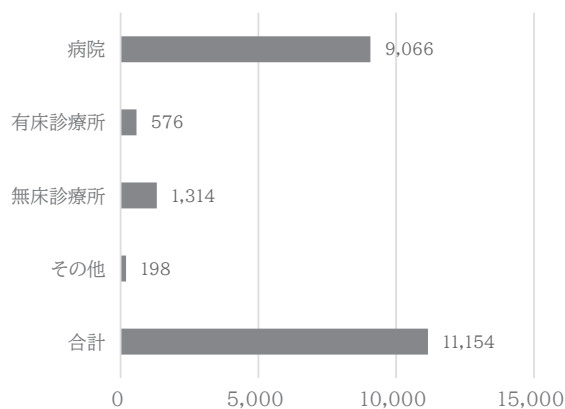
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：11,154

回答	n	割合
病院	9,066	(81.3%)
有床診療所	576	(5.2%)
無床診療所	1,314	(11.8%)
その他	198	(1.8%)
合計	11,154	(100.0%)

その他内訳：クリニック(14),専門学校(6),大学(6),教育機関(5),透析クリニック(4),養成校(4),学校(4)メーカー(2),民間企業(1),日本臨床工学技士会事務局(1)

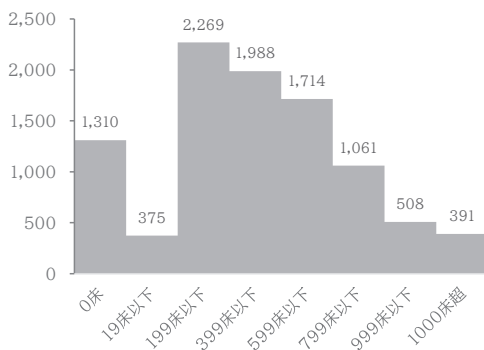
問7.勤務施設の区分を選択してください。
n=11,154



問8 許可一般病床数を記載してください。
 目的：一般病床数別のCEの分布や解析に使用する。
 定義：許可一般病床数を記載してください。 ※無床診療所は0になります。
 対象：2022年10月1日時点
 有効回答数：9,616

回答	n	割合
0床	1,310	(13.6%)
19床以下	375	(3.9%)
199床以下	2,269	(23.6%)
399床以下	1,988	(20.7%)
599床以下	1,714	(17.8%)
799床以下	1,061	(11.0%)
999床以下	508	(5.3%)
1000床超	391	(4.1%)
合計	9,616	(100.0%)

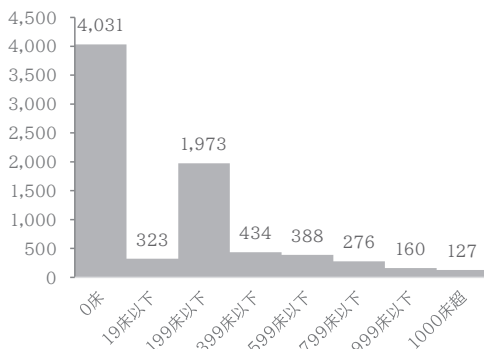
問8.許可一般病床数を記載してください。
n=9,616



問9 許可療養病床数を記載してください。
 目的：療養病床数別のCEの分布や解析に使用する。
 定義：許可療養病床数を記載してください。 ※無床診療所は0になります。
 対象：2022年10月1日時点
 有効回答数：7,712

回答	n	割合
0床	4,031	(41.9%)
19床以下	323	(3.4%)
199床以下	1,973	(20.5%)
399床以下	434	(4.5%)
599床以下	388	(4.0%)
799床以下	276	(2.9%)
999床以下	160	(1.7%)
1000床超	127	(1.3%)
合計	7,712	(100.0%)

問9.許可療養病床数を記載してください。
n=7,712



問10 あなたが専従で従事している業務を教えてください。(単一回答)

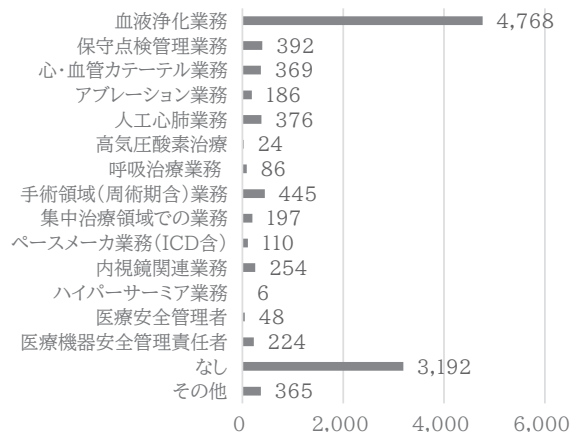
目的：臨床工学技士従事業務の調査
 定義：あなたが専従で従事する臨床工学技士業務を選択してください。 ※専従：担当者となっており、その他の業務は緊急時以外には行わないものとする。
 内視鏡関連業務とは、内視鏡検査治療を専門に実施する内視鏡室（センター）で内視鏡等を使用する業務とする。手術領域（周術期、清潔操作、内視鏡外科手術、麻酔支援を含む）での業務とする。
 対象：2022年10月1日時点

有効回答数：11,042

回答	n	割合
血液浄化業務	4,768	(43.2%)
保守点検管理業務	392	(3.6%)
心・血管カテーテル業務	369	(3.3%)
アブレーション業務	186	(1.7%)
人工心肺業務	376	(3.4%)
高気圧酸素治療	24	(0.2%)
呼吸治療業務	86	(0.8%)
手術領域(周術期含)業務	445	(4.0%)
集中治療領域での業務	197	(1.8%)
ペースメーカ業務(ICD含)	110	(1.0%)
内視鏡関連業務	254	(2.3%)
ハイパーサーミア業務	6	(0.1%)
医療安全管理者	48	(0.4%)
医療機器安全管理責任者	224	(2.0%)
なし	3,192	(28.9%)
その他	365	(3.3%)
合計	11,042	(100.0%)

教育(11),ローテーション(11),管理職(11),管理業務(7),教員(7),事務(6),専従ではない(3)営業(3),管理(3),臨床工学技士養成(3)

問10.あなたが専従で従事している業務を教えてください。
n=11,042



問11 あなたが専任で従事している業務を教えてください。(単一回答)

目的：臨床工学技士従事業務の調査

定義：あなたが専任で従事する臨床工学技士業務を選択してください。※専任：担当者となっており、その他の診療を兼任しても差し支えないものとする。ただし、その就業の少なくとも5割以上、当該業務に従事している必要があるものとする。内視鏡関連業務とは、内視鏡検査治療を専門に実施する内視鏡室（センター）で内視鏡等を使用する業務とする。手術領域（周術期、清潔操作、内視鏡外科手術、麻酔支援を含む）での業務とする。

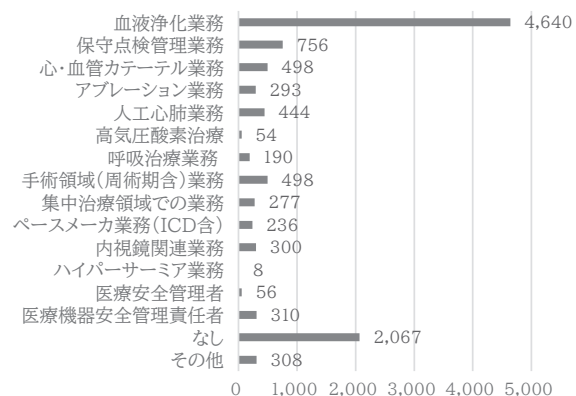
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：10,935

回答	n	割合
血液浄化業務	4,640	(42.4%)
保守点検管理業務	756	(6.9%)
心・血管カテーテル業務	498	(4.6%)
アブレーション業務	293	(2.7%)
人工心肺業務	444	(4.1%)
高気圧酸素治療	54	(0.5%)
呼吸治療業務	190	(1.7%)
手術領域(周術期含)業務	498	(4.6%)
集中治療領域での業務	277	(2.5%)
ペースメーカ業務(ICD含)	236	(2.2%)
内視鏡関連業務	300	(2.7%)
ハイパーサーミア業務	8	(0.1%)
医療安全管理者	56	(0.5%)
医療機器安全管理責任者	310	(2.8%)
なし	2,067	(18.9%)
その他	308	(2.8%)
合計	10,935	(100.0%)

その他内訳：ローテーション(11),教育(9),管理業務(8),管理職(7),教員(6),事務(3),中央材料室(3)管理職業務(3),臨床工学技士養成(3),末梢血幹細胞採取(2)

問11.あなたが専任で従事している業務を教えてください。
n=10,935



問12 あなたが兼任で従事している業務を教えてください。(複数回答)

目的：臨床工学技士従事業務の調査

定義：あなたが兼任で従事する臨床工学技士業務を選択してください。※担当者ではなく、他に5割以上主担当の業務に従事している)内視鏡関連業務とは、内視鏡検査治療を専門に実施する内視鏡室（センター）で内視鏡等を使用する業務とする。手術領域は周術期、清潔操作、内視鏡外科手術、麻酔支援を含む業務とする。

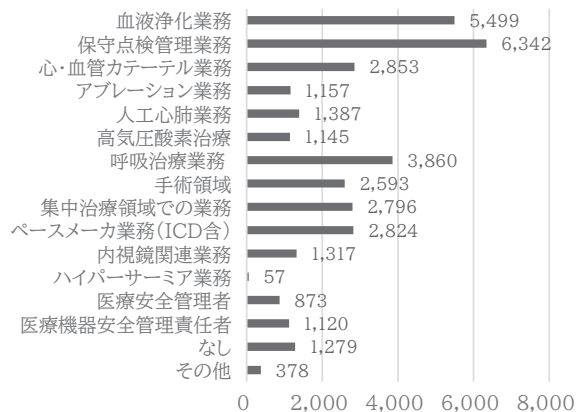
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：10,828

回答	n	割合
血液浄化業務	5,499	(48.2%)
保守点検管理業務	6,342	(55.6%)
心・血管カテーテル業務	2,853	(25.0%)
アブレーション業務	1,157	(10.1%)
人工心肺業務	1,387	(12.2%)
高気圧酸素治療	1,145	(10.0%)
呼吸治療業務	3,860	(33.8%)
手術領域(周術期含)業務	2,593	(22.7%)
集中治療領域での業務	2,796	(24.5%)
ペースメーカ業務(ICD含)	2,824	(24.8%)
内視鏡関連業務	1,317	(11.5%)
ハイパーサーミア業務	57	(0.5%)
医療安全管理者	873	(7.7%)
医療機器安全管理責任者	1,120	(9.8%)
なし	1,279	(11.2%)
その他	378	(3.3%)

その他内訳：教育(7),管理業務(6),管理職(6),滅菌業務(5),医療ガス管理(5),ローテーション(4),RFA(4),PTA(4),教員(4),睡眠時無呼吸症候群検査関連業務,防火・防災関連業務(3),

問12.あなたが兼任で従事している業務を教えてください。
(複数回答)n=10,828



問13 最終学歴を選択してください。(単一回答)

目的：学歴の分布の調査

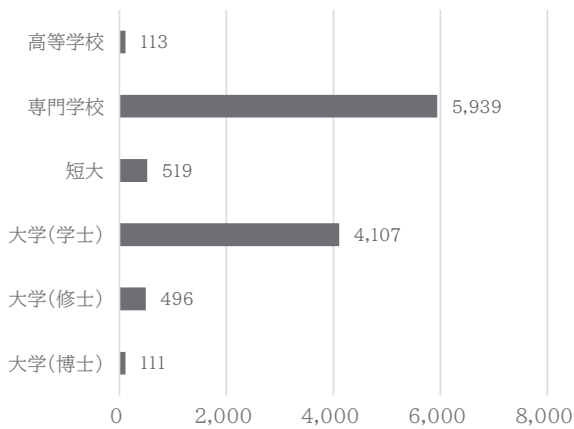
定義：最終学歴を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：11,285

回答	n	割合
高等学校	113	(1.0%)
専門学校	5,939	(52.6%)
短大	519	(4.6%)
大学(学士)	4,107	(36.4%)
大学(修士)	496	(4.4%)
大学(博士)	111	(1.0%)
合計	11,285	(100.0%)

問13.最終学歴を選択してください。
n=11,285



問14 現在の役職として、近いものを選択して下さい。(単一回答)

目的：役職従事割合の調査

定義：役職の近いものを選択する。※管理職(管理監督職)とは、厚生労働省の管理監督者の見解では、管理監督者は労働条件の決定その他労務管理について経営者と一体的な立場にある者をいい、労働基準法で定められた労働時間、休憩、休日の制限を受けません。

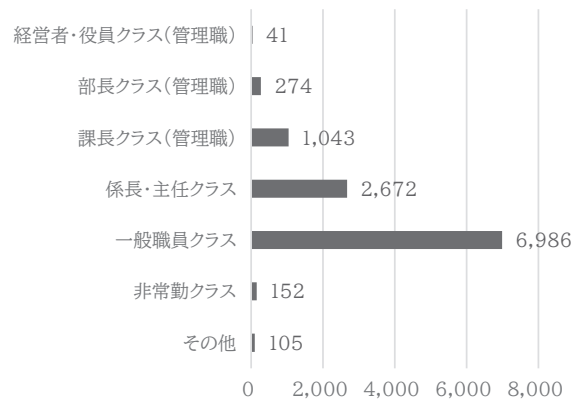
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：11,273

回答	n	割合
経営者・役員クラス(管理職)	41	(0.4%)
部長クラス(管理職)	274	(2.4%)
課長クラス(管理職)	1,043	(9.3%)
係長・主任クラス	2,672	(23.7%)
一般職員クラス	6,986	(62.0%)
非常勤クラス	152	(1.3%)
その他	105	(0.9%)
合計	11,273	(100.0%)

その他内訳：副主任(10),准教授(5),教授(4),嘱託(4),技士長(2),助教(2),教員(2)嘱託職員(2),事務長(1),無職(1)

問14.現在の役職として、近いものを選択して下さい。
n=11,273



問15 あなたの雇用形態を教えてください。(単一回答) 休取得状況について、1年あたりに何日取得していますか。(必須、単一選択)

目的：正社員割合の調査

定義：雇用形態

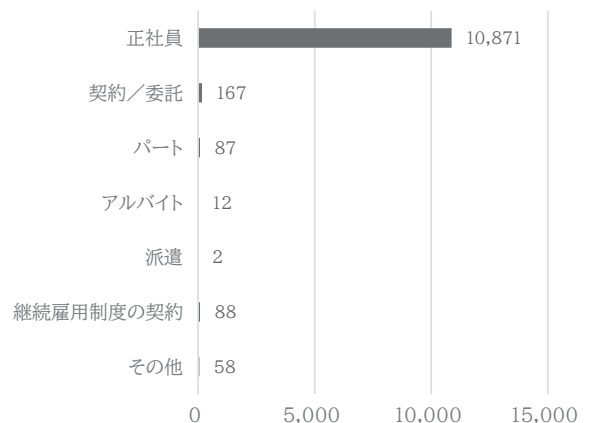
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：11,285

回答	n	割合
正社員	10,871	(96.3%)
契約/委託	167	(1.5%)
パート	87	(0.8%)
アルバイト	12	(0.1%)
派遣	2	(0.0%)
継続雇用制度の契約	88	(0.8%)
その他	58	(0.5%)
合計	11,285	(100.0%)

その他内訳：正社員 時短勤務(4),時短勤務(2),市より派遣(1),なし(1),病院特例常勤(1),時短(1),正社員で時短勤務(1)

問15.あなたの雇用形態を教えてください。
n=11,285



問16 あなたの勤務形態を選択して下さい。(複数回答)

目的：勤務体系の調査

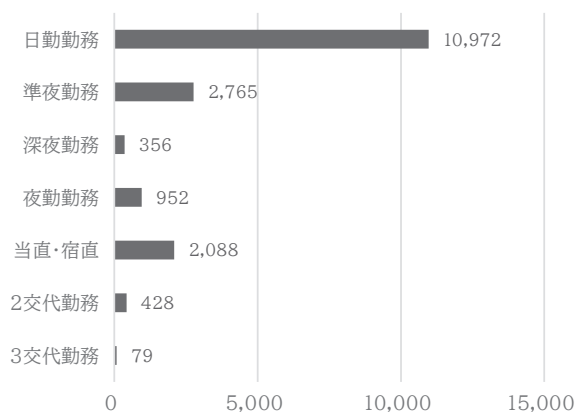
定義：勤務体系・勤務状況を把握する。深夜勤務とは午後10時から午前5時まで(場合によっては午後11時から午前6時まで)とする。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：11,287

回答	n	割合
日勤勤務	10,972	(97.2%)
準夜勤務	2,765	(24.5%)
深夜勤務	356	(3.2%)
夜勤勤務	952	(8.4%)
当直・宿直	2,088	(18.5%)
2交代勤務	428	(3.8%)
3交代勤務	79	(0.7%)

問15.あなたの勤務形態を選択して下さい。(複数回答) n=11,287



問17 残業時間は月平均どのくらいありますか。

目的：残業時間・労働環境の調査

定義：残業時間の月平均値(時間)を記載する

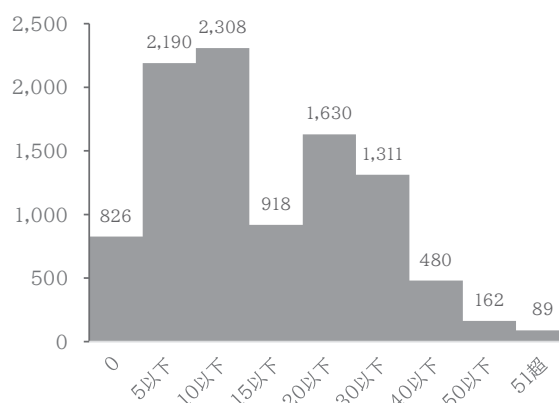
対象：2021年4月1日から2022年3月31日

有効回答数：10,575

回答	n	割合
0	826	(7.8%)
5以下	2,190	(20.7%)
10以下	2,308	(21.8%)
15以下	918	(8.7%)
20以下	1,630	(15.4%)
30以下	1,311	(12.4%)
40以下	480	(4.5%)
50以下	162	(1.5%)
51超	89	(0.8%)
その他	661	(6.3%)
合計	10,575	(100.0%)

その他内訳:ほとんどなし(16),無し(11),管理職のため残業はつかない(6),裁量労働性のため残業が発生しない(4),不明(2)

問17.残業時間は月平均どのくらいありますか。 n=10,575



問18 残業に対する対価をうけていますか。(単一回答)

目的：正当な労働環境の調査

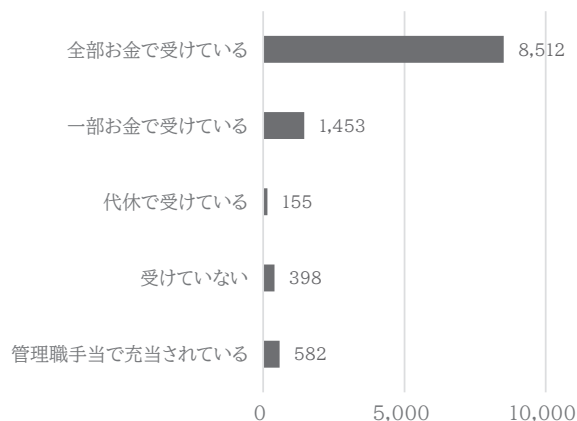
定義：残業賃金支払い方法

対象：2021年4月1日から2022年3月31日

有効回答数：11,100

回答	n	割合
全部お金で受けている	8,512	(76.7%)
一部お金で受けている	1,453	(13.1%)
代休で受けている	155	(1.4%)
受けていない	398	(3.6%)
管理職手当で充当	582	(5.2%)
合計	11,100	(100.0%)

問18.残業に対する対価をうけていますか n=11,100



問19 年休取得状況について、1年あたりに何日取得していますか。

目的：労働環境の調査

定義：年休取得日数（有給休暇取得日数）を記載してください。

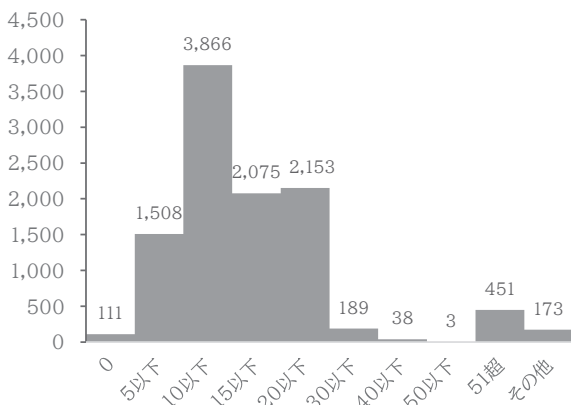
対象：2021年4月1日から2022年3月31日

有効回答数：10,567

回答	n	割合
0	111	(1.1%)
5以下	1,508	(14.3%)
10以下	3,866	(36.6%)
15以下	2,075	(19.6%)
20以下	2,153	(20.4%)
30以下	189	(1.8%)
40以下	38	(0.4%)
50以下	3	(0.0%)
51超	451	(4.3%)
その他	173	(1.6%)
合計	10,567	(100.0%)

その他内訳：不明(9),なし(7),わからない(6),対象外(2),入職前(5),法定通りの有給休暇(4),育休中で該当なし(2)

問19.年休取得状況について、1年あたりに何日取得していますか。 n=10,567



問20 休憩時間はきちんと取れていますか。(単一回答)

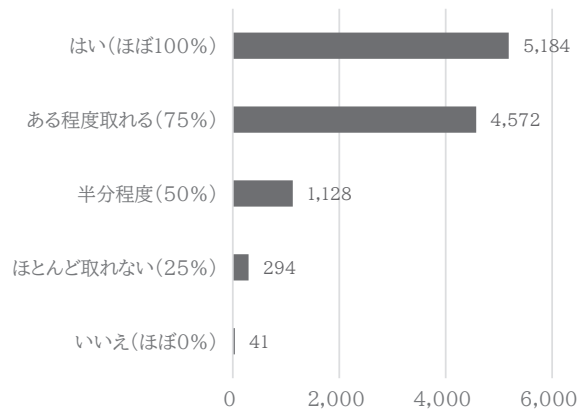
定義：休憩取得で最も近いものを選択してください。

対象：2021年4月1日から2022年3月31日

有効回答数：11,219

回答	n	割合
はい(ほぼ100%)	5,184	(46.2%)
ある程度取れる(75%)	4,572	(40.8%)
半分程度(50%)	1,128	(10.1%)
ほとんど取れない(25%)	294	(2.6%)
いいえ(ほぼ0%)	41	(0.4%)
合計	11,219	(100.0%)

問20.休憩時間はきちんと取れていますか。 n=11,219



問21 就学前のお子さんはいらっしゃいますか

目的：子育て世代の課題を把握する。

定義：就学前のお子さんの人数を記載してください。

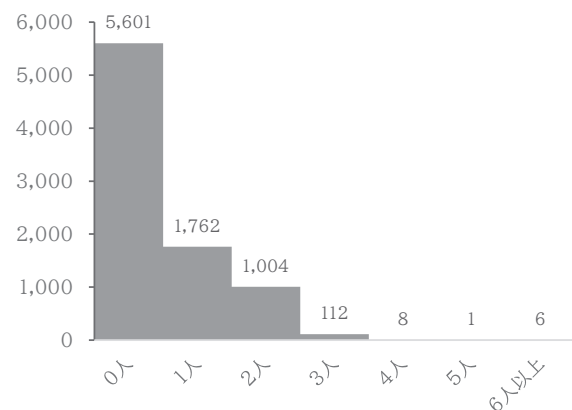
※就学前とは小学校入学前までとする。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：8,494

回答	n	割合
0人	5,601	(65.9%)
1人	1,762	(20.7%)
2人	1,004	(11.8%)
3人	112	(1.3%)
4人	8	(0.1%)
5人	1	(0.0%)
6人以上	6	(0.1%)
合計	8,494	(100.0%)

問21. 就学前のお子さんはいらっしゃいますか。 n=8,494



問22 小学校から高校までのお子さんはいらっしゃいますか

目的：子育て世代の課題を把握する。

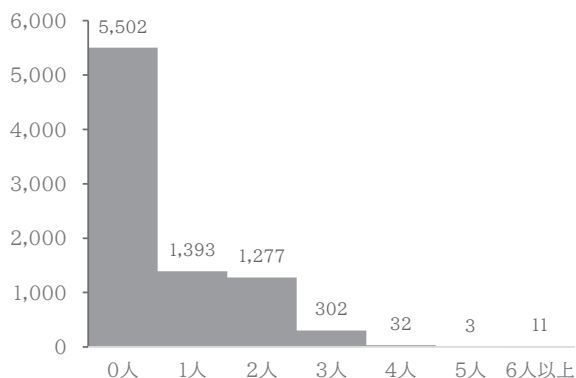
定義：小学校から高校卒業までのお子さんの人数を記載してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：8,520

回答	n	割合
0人	5,502	(64.6%)
1人	1,393	(16.3%)
2人	1,277	(15.0%)
3人	302	(3.5%)
4人	32	(0.4%)
5人	3	(0.0%)
6人以上	11	(0.1%)
合計	8,520	(100.0%)

問22.小学校から高校までのお子さんはいらっしゃいますか。n=8,520



問23 子育て世代の産休や育休の取得状況と育休、時短勤務の期間について伺います。産休や育休を取得しましたか。

目的：産休および育休の取得期間の把握

定義：今までに取得した育休の期間（年）を記載してください。最も長い取得期間とする。※例 1年半は1.5，3ヶ月は0.25

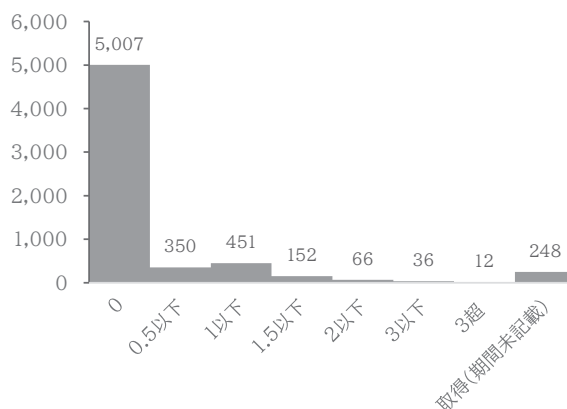
子育て世代とは、これから結婚しようとする若年から、大学生の子どもがいる親までで構成される世代とする。（内閣府 国民生活白書 平成17年版）

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：6,322

回答	n	割合
0	5,007	(79.2%)
0.5以下	350	(5.5%)
1以下	451	(7.1%)
1.5以下	152	(2.4%)
2以下	66	(1.0%)
3以下	36	(0.6%)
3超	12	(0.2%)
取得(期間未記載)	248	(3.9%)
合計	6,322	(100.0%)

問23.産休や育休を取得しましたか。n=6,322



問24 子育て世代の産休や育休の取得状況と育休、時短勤務の期間について伺います。時短勤務を取得しましたか。

目的：時短勤務の取得期間の把握

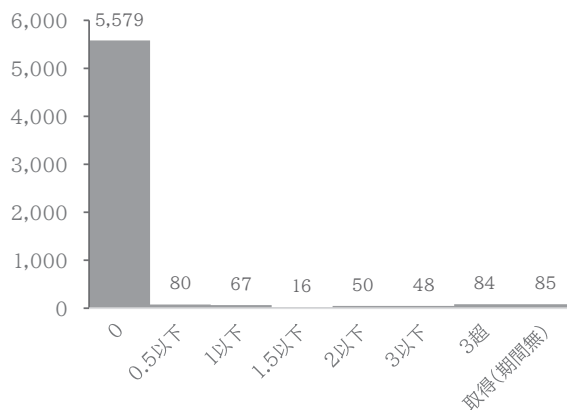
定義：今までに取得した時短勤務の期間（年）の合計期間を記載してください。※例 5年半は5.5
子育て世代とは、これから結婚しようとする若年から、大学生の子どもがいる親までで構成される世代とする。（内閣府 国民生活白書 平成17年版）

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：6,009

回答	n	割合
0	5,579	(92.8%)
0.5以下	80	(1.3%)
1以下	67	(1.1%)
1.5以下	16	(0.3%)
2以下	50	(0.8%)
3以下	48	(0.8%)
3超	84	(1.4%)
取得(期間無)	85	(1.4%)
合計	6,009	(100.0%)

問24.産休や育休の。時短勤務を取得しましたか。n=6,009



問25 子育て世代の産休や育休の取得者に伺います。復職後に感じたギャップはありますか。

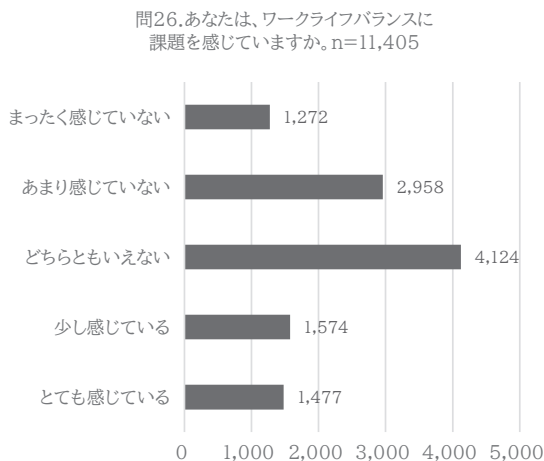
目的：産休、育休復職後の課題を把握する。
 定義：復職後に感じたギャップはありますか ※例えば不本意な配置換えなど（自由記載）
 子育て世代とは、これから結婚しようとする若年から、大学生の子どもがいる親までで構成される世代とする。（内閣府 国民生活白書 平成 17 年版）
 対象：2022 年 10 月 1 日時点
 有効回答数：2,613

主な内訳：なし（259）、ある（182）、取得していない(45)、未婚(8)、該当しない(8)、子供なし(6)、わからない(5)

問26 あなたは、ワークライフバランスに課題を感じていますか？（単一回答）

目的：ワークライフバランスに課題を感じる技士の実態を把握する。（単一回答）
 定義：あなたが、ワークライフバランスに感じている課題を選択してください。※ワークライフバランスとは、誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たす一方で、子育て・介護の時間や、家庭、地域、自己啓発等にかかる個人の時間を持てる健康で豊かな生活ができるよう、仕事と生活の双方の調和の実現を目指すもの（内閣府：仕事と生活の調和憲章）とする。
 対象：2022 年 10 月 1 日時点
 有効回答数：11,405

回答	n	割合
まったく感じていない	1,272	(11.2%)
あまり感じていない	2,958	(25.9%)
どちらともいえない	4,124	(36.2%)
少し感じている	1,574	(13.8%)
とても感じている	1,477	(13.0%)
合計	11,405	(100.0%)



問27 問 26 で (4) 少し感じている (5) とても感じていると答えた方に質問です。具体的に、どのような課題を感じていますか？

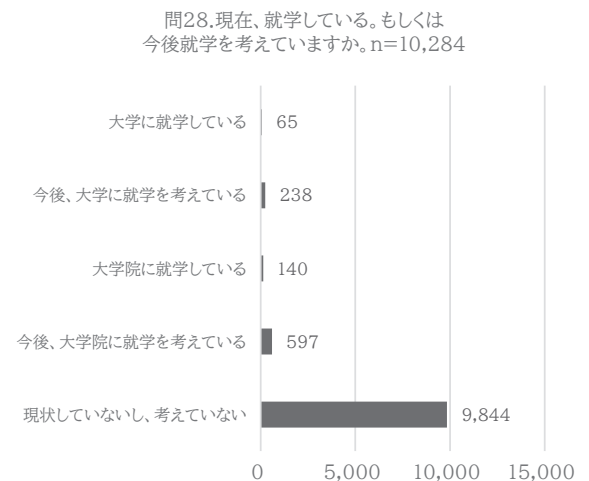
目的：ワークライフバランスに課題を感じる技士の実態を把握する。
 定義：あなたが、ワークライフバランスに感じている課題の内容を具体的に記載してください。複数はカンマで区切る。
 対象：2022 年 10 月 1 日時点
 有効回答数：2,481

主な内容：残業が多い(16)、仕事と家庭の両立(15)、休みが少ない(15)、なし(10)、人員不足(7)、給料(7)、介護(7) 子育て(6)、やりがいを感しない(5)

問28 現在、就学している。もしくは今後就学を考えていますか。（単一回答）

目的：ライフデザインとして、就学および就学の予定を把握する。
 定義：あなたは、現在、大学院に就学している。もしくは今後就学を考えているかを選択してください。
 対象：2022 年 10 月 1 日時点
 有効回答数：10,287

回答	n	割合
大学に就学している	65	(0.6%)
今後、大学に就学を考えている	238	(2.2%)
大学院に就学している	140	(1.3%)
今後、大学院に就学を考えている	597	(5.5%)
現状していないし、考えていない	9,844	(90.4%)
合計	10,287	(100.0%)



問29 どのような学部就学している、または、就学する予定ですか。(単一回答)

目的：ライフデザインとして、就学および就学の予定を把握する。

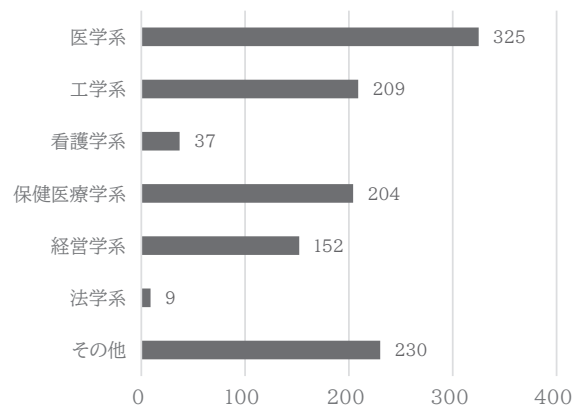
定義：就学している学部は何系か、または、何系の学部就学する予定を選択する。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,166

回答	n	割合
医学系	325	(27.9%)
工学系	209	(17.9%)
看護学系	37	(3.2%)
保健医療学系	204	(17.5%)
経営学系	152	(13.0%)
法学系	9	(0.8%)
その他	230	(19.7%)
合計	1,166	(100.0%)

問29.どのような学部就学している、または、就学する予定ですか n=1,166



問30 自身のキャリアアップに年間どのぐらい費用をかけてもいいと考えているか伺います。(単一回答)

目的：キャリアアップにかけても良い費用を把握する。

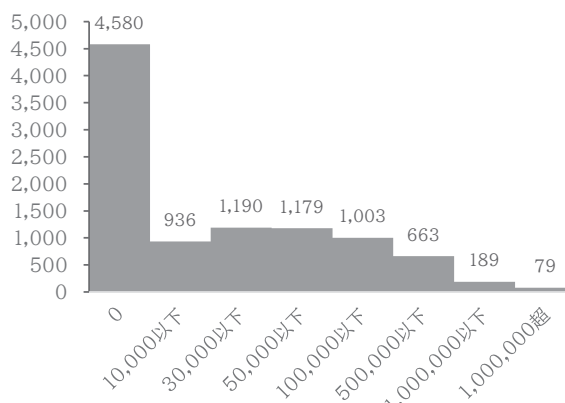
定義：自身のキャリアアップにかけてもよい費用を記載してください。 ※特に考えていない方は0を記入してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：9,819

回答	n	割合
0	4,580	(46.6%)
10,000以下	936	(9.5%)
30,000以下	1,190	(12.1%)
50,000以下	1,179	(12.0%)
100,000以下	1,003	(10.2%)
500,000以下	663	(6.8%)
1,000,000以下	189	(1.9%)
1,000,000超	79	(0.8%)
合計	9,819	(100.0%)

問30.自身のキャリアアップに年間どのぐらい費用をかけてもいいと考えているか伺います。n=9,819



問31 現在、就業上の自身の問題で解決を試みたい事はありますか？(複数回答)

目的：就業上の個人の問題で解決したい内容を把握する。

定義：就業する上で自身の問題で解決を試みたい事を選択する。

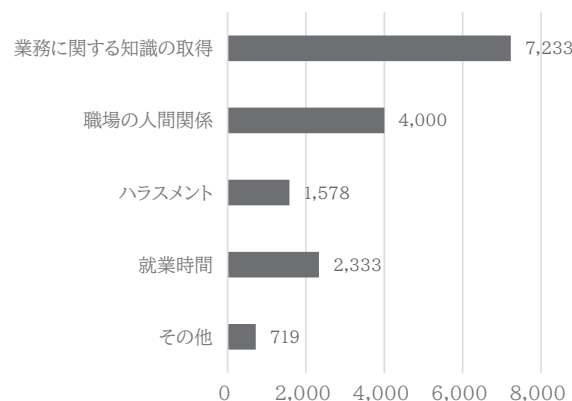
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：9,945

回答	n	割合
業務に関する知識の取得	7,233	(72.7%)
職場の人間関係	4,000	(40.2%)
ハラスメント	1,578	(15.9%)
就業時間	2,333	(23.5%)
その他	719	(7.2%)

その他内訳：なし(77),収入(88),マネジメント(11),教育(8),人材育成(5),通勤時間(5),人員不足(4)転職(2),モチベーションの維持(2),福利厚生(2)

問31.現在、就業上の自身の問題で解決を試みたい事はありますか？(複数回答) n=9,945



問32 現在、プライベートの自身の問題で解決を試みたい事はありますか？（複数回答）

目的：プライベートの自身の問題で解決したい内容を把握する。

定義：プライベート上の自身の問題で解決を試みたい事を選択する。

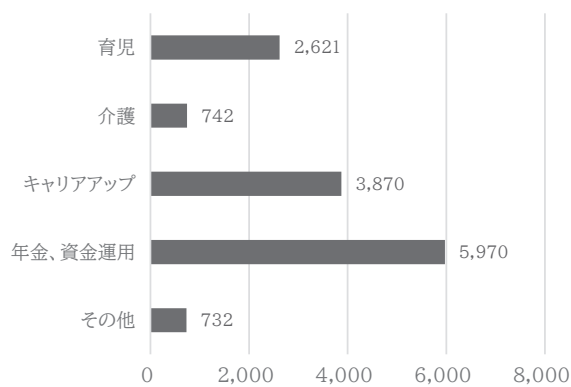
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：9,198

回答	n	割合
育児	2,621	(28.5%)
介護	742	(8.1%)
キャリアアップ	3,870	(42.1%)
年金、資金運用	5,970	(64.9%)
その他	732	(8.0%)

その他内訳：なし(119),結婚(59),健康(23),収入(51),転職(9),不妊治療(9),副業(6)趣味(6),家事(3)

問32.現在、プライベートの自身の問題で解決を試みたい事はありますか？（複数回答）
n=9,198



問33 就業に関して、職場で勤務以外の副業は許可されていますか？（複数回答）

目的：職場の副業の可否の状況を把握する。

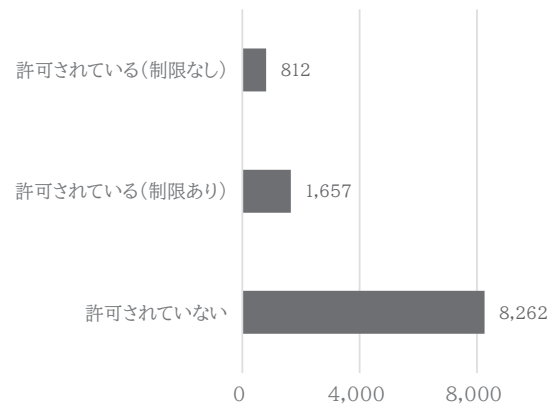
定義：職場で勤務以外の副業は許可されているか選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：10,627

回答	n	割合
許可されている(制限なし)	812	(7.6%)
許可されている(制限あり)	1,657	(15.6%)
許可されていない	8,262	(77.7%)

問33.就業に関して、職場で勤務以外の副業は許可されていますか？（複数回答） n=10,627



問34 問33で就業に関して副業が許可されている方にお伺いします。（単一回答）

目的：副業の実施状況を把握する。

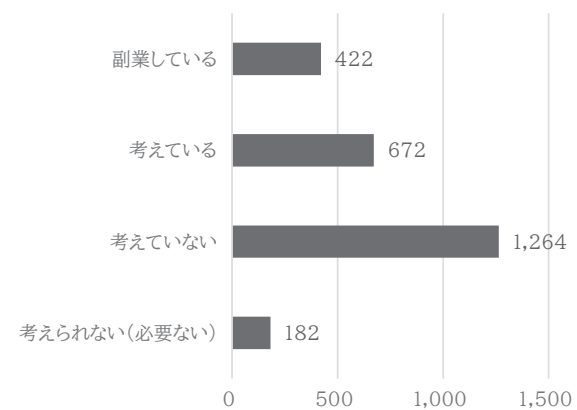
定義：職場で勤務以外の副業が許可されている場合、副業について選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：2,540

回答	n	割合
副業している	422	(16.6%)
考えている	672	(26.5%)
考えていない	1,264	(49.8%)
考えられない(必要ない)	182	(7.2%)
合計	2,540	(100.0%)

問34.職場で勤務以外の副業が許可されている場合、副業について選択してください。 n=2,540



問35 就業に関して副業されている方にお伺いします。副業の内容を可能な限りでご記入ください。

目的：副業の実施状況を把握する。

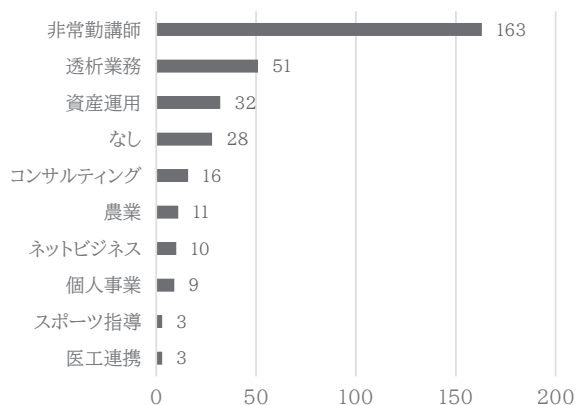
定義：副業されている内容について記載してください。複数はカンマで区切る。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：468

回答	n	割合
非常勤講師	163	(34.8%)
透析業務	51	(10.9%)
資産運用	32	(6.8%)
なし	28	(6.0%)
コンサルティング	16	(3.4%)
農業	11	(2.4%)
ネットビジネス	10	(2.1%)
個人事業	9	(1.9%)
スポーツ指導	3	(0.6%)
医工連携	3	(0.6%)

問35. 就業に関して副業されている方にお伺いします。副業の内容を可能な限りでご記入ください。n=468



問36 あなたが取得している認定資格を教えてください。(複数回答)

目的：認定資格取得者の割合調査

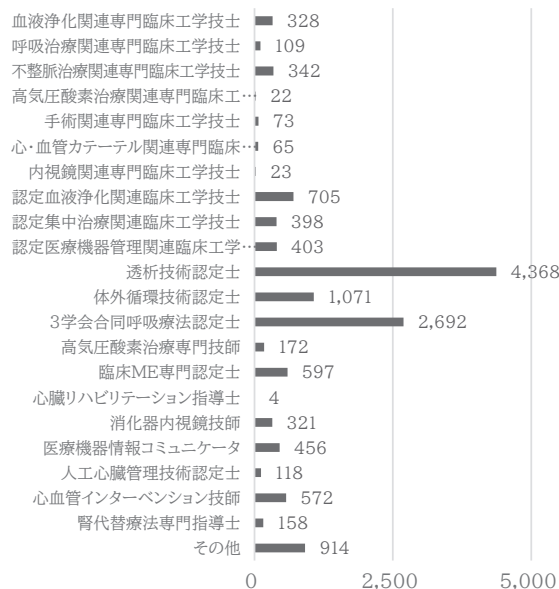
定義：取得認定資格

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：7,342

回答	n	割合
血液浄化関連専門臨床工学技士	328	(4.5%)
呼吸治療関連専門臨床工学技士	109	(1.5%)
不整脈治療関連専門臨床工学技士	342	(4.7%)
高気圧酸素治療関連専門臨床工学技士	22	(0.3%)
手術関連専門臨床工学技士	73	(1.0%)
心・血管カテーテル関連専門臨床工学技士	65	(0.9%)
内視鏡関連専門臨床工学技士	23	(0.3%)
認定血液浄化関連臨床工学技士	705	(9.6%)
認定集中治療関連臨床工学技士	398	(5.4%)
認定医療機器管理関連臨床工学技士	403	(5.5%)
透析技術認定士	4,368	(59.5%)
体外循環技術認定士	1,071	(14.6%)
3学会合同呼吸療法認定士	2,692	(36.7%)
高気圧酸素治療専門技師	172	(2.3%)
臨床ME専門認定士	597	(8.1%)
心臓リハビリテーション指導士	4	(0.1%)
消化器内視鏡技師	321	(4.4%)
医療機器情報コミュニケーター	456	(6.2%)
人工心臓管理技術認定士	118	(1.6%)
心血管インターベンション技師	572	(7.8%)
腎代替療法専門指導士	158	(2.2%)
その他	914	(12.4%)

問36.あなたが取得している認定資格を教えてください。(複数回答) n=7,342



問37 「臨床工学技士基本業務指針 2010」に分類されていないが、従事している業務があれば記述して下さい。

目的：業務指針に明記されていない臨床工学技士実務業務調査

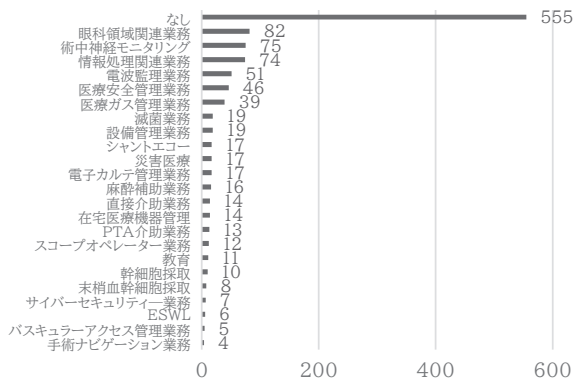
定義：「臨床工学技士基本業務指針 2010」1) 呼吸治療業務指針, 2) 人工心肺業務指針, 3) 血液浄化業務指針, 4) 手術室業務指針, 5) 集中治療業務指針, 6) 心血管カテーテル業務指針, 7) 高気圧酸素業務指針, 8) ペースメーカー/ICD 業務指針, 9) 医療機器管理業務指針, 10) 内視鏡業務指針, 11) 不整脈治療領域業務指針に分類されていない実務業務を記載してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,426

回答	n	割合
なし	555	(38.9%)
眼科領域関連業務	82	(5.8%)
術中神経モニタリング	75	(5.3%)
情報処理関連業務	74	(5.2%)
電波監理業務	51	(3.6%)
医療安全管理業務	46	(3.2%)
医療ガス管理業務	39	(2.7%)
滅菌業務	19	(1.3%)
設備管理業務	19	(1.3%)
シャントエコー	17	(1.2%)
災害医療	17	(1.2%)
電子カルテ管理業務	17	(1.2%)
麻酔補助業務	16	(1.1%)
直接介助業務	14	(1.0%)
在宅医療機器管理	14	(1.0%)
PTA 介助業務	13	(0.9%)
スコープオペレーター業務	12	(0.8%)
教育	11	(0.8%)
幹細胞採取	10	(0.7%)
末梢血幹細胞採取	8	(0.6%)
サイバーセキュリティ業務	7	(0.5%)
ESWL	6	(0.4%)
パスキュラーアクセス管理業務	5	(0.4%)
手術ナビゲーション業務	4	(0.3%)

問37、「臨床工学技士基本業務指針2010」に分類されていないが、従事している業務があれば記述して下さい。
n=1,426



問38 日本臨床工学技士会が2021年度に開催したセミナーや講習会に参加したことがありますか？ (単一回答)

目的：技士会講習会の利用・参加方法の調査

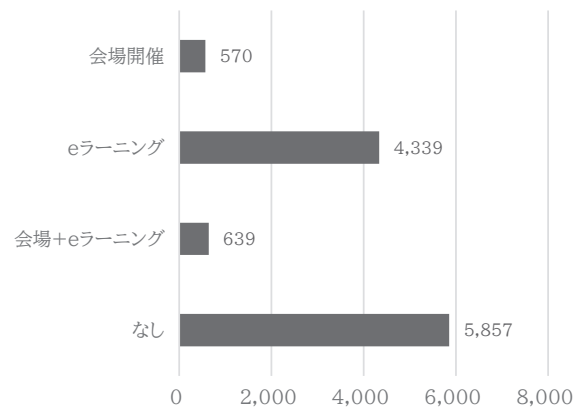
定義：参加の有無・参加方法

対象：2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数：11,405

回答	n	割合
会場開催	570	(4.7%)
eラーニング	4,339	(41.3%)
会場+eラーニング	639	(5.3%)
なし	5,857	(48.6%)
合計	11,405	(100.0%)

問38.日本臨床工学技士会が2021年度に開催したセミナーや講習会に参加したことがありますか？ n=11,405



問39 日本臨床工学技士会の事業に対する理解度を教えて下さい。(やや理解しているまたは非常に理解している事業を選択してください。複数回答)

目的：技士会運営における会員の理解度調査

定義：技士会事業の内容について、どの程度理解していますか

対象：2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数：11,405

※選択肢に無しがないことから回答数のみの公開とする。

問40 日本臨床工学技士会の事業に対する満足度を教えて下さい。(やや満足または非常に満足と感じた事業を選択してください。複数回答)

目的：技士会運営における会員の満足度調査

定義：技士会事業に対する満足度

対象：2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数：11,405

※選択肢に無しがないことから回答数のみの公開とする。

問41 日本臨床工学技士会に期待する事業を教えてください。(複数回答)

目的：技士会運営における会員の期待度の調査

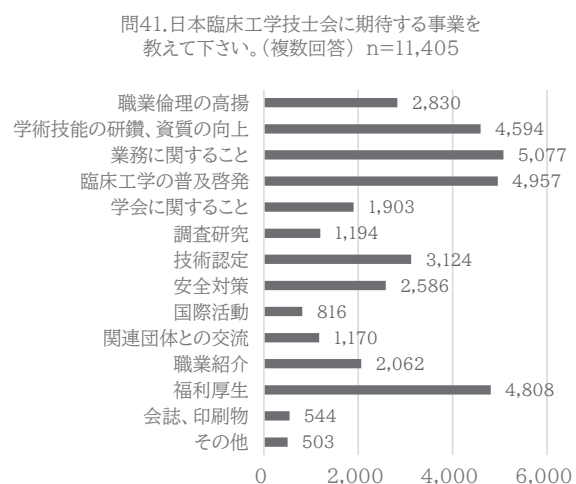
定義：技士会事業に期待する事業を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：11,405

回答	N	割合
職業倫理の高揚	2,830	(24.8%)
学術の研鑽、資質の向上	4,594	(40.3%)
業務に関すること	5,077	(44.5%)
臨床工学の普及啓発	4,957	(43.5%)
学会に関すること	1,903	(16.7%)
調査研究	1,194	(10.5%)
技術認定	3,124	(27.4%)
安全対策	2,586	(22.7%)
国際活動	816	(7.2%)
関連団体との交流	1,170	(10.3%)
職業紹介	2,062	(18.1%)
福利厚生	4,808	(42.2%)
会誌、印刷物	544	(4.8%)
その他	503	(4.4%)

賃金アップ(74),なし(57),地位向上(41),診療報酬に関する(33),人材育成(11),臨床工学技士法改正(11),研修(8)ホームページ、eブリパドの改善(7),タスクシフトの拡大(4),ガイドラインの策定(3)



問42 日本臨床工学技士会に入会した理由(きっかけ)を教えてください。(複数回答)

目的：技士会入会理由の調査

定義：技士会入会の理由に近いものを選択してください。

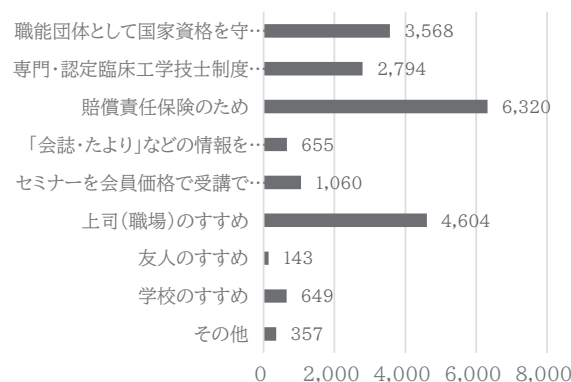
対象：2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数：11,405

回答	n	割合
職能団体として国家資格を守るため	3,568	(31.3%)
専門・認定臨床工学技士制度取得のため	2,794	(24.5%)
賠償責任保険のため	6,320	(55.4%)
「会誌・たより」などの情報を入手するため	655	(5.7%)
セミナーを会員価格で受講できるため	1,060	(9.3%)
上司(職場)のすすめ	4,604	(40.4%)
友人のすすめ	143	(1.3%)
学校のすすめ	649	(5.7%)
その他	357	(3.1%)

その他内訳：職場や先輩のすすめ(73),強制(30),県技士会入会のため(22),学会発表のため(20),特になし(11),告示研修のため(10),なんとなく(9)保険のため(6),情報収集(4),他施設とのつながり(3)

問42.日本臨床工学技士会に入会した理由(きっかけ)を教えてください。(複数回答)n=11,405



問43 臨床工学技士の業務範囲に伴う告示研修を受講する予定はありますか？（単一回答）

目的：告示研修に対する理解の調査

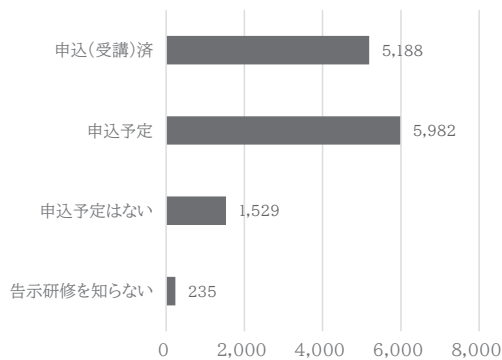
定義：告示研修受講予定を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：11,405

回答	n	割合
申込(受講)済	5,188	(45.5%)
申込予定	5,982	(39.0%)
申込予定はない	1,529	(13.4%)
告示研修を知らない	235	(2.1%)
合計	11,405	(100.0%)

問43.臨床工学技士の業務範囲に伴う告示研修を受講する予定はありますか？（単一回答） n=11,405



問44 告示研修を受講された（予定含む）方のみお答えください。告示研修の業務で現在実施しているまたは今後実施予定の業務はありますか？（複数回答）

目的：告示研修に対する理解の調査

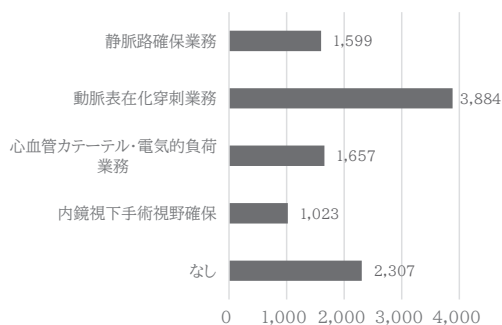
定義：告示研修を受講しないと実施できない業務のうち、現在実施しているまたは今後実施予定の業務を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：7,599

回答	n	割合
静脈路確保業務	1,599	(21.0%)
動脈表在化穿刺業務	3,884	(51.1%)
心血管カテーテル・電氣的負荷業務	1,657	(21.8%)
内鏡視下手術視野確保	1,023	(13.5%)
なし	2,307	(30.4%)

問44.告示研修を受講された(予定含む)方のみお答えください。告示研修の業務で現在実施しているまたは今後実施予定の業務はありますか？（複数回答） n=7,599



問45 当会に対するご要望、ご意見があればご記入下さい。

目的：当会に対する要望、意見を把握する。

定義：当会に対するご要望、ご意見があればご記入下さい。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,551

回答	n	割合
なし	304	19.6%
研修費用が高い	62	4.0%
アンケートが回答しにくい	61	3.9%
給料・賃金について	59	3.8%
ホームページが使いにくい	52	3.4%
フリパドが使いにくい	50	3.2%
診療報酬について	50	3.2%
専門、認定制度	40	2.6%
タスク・シフト/シェアについて	31	2.0%
業務指針について	21	1.4%
日本臨床工学技士会	15	1.0%

各項目の主な回答

研修費用について

- ・ 告示研修の費用が高すぎる
- ・ 他の団体と重複する認定制度が不要。告示研修を終了しても、現在行っている業務をカバー出来ない。
- ・ 告示研修受講により業務範囲拡大して臨床工学技士の地位は上がっても、給料は上がらないし仕事は増え残業増えるだけではワークライフバランス崩壊です。
- ・ e-プリバドが変更になってから受講履歴が消えた。一度問い合わせたが実習指導者研修のみ復活したが、他の受講した全ての参加履歴を元に戻してほしい。いつ何を受講したかを e-プリバドで確認したい。受講した研修を見返すことで、なんとなくモチベーションアップにもつながる。
- ・ 告示研修の受講費用が高額なので、もう少し金額を抑える工夫をお願いしたいです。
- ・ e ラーニングを活用した講習会や研修の実施
- ・ 告示研修を高額なうえ他県で受講する必要性を感じません
- ・ e ラーニング含むすべての研修、認定試験等の費用が高額すぎる。参加者を増やしたいのであれば再考すべき。
- ・ 今回の告示研修後のさらなる業務拡大、独占業務の作成
- ・ キャリアアップ研修会（上級）の開催、臨床工学技士業務指針の改訂
- ・ 告示研修の地方開催を増やして欲しい。コロナ禍であり、都市での研修は病院規定により参加できない。
- ・ クリニック勤務ですが、告示研修の内容が幅広く大変。費用がかかる。
- ・ 告示研修の無料化
- ・ コロナ禍で県外に出たくなく、告示研修を各都道府県単位で実施していただきたい。
- ・ 告示研修を都道府県別で受講できるようにしてほしい。

アンケートについて

- ・ 業務実態調査やアンケート等は不要。やるならやるで良いと思うが必須にする必要はないと思う。
- ・ アプリを開発してそこからアンケートに答えられたり、情報収集したりできるようにしてほしい。
- ・ 本アンケートへの誘導方法のユーザインターフェイスが悪い（*説明文を事前に読まず趣旨があったとしても、1つのコンテンツとして×）。問 39-40 の回答に『なし』と『その他(自由記載)』は選択肢として用意すべき。該当する選択肢が無かったため、意図しない選択肢を選ぶ必要があった。
- ・ アンケート（任意）に対して、提出できてないとメールで催促がきたり、職場を通してアンケート提出の確認が来るので困ってます。
- ・ メールからアンケートに飛べるようにしてください。
- ・ アンケート・ホームページとても見にくく何とかして頂きたいです。
- ・ 今回のアンケートは、選択もあるが自分で文字をうたなきゃいけない質問が多く、手間だった
- ・ アンケートがやりにくかったです。プリバドログインしたあと再度別サイトにログインするのが面倒でした
- ・ 日々の業務で忙しく現場での業務改善は困難なのでこのようなアンケートは救われる思いがしましたが、身体を酷使しているため何歳まで働けるか不安を強く持っています。様々な改善や発展に期待します
- ・ アンケートが分かりにくい。その上事務局から回答するよう催促の電話があるのはおかしいのではないかな。
- ・ 問 40 では満足している事業の選択となっているが、「なし」の場合はどうすればよいか。強制選択はアンケートの結果操作ととられてもおかしくない。
- ・ アンケートするならわかりやすくしろ。答える気も失せるわ。回答の選択肢も足りない。当てはまらないのを無理矢理選ぶ事になったわ
- ・ ホームページが重い、アンケートフォームが入力しにくい
- ・ アンケートに関して、臨床工学技士以外の国家資格を持っている人がどれほどいるか知りたい
- ・ わかりやすく答えやすいアンケートシステムの構築をお願いします。スマホで出来るようになったのは良いですが、やたら文字が多く、読む気も答える気も失せるシステムです。

給料・賃金について

- ・ 臨床工学技士の給与アップ
- ・ 認知度向上による給与上昇
- ・ 臨床工学技士の給与の向上及び社会の認知度のアップ。
- ・ 医師の代わりに業務した場合の給与手当
- ・ 全体的に職種の認知力と給与アップの啓蒙活動をして欲しい
- ・ 学会に入会しているメリットがあまりない。認定資格を取得しても給与に反映されない。
- ・ 認定制度についていまいまいち普及できておらず、習得してもそれが給与として手当の一部にでもなれば習得するためのモチベーションになるのではないかと考えます。そのあたりをもっといろいろなところへ働きかけていただきたいです。
- ・ 看護協会では積極的な給与改正に取り組まれています。臨床工学技士についても同じ国家資格でありながら、大卒と専門卒での給与に差があります。この差をなくし給与の改正し取り組んで頂けたらと思います。また、コロナ渦においても臨床工学技士の重要性は世の中にもっと知られるべき職種だと考えます。
- ・ 臨床工学技士の地位・給与等の待遇向上
- ・ 技士の給与のベースアップの働きかけ
- ・ 専門認定試験の取得点数と模範解答の開示の検討をお願いします。自身が不得手とする箇所の把握や、合格ラインまでの到達度合が不透明なため受験に対する意欲が低下してしまいます。認定されたのちにも、診療報酬でのメリットや給与面での優遇などが無いとますます受験者は少なくなるのではないかと考えます。
- ・ 技士の給与増額を国へ訴えてください
- ・ 認知度や病院での技士の必要性は向上してきたが、まだ給与面などで看護師などに比べると同じ業務内容でもベースが低く感じる。
- ・ 技士の業務の周知と、それに伴う給与の上昇をよろしくお願いします
- ・ 認定士などの資格を保険点数や施設基準に関与させて欲しい。取得したことで、知識向上、技術向上になったが、資格を維持するメリットがあまり感じられない。資格を維持するためにもいろいろと金銭面でコストと手間がかかるが、給与面に反映されない。

ホームページについて

- ・ 印刷物の郵送は希望者のみにしてほしい。メールで配信または、ホームページを見るように連絡があればよいと思う。
- ・ このアンケートの問 26 が解りにくい、問 39、問 40 は全ての項目で不満がある場合の回答方法が無いのが問題（とりあえずホームページにチェックを入れましたがホームページに特に満足してる訳ではない）
- ・ ホームページになかなか入れなかった。
- ・ プリバドがシステム変更となり、やや使用しにくい。ログインしているにも関わらず、アンケートに答えるために、また ID とパスワードを求められるのは使い勝手が悪い。お金をかけてシステム変更したのなら、ユーザーにとって使いやすいシステムにするべきだと思う。また、本システムは Medikiki の提供するものだが、県技士会でも Medikiki のホームページを利用している団体もあるが、今後の会員管理はどうする予定なのか教えていただきたい。同じ Medikiki を利用しているのであれば、一つの ID とパスワードで、日臨工と各県技士会のホームページへアクセスできる方がユーザーにとっては使いやすいのではないかなと思う。
- ・ ホームページをわかりやすくしてほしい。認定講習が容易に受講できる価格帯にして欲しい。

- ・ プリバドが使いにくくなった。ホームページが見にくい。
- ・ 告知がホームページの裏の場合が多い。
- ・ プリバドなど含めてホームページが分かりにくい。スマホでの対応した画面にしてほしい。
- ・ 認定資格の指定講習会申し込み日をもっと早くから開示してほしい。PDF 掲載だと言語検索で引っかからないため、ホームページで必要な情報が見つかりづらい。
- ・ プリバドの認定資格の受講要件の確認や申込み方法のページが見つげにくく、わかりにくい。現状第三者のまとめサイトがわかりやすく見やすいのでそっちを見てしまうが、正規のホームページでわかりやすいほうが情報の信頼性があるのでプリバドやホームページがわかりやすくなることを期待する。
- ・ ホームページのセミナーの場所が分かりづらい。QR コード等では入れるがホームページのセミナー案内からは表示がないのがあったりする。
- ・ プリバドを含めてホームページを見やすくしてほしい
- ・ ホームページをスマホ対応できるようにしてほしい
- ・ ホームページがわかりにくい。賃金上げを国に言って欲しい
- ・ ホームページ閲覧し辛く、遠のいてしまいます。
- ・ ホームページがわかりにくい。認定試験を受けるつもりであったがいつの間にか e ラーニング募集期間が終了している事が多々ある。募集期間にならないと表示されないため、毎回毎回ログインして募集を確認するのは現実的ではない。一年間の予定一覧をもっとわかりやすいところに掲示してほしい。受けたくても期間が終わっていて受けられない。
- ・ 会報誌の紙媒体での配布を希望制でもいいのではないかと。コスト面や、昨今言われている環境的にもホームページ上、PDF での公開でもよいのではないかと。
- ・ ホームページが扱いにくいです

e-プリバドについて

- ・ プリバドのページが見づらい。このアンケートもわかりにくい。
- ・ 数枚の用紙を送付するのは辞めて欲しい。メール、プリバド、ホームページ記載のみで良い。
- ・ もっとわかりやすく会員にメリットを提供してほしい。新しいプリバドが見にくく、使いにくいので最悪。技士会の活動に満足していないのに選択を強要される実態調査の仕様が最悪。
- ・ e プリバドがすごく使いにくくなりました。改善よろしくをお願いします。
- ・ プリバドについて、すごく使い辛くなりました。改善・改良ではなく改悪であると考えるほどです。SNS 等でも槍玉にあげられているのはご存知でしょうか？
- ・ e プリバドが扱いづらくなったことが残念です。
- ・ プリバドの認定資格の受講要件の確認や申込み方法のページが見つげにくく、わかりにくい。現状第三者のまとめサイトがわかりやすく見やすいのでそっちを見てしまうが、正規のホームページでわかりやすいほうが情報の信頼性があるのでプリバドやホームページがわかりやすくなることを期待する。
- ・ e-プリバドが新しくなってから、非常にわかりにくくなった、認定などの e-ラーニングの受講状況や、申し込みのステータス、入金状況等がひと目でわからないため、とても不便です、以前の e-プリバドのような見やすいページに改善することを強く要望します。
- ・ 最近更新されたプリバドが使いにくい、以前の方が良かった
- ・ e プリバドが大変使いにくいです。また、調査の案内も、実際にどこから調査に回答すれば良いのかかわからず、回答率を上げたいと感じられません。技士会に興味を持っていない若い技士を巻き込んでゆかないと発展は無いと思いますので、若手の技士が回答しやすいように回答フォームにスムーズに誘導できるよう、考慮してもらえれば、回答率は上がると思います。
- ・ プリバドで学会の抄録が再度見れるようにしてほしい。
- ・ e-プリバドが変わってから慣れないせいか分かりにくい。もう少し分かりやすい設計にしてほしい。
- ・ プリバドのサイトがリニューアルされ見づらくなった。前の方が見やすい
- ・ e-プリバドが変更になってから受講履歴が消えた。一度問い合わせた実習指導者研修のみ復活したが、他の受講した全ての参加履歴を元に戻してほしい。いつ何を受講したかを e-プリバドで確認したい。受講した研修を見返すことで、なんとなくモチベーションアップにもつながる。
- ・ プリバドのログイン変更について、職場スタッフや技士会会員への周知に苦慮しました。ハガキだけではなく、もう少し長いスパンで PR が必要なのではないかと思いました。

診療報酬について

- ・ 透析関連の診療報酬低下を防いでほしい。
- ・ 臨床工学技士の業務が診療報酬に結び付くような活動を行ってほしい。診療報酬に反映されなければ、人員は増加しないし病院での地位向上にならない。
- ・ 認定制度を診療報酬や施設認定に関連するような価値あるものにして欲しい。
- ・ まだある技士が行っているグレーな手法の明確化、診療報酬に繋がる手法の拡大
- ・ 専門臨床工学技士が診療報酬に関わりが無いように思います。専門臨床工学技士の地位向上をお願いします。
- ・ 認定制度が自己満足のレベルのため、診療報酬等に認められる制度にしてほしい
- ・ 医療機器の保守管理業務や医療機器安全管理責任者の業務に診療報酬がもらえるように働きかけてほしい。病院の管理者に臨床工学技士を採用するメリットを理解してもらえよう取り組みをしてほしい。
- ・ 医療機器定期点検の実施、在宅医療における患者指導などに関して臨床工学技士が診療報酬を得られるように働きかけて欲しい
- ・ 専門・認定臨床工学技士が設立されたが、診療報酬に結びついていないのが残念だと感じます。
- ・ 各分野の専門臨床工学技士所得に対する対価(個人の知識の証明だけではなく、診療報酬が加算される等)が出るようにしてほしい。
- ・ 専門臨床工学技士を取得することの有利性がなく、取得意義が乏しいため改善(診療報酬とのつながり等)を求めます。診療報酬の絶対条件でもなく、認定臨床工学技士で十分ではないかとの意見も多く耳にする。自己研鑽のための制度という認識でしょうか。
- ・ 技士が携わる事で診療報酬が発生する業務が増えるよう、発言・発信をより強めてもらいたい。
- ・ 認定資格等の整備は大変嬉しいですが、他団体や診療報酬など、技士会外での必要性が出ないと、結局個人の研鑽程度の評価に繋がらなく、組織的な医療の質の向上に貢献できないと感じています
- ・ 技士会がちゃんと診療報酬とリンクするとよい。少人数の細かい認定士を作りすぎて価値がわからない。
- ・ 認定制度の充実化はありがたいですが、業務に反映できるように資格を取得すれば診療報酬点数加算に貢献できる等のメリットが欲しいです。

専門、認定制度について

- ・ 認定・専門臨床工学技士を PR するために、またモチベーションを上げるためにピンバッジを作成してもらいたい。
- ・ 専門臨床工学技士を取得することの有利性がなく、取得意義が乏しいため改善(診療報酬とのつながり等)を求めます。診療報酬の絶対条件でもなく、認定臨床工学技士で十分ではないかとの意見も多く耳にする。自己研鑽のための制度という認識でしょうか。
- ・ 専門臨床工学技士の合格率が低すぎる。テキスト・講習会内からの出題とし学習到達レベルを明確にした方が良いと思います。
- ・ 専門臨床工学技士のために要した労力の割に対価や評価が低い。(不整脈治療関連専門臨床工学技士を取得したが循環器内科医師からは難易度の低い jhrs のデバイス認定士の方が格上と思われる)(2) CE というワードが全く浸透していない。TV ドラマでも ME と呼ば

れたりしている。ME 呼びをやめてもらうよう各関連団体にもっと働きかけてほしい。

- ・ 専門臨床工学技士取得の際に必要な単位数獲得までの学会参加費が合計するとかなりの金額になるのをどうにかして欲しい。
- ・ e ラーニング受講料が高額すぎる。専門臨床工学技士について、最新版 e ラーニングの視聴と最新版 PDF テキストの配布は合格までもしくは退会するまで行う。
- ・ 専門臨床工学技士の取得に必要な必要学会所属年数とかいう馬鹿馬鹿しい設定をやめるべき
- ・ せっかく専門臨床工学技士の資格を作るなら取得することで、なんらかの特典が得られる物にしなければ受講者が増えないと思う。
- ・ 専門臨床工学技士資格の認知と地位向上
- ・ ホームページが凄くわかりにくい。特に専門臨床工学技士の案内について改善して欲しい。
- ・ 専門臨床工学技士制度が分野によるかもしれないが、意味をなしていない。問題に対する合格ラインが定義されておらず、合格基準が提示されずに合格率が悪いのはただの金儲けと言われても仕方がない。一定の知識や技術を認定していると感じられない。
- ・ 認定制度の細分化が分かりにくい。いつの間にか認定技士や専門臨床工学技士の種類が増えている。他学会の認定資格と日臨工の資格のどちらを維持もしくは目指せばいいのか混乱する。他学会との連携を求める。
- ・ 各認定、専門臨床工学技士の過去問題の公開が可能ならHPに掲載、また問題集として販売してほしい。心カテにおける清潔野介助を強く技士会として推奨してほしい。
- ・ 専門臨床工学技士の合格基準の検討(合格率が低すぎる)
- ・ 各分野の専門臨床工学技士所得に対する対価(個人の知識の証明だけではなく、診療報酬が加算される等)が出るようにしてほしい。

タスク・シフト/シェアについて

- ・ 消化器内視鏡業務のタスクシフトの推進をお願いします。それに伴う新規業務の任意保険の保障拡大容認
- ・ スコープオペレーター時の医師指示による鉗子・鉤保持など更なるタスクシフト業務内容充実
- ・ 内視鏡業務を業務指針に入れながらタスクシフトに入れることが出来なかった責任を取って下さい。
- ・ タスク・シフトに関する研修の費用が高額かつ各認定士試験の応募が複雑
- ・ 講習料が高い。地方では、会場に行きにくいので e ラーニングを続けてほしい。タスクシフトの内容が望んでいた内容と違い残念だったので今後に期待する。
- ・ 次なるタスクシフトの検討
- ・ タスクシフト、シェアに伴う賃金向上(本来なら認定士なども含めてほしい) 診療上の加算に繋がる活動
- ・ タスクシフト/シェアでもう一步踏み込んだ業務も行えるようにして頂きたい。
- ・ 法改正でタスクシフトを実現したように、職能団体としての臨床工学技士の地位向上などの行政に対する働きかけや関連団体と連携した今後のロビー活動の成果に期待しています。
- ・ タスクシフトで業務のレベルが上昇しているに伴い責任も増大しているが、臨床工学技士の賃金が全国的に低いため、賃金向上に向けて活動してほしい
- ・ 検査技師同様末梢血幹細胞採取に関するタスクシフトの明確化
- ・ タスクシフトとして、CEが行える業務の拡大による専門性の向上とそれに伴うCE数の増加が必要であり、日臨工が先陣を切って進めてもらいたい。
- ・ タスクシフトにおける静脈路確保の実施場所を限定する規制を解除することはしないのか
- ・ 今回の医師のタスクシフトに関わる告示研修等の対応は非常に評価すべきであり良かったと思います。今後臨床工学技士の生き残りのためにも業務拡大や新たな認定資格による他職種との差別化が必要となってくると思いますので、技士会・連盟には頑張っていたいただきたいところです
- ・ 消化器内視鏡業務が、タスクシフト上に記載がないために現場での混乱が生じています。このままでは今現在、内視鏡業務に従事している人も、今後内視鏡業務に携わる人も業務を失ってしまいます。早急な対応、対策をお願いいたします。

業務指針について

- ・ 消化器内視鏡領域へのタスクシフト拡大。現状に則した内視鏡業務指針の更新。
- ・ 現在、当院の話で恐縮ですが、携わっている業務の一部において業務指針の内容は行ってはならないとの沙汰がありました。記載内容は違法なのですか？
- ・ キャリアアップ研修会(上級)の開催、臨床工学技士業務指針の改訂
- ・ 手術室業務に力を入れ始めていますがもっと業務指針の内容などをアップデートしてほしい。清潔補助業務(こう引きや糸切りなども明文化してほしい。)
- ・ シャントエコー、シャント PTA に技士が参画しても大丈夫か。業務指針に入れてほしい。
- ・ 改訂版業務指針を早く明示してほしい。
- ・ on-call 体制が基本的になくし、当直・夜勤体制が導入しやすいような指針を掲げていただきたい。
- ・ 各業務指針でもっと詳しくどの行為はOKでどの行為はNGなのかを明確に示してほしい。
- ・ 指針の更新をしてほしい。できることとできないことの明確なところが知りたい。
- ・ 各分野における教育に関する指針やプログラムなど、現場での後輩教育に役立つものを作成してほしい。
- ・ 術中神経モニタリング業務指針
- ・ 生涯教育(ラダーなど)の指針が明確になれば良いと思う。I-SIT 世代への教育法(接し方・教育手段)など管理者の教育カリキュラムがあると良い。
- ・ 業務指針が2010年と古くアップデートが必要ではないか? キャリアラダーの構築を行ってほしい。
- ・ 内視鏡業務を業務指針に入れながらタスクシフトに入れることが出来なかった責任を取って下さい。

日本臨床工学技士会について

- ・ この設問(問45)に対する会員からの要望・意見と日本臨床工学技士会からの回答を公開して頂けないでしょうか。私も、他の会員がどのような要望や意見を持っているのか、それに対する日本臨床工学技士会からの回答を知りたいと思いました。
- ・ 日本臨床工学技士会に自分ももし臨床工学技士を変えるために臨床工学技士連盟と共同はできないが活動していきたい。
- ・ 日本臨床工学技士会として、定年後にも臨床工学技士として活動できる様な仕組みを作って下さい。
- ・ タスクシフトの追加項目を増やしてもっと医師の働き方改革を進めて欲しい。現在の臨床工学技士法では、明記されていないグレーゾーンにあたる業務についての検討が急務であると考えます。日本臨床工学技士会を含む職能団体をはじめ各学会などから提案されることを希望します。我々CEが法律上従事できる業務を増やしてほしい。
- ・ 日本臨床工学技士会の参加者が少ない、透析関連に努めている人は日本透析医学会に流れている。新旧の人材の過渡期かもしれないが、もう少し臨床工学技士に統一感が欲しい
- ・ 現在、日本臨床工学技士会と都道府県臨床工学技士会は別団体ですが、将来的に日本臨床工学技士の都道府県支部に移管してほしい。
- ・ 日本臨床工学技士会、都道府県臨床工学技士会、日本工学技士連盟の連携、都道府県臨床工学技士会と日本臨床工学技士会で実施している共同加入を日本臨床工学技士会連盟でも実施する
- ・ 前回もアンケートに書きましたが、日本臨床工学技士会だけ入会できるシステムをつくってほしい。地方の技士会を辞めると、同時に日本臨床工学技士会の会員も辞める事になる意味がわからない。
- ・ 日本臨床工学技士会などの主要学会を会場+web開催を基本にしていきたい。また認定資格に必要な講習会などもe-ラーニングにしていれば助かります。
- ・ 地方の臨床工学技士会と日本臨床工学技士会を分けてしまとめてほしい。日本臨床工学技士会は必要だと思うが地方臨床工学技士会はさほど必要性を感じないものの、上司がそういう立場にいると脱会できない。
- ・ 日本臨床工学技士会に入会するメリットを後輩に伝えられない。臨床工学技士として入会する大きなメリットがほしい。

- ・ 地方の臨床工学技士会に入らなくても、日本臨床工学技士会に入会できるようにしてほしい。愛媛の技士会（上層部）には何も魅力を感じない。
- ・ 年会費の割に会員に対するメリットが少ない。医師が連動している他の学会の方が年会費が安く、有益な情報提供が多い。日本臨床工学技士会として、もっと技士会の地位向上に取り組んでほしい。
- ・ 都道府県の技士会に属するメリットがありません。日本臨床工学技士会への所属も許可していただきたいです。年会費の負担があるので、特にありませんが、国家資格取得＝日本臨床工学技士会に入会必須このような構図になること（看護協会のように）を望んでいます。

Ⅲ. 施設基本調査

問1 所属都道府県技士会、問2 所属施設の所在地、
問3 氏名は省略する。

問4 臨床工学技士の施設調査について、必要に応じて追加調査にご対応いただけますか。（単一回答）
目的：厚生労働省などから詳細情報を求められることが多くあるため、追加調査の協力施設を把握する。
定義：施設調査結果などに応じて、新たな記述式アンケート調査や聞き取り調査などの追加調査に協力するか可否を選択してください。

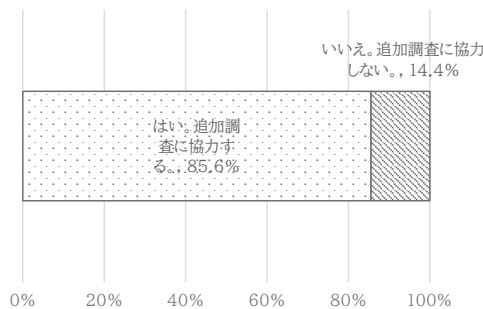
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,890

施設名重複：114（6%）

項目	n	割合
はい、追加調査に協力する	1,617	(85.6%)
いいえ、追加調査に協力しない	273	(14.4%)
合計	1,890	(85.6%)

問4.臨床工学技士の施設調査について、必要に応じて追加調査にご対応いただけますか。
(単一回答)n=1,890



問5 お勤め先について選択してください。（単一回答）※（1）以外を選択した方は調査終了です。

目的：臨床工学技士の所属施設の把握、所属別の母数となる。

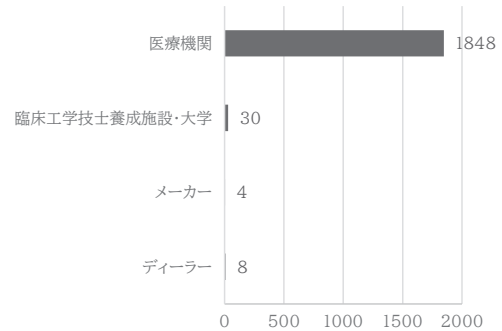
定義：勤務先の機関を選択して下さい。※主な業務から所属を選択して下さい。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,890

項目	n	割合
医療機関	1,848	(97.8%)
臨床工学技士養成施設・大学	30	(1.6%)
メーカー	4	(0.2%)
ディーラー	8	(0.4%)
合計	1,890	(100.0%)

問5.お勤め先について選択してください。
(単一回答)n=1,890



問6 医療機関勤務施設の設置主体を選択してください。（単一回答）

目的：設置主体別の分析調査

定義：医療機関の所属母体名を選択して下さい。

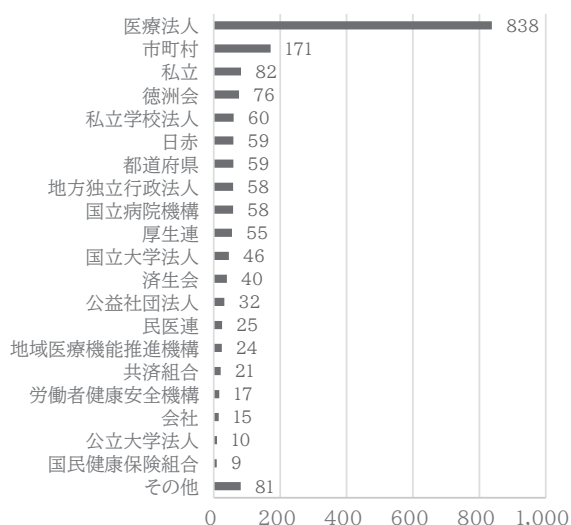
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,836

項目	n	割合
医療法人	838	(45.6%)
市町村	171	(9.3%)
私立	82	(4.5%)
徳洲会	76	(4.1%)
私立学校法人	60	(3.3%)
日赤	59	(3.2%)
都道府県	59	(3.2%)
地方独立行政法人	58	(3.2%)
国立病院機構	58	(3.2%)
厚生連	55	(3.0%)
国立大学法人	46	(2.5%)
済生会	40	(2.2%)
公益社団法人	32	(1.7%)
民医連	25	(1.4%)
地域医療機能推進機構	24	(1.3%)
共済組合	21	(1.1%)
労働者健康安全機構	17	(0.9%)
会社	15	(0.8%)
公立大学法人	10	(0.5%)
国民健康保険組合	9	(0.5%)
その他	81	(4.4%)
合計	1,836	(100.0%)

その他内訳: 社会福祉法人(15), 公益財団法人(14), 社会医療法人(13), 一般財団法人(9), 一般社団法人(5), 個人(2), 宗教法人(2)

問6.医療機関勤務施設の設置主体を選択してください。
(単一回答)n=1,836



問7 医療機関の区分を選択してください。(単一回答)

目的:病院, クリニック勤務などの状況を確認する。
定義: 病院 (入院床 20 床以上), 有床診療所 (入院床 1 床~19 床以下), 無床診療所 (入院床 0) とする。

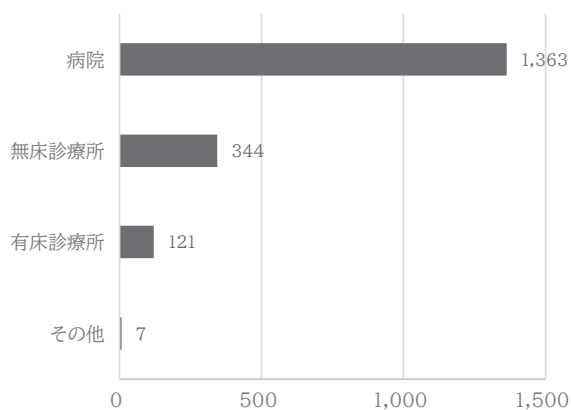
対象: 2022 年 10 月 1 日時点

有効回答数: 1,835

項目	n	割合
病院	1,363	(74.3%)
無床診療所	344	(18.7%)
有床診療所	121	(6.6%)
その他	7	(0.4%)
合計	1,835	(100.0%)

その他内訳: 介護医療院 19 床(1), 重症心身障害児者施設(1), 透析クリニック(1), 病院・無床診療所(別の建物)(1), 養成施設(1)

問7.医療機関の区分を選択してください。(単一回答)
n=1,835



問8 許可一般病床数を記載してください。

目的:一般病床数別の CE の分布や解析に使用する。

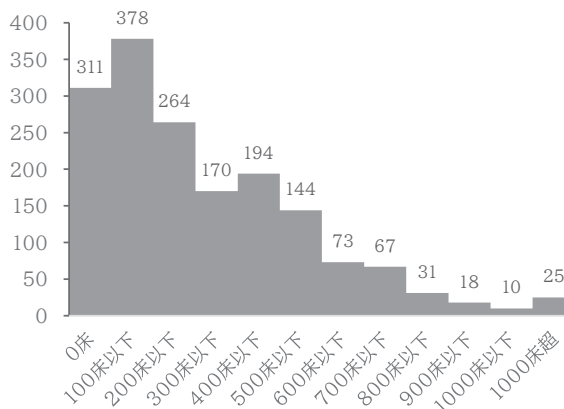
定義: 許可一般病床数を記載してください。 ※無床診療所は 0 になります。

対象: 2022 年 10 月 1 日時点

有効回答数: 1,685

項目	n	割合
0 床	311	(18.5%)
100 床以下	378	(22.4%)
200 床以下	264	(15.7%)
300 床以下	170	(10.1%)
400 床以下	194	(11.5%)
500 床以下	144	(8.5%)
600 床以下	73	(4.3%)
700 床以下	67	(4.0%)
800 床以下	31	(1.8%)
900 床以下	18	(1.1%)
1000 床以下	10	(0.6%)
1000 床超	25	(1.5%)

問8.許可一般病床数を記載してください。
n=1,685



問9 許可療養病床数を記載してください。

目的:療養病床数別の CE の分布や解析に使用する。

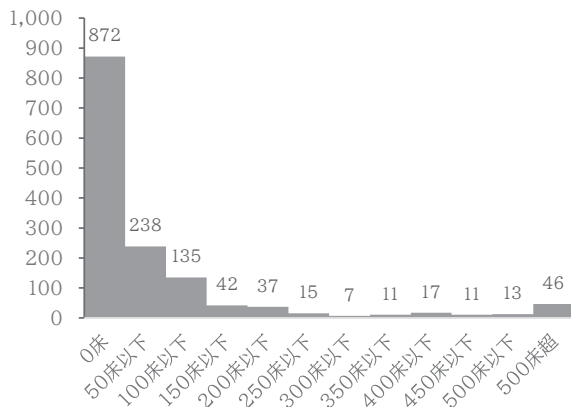
定義: 許可療養病床数を記載してください。 ※無床診療所は 0 になります。

対象: 2022 年 10 月 1 日時点

有効回答数: 1,444

項目	n	割合
0 床	872	(51.8%)
50 床以下	238	(14.1%)
100 床以下	135	(8.0%)
150 床以下	42	(2.5%)
200 床以下	37	(2.2%)
250 床以下	15	(0.9%)
300 床以下	7	(0.4%)
350 床以下	11	(0.7%)
400 床以下	17	(1.0%)
450 床以下	11	(0.7%)
500 床以下	13	(0.8%)
500 床超	46	(2.7%)

問9. 許可療養病床数を記載してください。
n=1,444



問10 臨床工学技士配置数（常勤換算）を記載してください。

目的：CE の分布や解析に使用する。

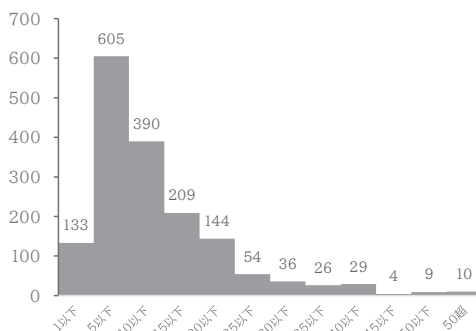
定義：臨床工学技士配置数を常勤換算で記載する。
※常勤換算とは、[職員の1週間の勤務時間] ÷ [常勤の職員が勤務すべき1週間の勤務時間] で求めます。例えば、1日8時間勤務で週5日の場合は40時間となる。常勤13名とパート職員2名（週3日で8時間勤務）では1名あたり $24/40 = 0.6$ から、 $13+1.2 = 14.2$ となる。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,694

項目	n	割合
1以下	133	(8.1%)
5以下	605	(36.7%)
10以下	390	(23.7%)
15以下	209	(12.7%)
20以下	144	(8.7%)
25以下	54	(3.3%)
30以下	36	(2.2%)
35以下	26	(1.6%)
40以下	29	(1.8%)
45以下	4	(0.2%)
50以下	9	(0.5%)
50超	10	(0.6%)

問10. 臨床工学技士配置数（常勤換算）を記載してください。n=1,649



問11 臨床工学技士が入職した人数を記載してください。

目的：CE の入職率を把握するため

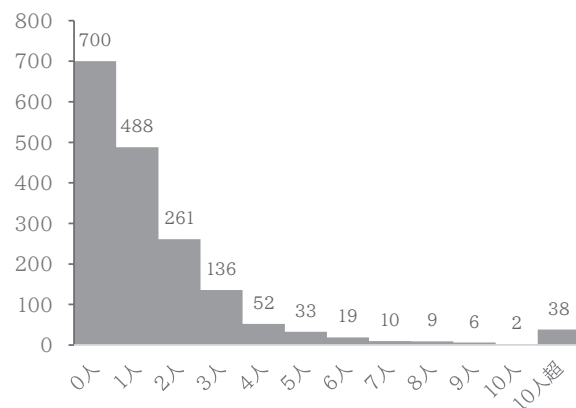
定義：対象期間に入職した臨床工学技士の人数を記載する。

対象：2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数：1,754

項目	n	割合
0人	700	(39.9%)
1人	488	(27.8%)
2人	261	(14.9%)
3人	136	(7.8%)
4人	52	(3.0%)
5人	33	(1.9%)
6人	19	(1.1%)
7人	10	(0.6%)
8人	9	(0.5%)
9人	6	(0.3%)
10人	2	(0.1%)
10人超	38	(2.2%)

問11. 臨床工学技士が入職した人数を記載してください。
n=1,754



問12 臨床工学技士が退職した人数を記載してください。

目的：CE の離職率を把握するため

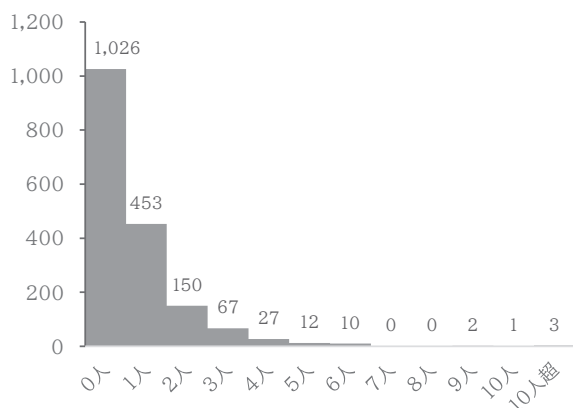
定義：対象期間に退職した臨床工学技士の人数を記載する。

対象：2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数：1,751

項目	n	割合
0人	1,026	(58.6%)
1人	453	(25.9%)
2人	150	(8.6%)
3人	67	(3.8%)
4人	27	(1.5%)
5人	12	(0.7%)
6人	10	(0.6%)
7人	0	(0.0%)
8人	0	(0.0%)
9人	2	(0.1%)
10人	1	(0.1%)
10人超	3	(0.2%)

問12.臨床工学技士が退職した人数を記載してください。
n=1,751



問13 臨床工学技士の勤務形態を選択して下さい。
(複数回答)

目的：勤務体系の調査

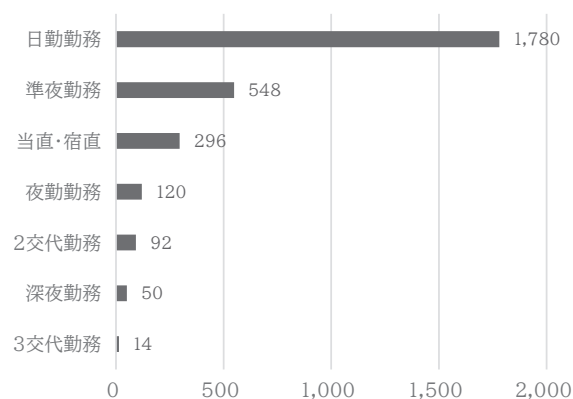
定義：勤務体系・勤務状況を把握する。深夜勤務とは午後10時から午前5時まで（場合によっては午後11時から午前6時まで）とする。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,819

項目	n	割合
日勤勤務	1,780	(97.9%)
準夜勤務	548	(30.1%)
当直・宿直	296	(16.3%)
夜勤勤務	120	(6.6%)
2交代勤務	92	(5.1%)
深夜勤務	50	(2.7%)
3交代勤務	14	(0.8%)

問13.臨床工学技士の勤務形態を選択して下さい。(複数回答)n=1,819



問14 臨床工学技士で育児休業を取得した人数を記載してください。

目的：育児休業の取得状況の把握

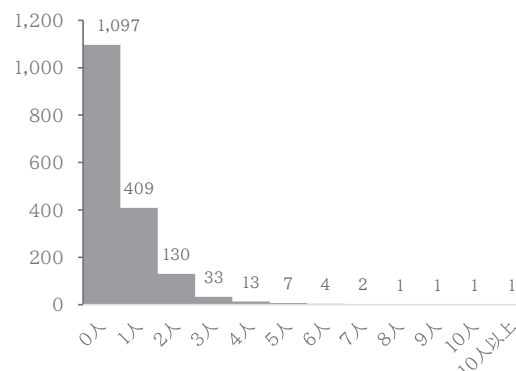
定義：臨床工学技士で対象期間に育児休業の取得状況した人数を記載してください。※育児休業とは、子が1歳（最長で2歳）に達するまで（父母ともに育児休業を取得する場合は、子が1歳2か月までを申出により取得するものとする。

対象：2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数：1,699

項目	n	割合
0人	1,097	(64.6%)
1人	409	(24.1%)
2人	130	(7.7%)
3人	33	(1.9%)
4人	13	(0.8%)
5人	7	(0.4%)
6人	4	(0.2%)
7人	2	(0.1%)
8人	1	(0.1%)
9人	1	(0.1%)
10人	1	(0.1%)
10人超	1	(0.1%)

問14.臨床工学技士で育児休業を取得した人数を記載してください。n=1,699



問15 臨床工学技士で介護休業を取得した人数を記載してください。

目的：介護休業の取得状況の把握

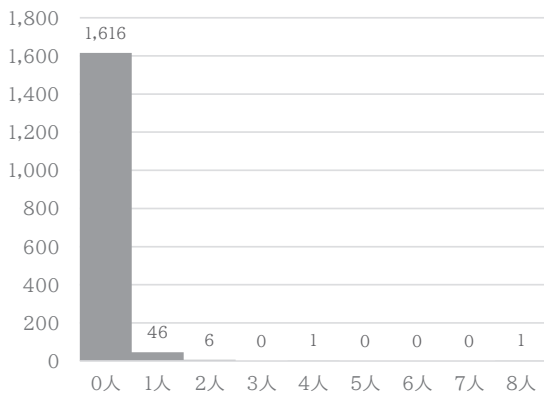
定義：臨床工学技士で対象期間に介護休業を取得した人数を記載してください。※介護休業とは労働者が要介護状態にある対象家族を介護するための休業を示す。

対象：2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数：1,670

項目	n	割合
0人	1,616	(96.8%)
1人	46	(2.8%)
2人	6	(0.4%)
3人	0	(0.0%)
4人	1	(0.1%)
5人	0	(0.0%)
6人	0	(0.0%)
7人	0	(0.0%)
7人超	1	(0.1%)

問15.臨床工学技士で介護休業を取得した人数を記載してください。n=1,670



問16 所属部門を選択してください。(単一回答)

目的：臨床工学技士部門の独立状況の調査のため

定義：臨床工学技士の所属部門を選択してください。

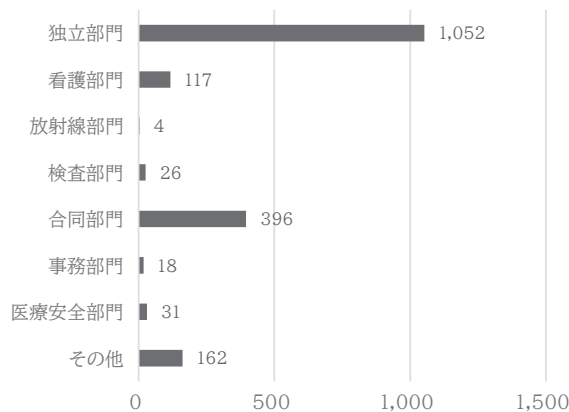
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,806

項目	n	割合
独立部門	1,052	(58.3%)
看護部門	117	(6.5%)
放射線部門	4	(0.2%)
検査部門	26	(1.4%)
合同部門	396	(21.9%)
事務部門	18	(1.0%)
医療安全部門	31	(1.7%)
その他	162	(9.0%)
合計	1,806	(100.0%)

その他内訳:透析室(21),なし(10),診療部(8),透析部門(7),麻酔科(6),医療技術部(5),透析センター(4)透析(4),医療技術部門(3),手術部(3)

問16.所属部門 n=1806



問17 臨床工学技士が所属している部署名に使用されているのは？(単一回答)

目的：臨床工学技士通称および所属部署名調査のため(組織強化職能委員会)

定義：所属施設の臨床工学技士の所属している部署名を選択して下さい。

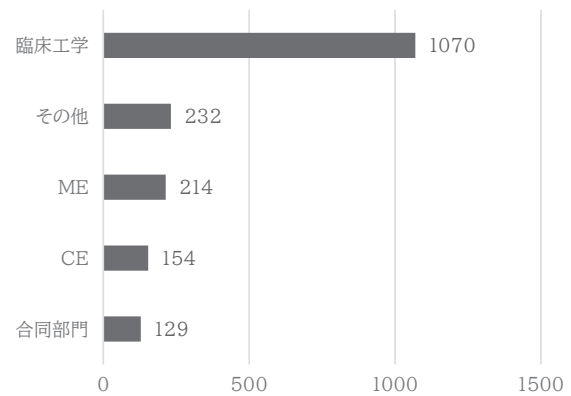
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,799

項目	n	割合
臨床工学	1,070	(59.5%)
CE	154	(8.6%)
ME	214	(11.9%)
合同部門	129	(7.2%)
その他	232	(12.9%)
合計	1,799	(100.0%)

その他内訳:透析室(26),医療機器管理室(15),なし(12),透析(8),技士部(8),看護部(8),透析センター(6)血液浄化部(5),部署名なし(4),医療安全管理室(4)

問17.所属部署名の通称 n=1,799



問18 臨床工学技士の主な通称(呼び名)を選択してください。(単一回答)

目的：臨床工学技士通称および所属部署名調査のため(組織強化職能委員会)

定義：の臨床工学技士の主な通称(呼び名)を選択して下さい。

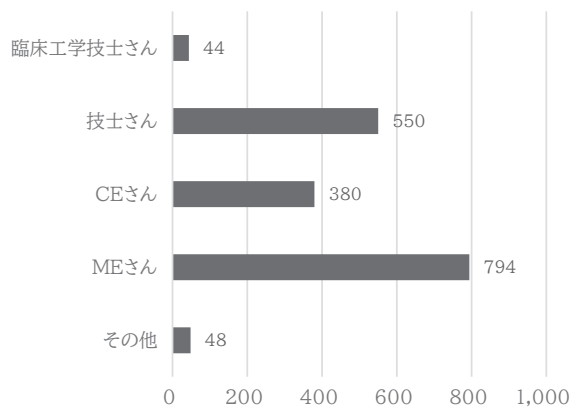
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,816

項目	n	割合
臨床工学技士さん	44	(2.4%)
技士さん	550	(30.3%)
CEさん	380	(20.9%)
MEさん	794	(43.7%)
その他	48	(2.6%)
合計	1,816	(100.0%)

その他内訳:臨工さん(13),名前(2),個人名(2),氏名(2),透析室内では技士さん,病棟ではMEさん(1),臨工(1)

問18.臨床工学技士の通称
n=1,816



問19 もし所属施設で部署名を変更する場合、その難易度はどの程度でしょうか？（単一回答）

目的：臨床工学技士通称および所属部署名統一について難易度を把握する（組織強化職能委員会）

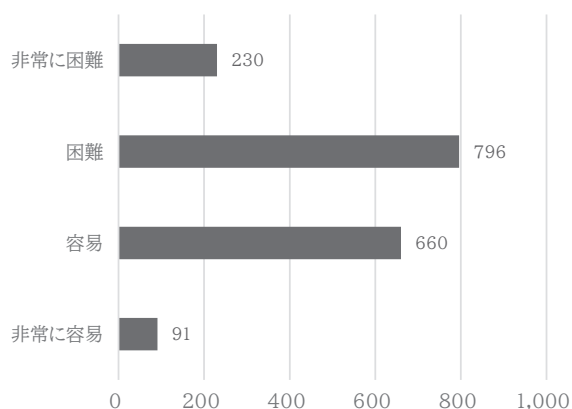
定義：臨床工学技士の通称（呼び名）と英語表記をCEに統一について、想定する難易度を選択して下さい。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,777

項目	n	割合
非常に困難	230	(12.2%)
困難	796	(42.1%)
容易	660	(34.9%)
非常に容易	91	(4.8%)
合計	1,777	(100.0%)

問19.部署名変更の難易度
n=1,777



問20 血液浄化が実施されていますか。（単一回答）

目的：所属施設の血液浄化の実施割合を把握する。

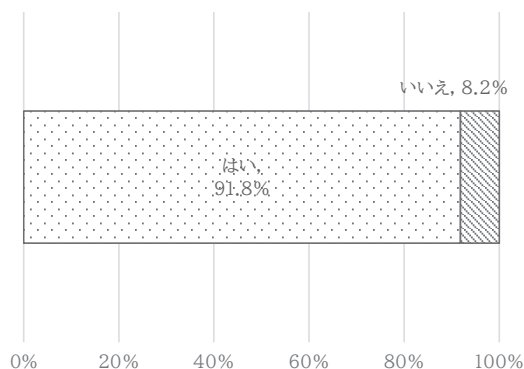
定義：所属施設において血液浄化を実施しているかを選択して下さい。 ※ CEの介入有無ではなく施設の実施有無

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,813

項目	n	割合
はい	1,665	(91.8%)
いいえ	148	(8.2%)
合計	1,813	(100.0%)

問20.血液浄化が実施されているか
n=1,813



問21 呼吸療法が実施されていますか。（単一回答）

目的：所属施設で呼吸療法を実施しているか把握する。

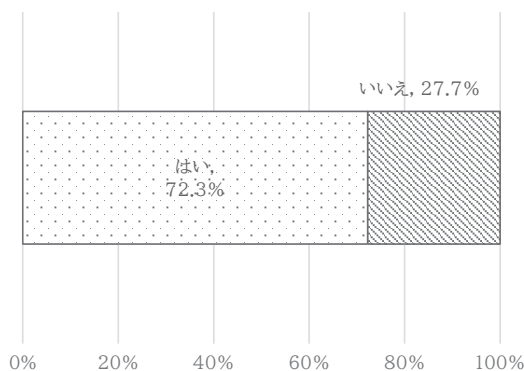
定義：所属施設において呼吸療法を実施しているかを選択して下さい。 ※ CEの介入有無ではなく施設の実施有無

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,691

項目	n	割合
はい	1,222	(72.3%)
いいえ	469	(27.7%)
合計	1,691	(100.0%)

問21.呼吸療法が実施されているか
n=1,691



問22 在宅呼吸療法が実施されていますか。(単一回答)

目的：所属施設で在宅呼吸療法を実施しているか把握する。

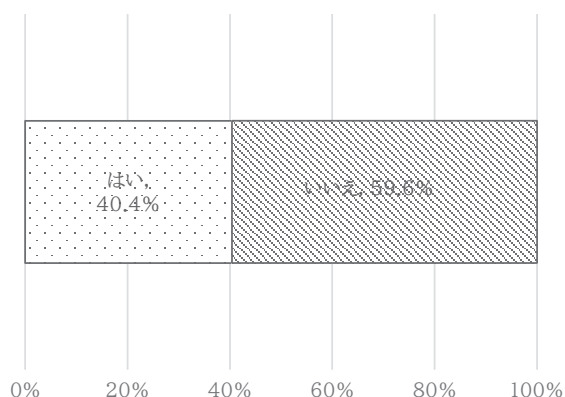
定義：所属施設において入院を含む在宅呼吸療法を実施しているかを選択して下さい。 ※ CE の介入有無ではなく施設の実施有無

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,730

項目	n	割合
はい	699	(40.4%)
いいえ	1,031	(59.6%)
合計	1,730	(100.0%)

問22.在宅呼吸療法が実施されているか
n=1,730



問23 集中治療室 (ICU,NICU, ハイケアユニット等) が設置されていますか。(単一回答)

目的：集中治療室の設置実態を把握する。

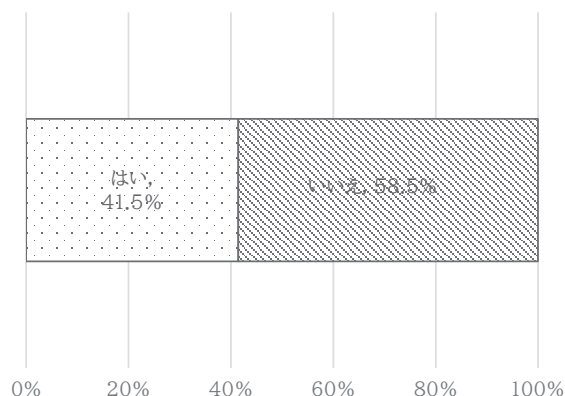
定義：所属施設の集中治療室の有無を選択して下さい。 ※次の届出を集中治療室とする。特定集中治療室管理料1～4, ハイケアユニット入院医療管理料, 救命救急入院料1～4, 脳卒中ケアユニット入院医療管理料, 小児特定集中治療室管理料, 新生児特定集中治療室管理料1～2, 総合周産期特定集中治療室管理料, 新生児治療回復室入院医療管理料

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,732

項目	n	割合
はい	718	(41.5%)
いいえ	1,014	(58.5%)
合計	1,732	(100.0%)

問23.集中治療室が設置されているか
n=1,732



問24 心臓・血管カテーテル室はありますか。(単一回答)

目的：所属施設の心臓・血管カテーテル室の有無を把握する。

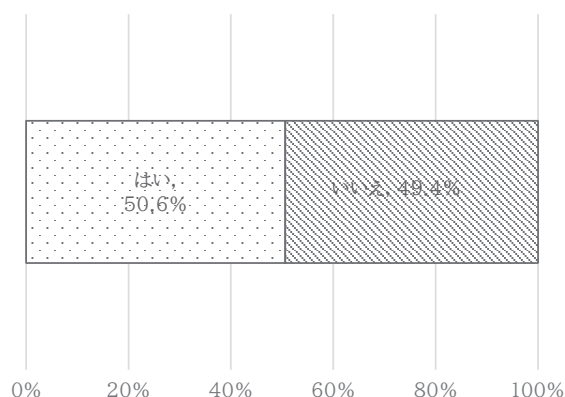
定義：心臓・血管カテーテル室の有無を選択して下さい。 ※ Hybrid を含める

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,732

項目	n	割合
はい	877	(50.6%)
いいえ	855	(49.4%)
合計	1,732	(100.0%)

問24.心臓・血管カテーテル室はあるか
n=1,732



問25 内視鏡検査治療を専門に実施する内視鏡室(センター)が設置されていますか。(単一回答)

目的: 内視鏡診療の実態を把握する.

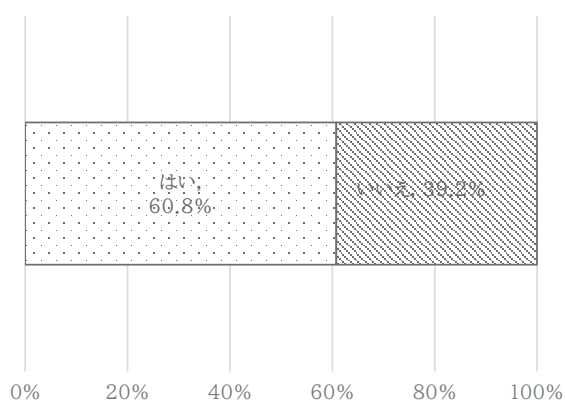
定義: 内視鏡室の有無を選択して下さい. 内視鏡検査治療を専門に実施する内視鏡室(センター)とする.

対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 1,730

項目	n	割合
はい	1,052	(60.8%)
いいえ	678	(39.2%)
合計	1,730	(100.0%)

内視鏡室はあるか
n=1,730



問26 手術室における手術を実施していますか。(単一回答)

目的: 所属施設で手術を実施しているか把握する.

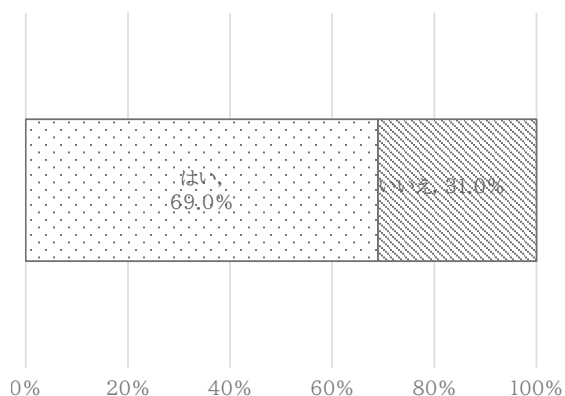
定義: 所属施設で手術室における手術を実施しているかを選択して下さい.

対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 1,735

項目	n	割合
はい	1,197	(69.0%)
いいえ	538	(31.0%)
合計	1,735	(100.0%)

問26.手術室における手術を実施しているか
n=1,735



問27 不整脈アブレーション治療を実施していますか。(単一回答)

目的: 所属施設で不整脈アブレーション治療を実施しているか把握する.

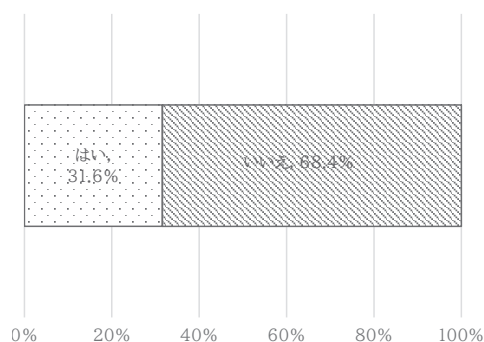
定義: 所属施設で不整脈アブレーション治療を実施しているかを選択して下さい.

対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 1,726

項目	n	割合
はい	545	(31.6%)
いいえ	1,181	(68.4%)
合計	1,726	(100.0%)

問27.不整脈アブレーション治療を実施しているか
n=1726



問28 心臓植込み型デバイスの植込み手術またはフォローアップを実施されていますか。(単一回答)

目的: 所属施設で心臓植込み型デバイスの植込み手術またはフォローアップを実施しているか把握する.

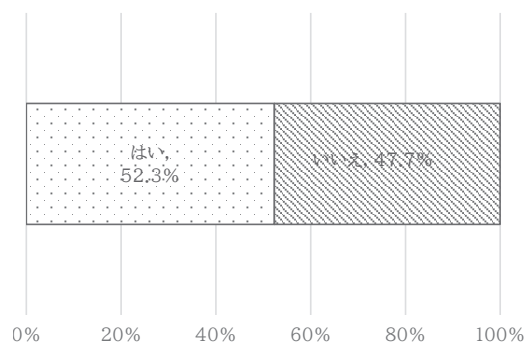
定義: 所属施設で心臓植込み型デバイスの植込み手術またはフォローアップを実施しているかを選択して下さい.

対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 1,729

項目	n	割合
はい	905	(52.3%)
いいえ	824	(47.7%)
合計	1,729	(100.0%)

問28.心臓植込み型デバイスの植込みまたはフォローを実施している
n=1729



問29 高気圧酸素治療装置が設置されていますか。
(単一回答)

目的：所属施設で高気圧酸素治療を実施しているか把握する。

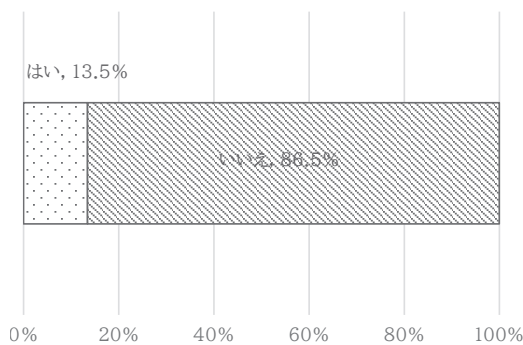
定義：所属施設で高気圧酸素治療装置が設置されているかを選択して下さい。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,724

項目	n	割合
はい	232	(13.5%)
いいえ	1,492	(86.5%)
合計	1,724	(100.0%)

問29.高気圧酸素治療装置が設置されているか
n=1724



問30 ハイパーサーミア治療装置が設置されていますか。(単一回答)

目的：所属施設でハイパーサーミアを実施しているか把握する。

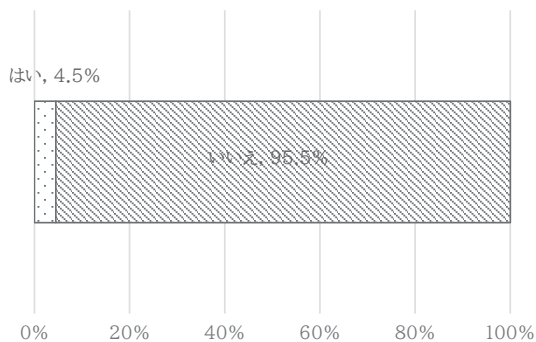
定義：所属施設でハイパーサーミア治療装置が設置されているかを選択して下さい。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,718

項目	n	割合
はい	77	(4.5%)
いいえ	1,641	(95.5%)
合計	1,718	(100.0%)

問30.ハイパーサーミア治療装置が設置されているか
n=1,718



IV. 施設調査 血液浄化アドオン

問1 所属都道府県技士会，問2 所属施設の所在地は省略する。

問3 血液浄化のための穿刺を実施している職種を回答してください(複数回答)

目的：所属施設で血液浄化のための穿刺を実施している職種を把握する

定義：血液浄化のための穿刺を実施している職種を選択して下さい。

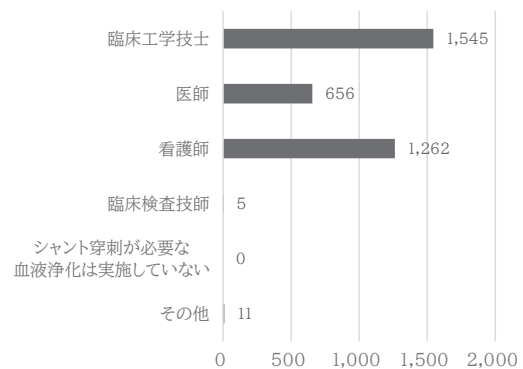
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,638

項目	n	割合
臨床工学技士	1,545	(94.3%)
医師	656	(40.0%)
看護師	1,262	(77.0%)
臨床検査技師	5	(0.3%)
シャント穿刺が必要な血液浄化は実施していない	21	(1.3%)
その他	11	(0.7%)

その他内訳：准看護師(2)，業務なし(2)，認定看護師のみ，准看護師を持った検査技師，穿刺困難者は技士が対応，医師はVA以外の穿刺・VAへの穿刺はCE・Nsで対応，GCAP療法しか施設では行っていない

問3 血液浄化のための穿刺を実施している職種
n=1,638



問4 エコーガイド下のシャント穿刺を実施していますか (単一回答)

目的: 所属施設で血液透析におけるCEのエコーガイド下のシャント穿刺の実施状況を把握する

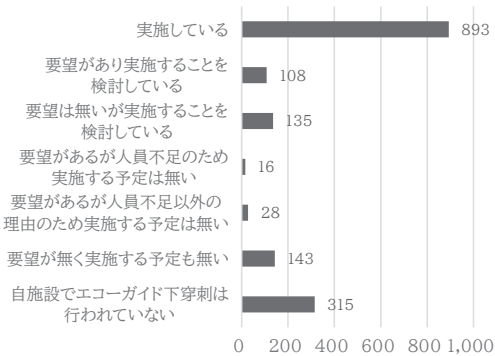
定義: 血液透析におけるCEのエコーガイド下のシャント穿刺の実施状況について最も適した選択肢を選択してください。

対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 1,638

項目	n	割合
実施している	893	(54.5%)
要望があり実施することを検討している	108	(6.6%)
要望は無いが実施することを検討している	135	(8.2%)
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	16	(1.0%)
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	28	(1.7%)
要望が無く実施する予定も無い	143	(8.7%)
自施設でエコーガイド下穿刺は行われていない	315	(19.2%)

問4 エコーガイド下穿刺の実施 n=1,638



問5 エコーガイド下のシャント穿刺を実施している職種を回答してください。(複数回答)

目的: 所属施設でエコーガイド下のシャント穿刺を実施している職種を把握する。

定義: エコーガイド下のシャント穿刺を実施している職種を選択してください。

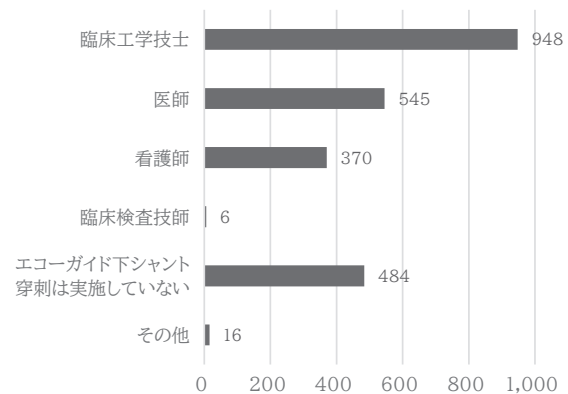
対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 1,638

項目	n	割合
臨床工学技士	948	(57.9%)
医師	545	(33.3%)
看護師	370	(22.6%)
臨床検査技師	6	(0.4%)
エコーガイド下シャント穿刺は実施していない	484	(29.5%)
その他	16	(1.0%)

その他内訳: 実施していない(3), 強く推奨はしていない(2), NP, CVT, 准看護師, 特定の人のみ, 准看護師を持った検査技師, 毎回でのエコーガイド下で穿刺していない

問5 エコーガイド下穿刺を実施している職種 n=1,638



問6 血液透析における超音波診断装置によるバスキュラーアクセスの評価を実施していますか。(単一回答)

目的: 所属施設で血液透析における超音波診断装置によるバスキュラーアクセスの評価を実施しているか把握する。

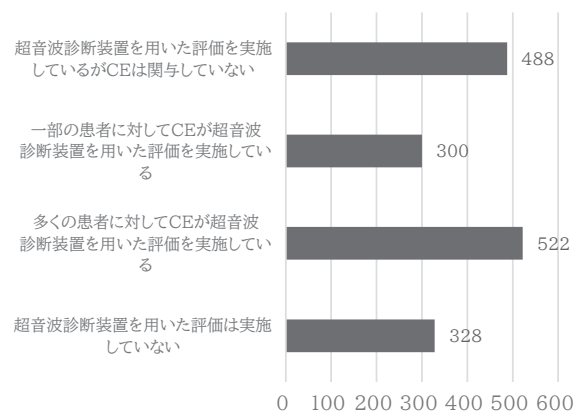
定義: 血液透析における超音波診断装置によるバスキュラーアクセスの評価について最も適した選択肢を選択してください。

対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 1,638

項目	n	割合
超音波診断装置を用いた評価を実施しているがCEは関与していない	488	(29.8%)
一部の患者に対してCEが超音波診断装置を用いた評価を実施している	300	(18.3%)
多くの患者に対してCEが超音波診断装置を用いた評価を実施している	522	(31.9%)
超音波診断装置を用いた評価は実施していない	328	(20.0%)

問6 超音波診断装置によるVA評価の実施 n=1,638



問7 バスキュラーアクセス管理を実施している職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設でバスキュラーアクセス管理を実施している職種を把握する

定義：バスキュラーアクセス管理を実施している職種を選択してください。

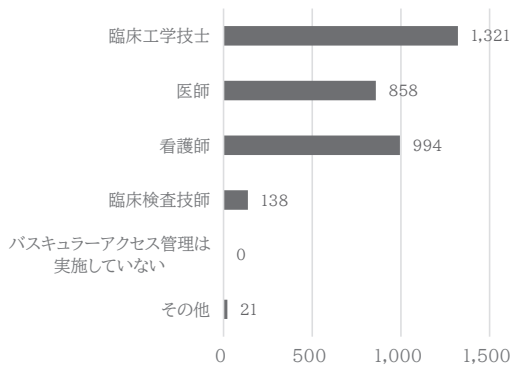
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,638

項目	n	割合
臨床工学技士	1,321	(80.6%)
医師	858	(52.4%)
看護師	994	(60.7%)
臨床検査技師	138	(8.4%)
バスキュラーアクセス管理は実施していない	0	(0.0%)
その他	21	(1.3%)

その他内訳：診療放射線技師(10), CVT, 准看護師, 臨床検査部 生理検査科, 慢性期の透析は実施していない, 入院透析のみのため実施されていない

問7 VA管理を実施している職種 n=1,638



問8 動脈表在化への穿刺をCEが実施していますか(単一回答)

目的：所属施設で血液透析における動脈表在化への穿刺の実施状況を把握する

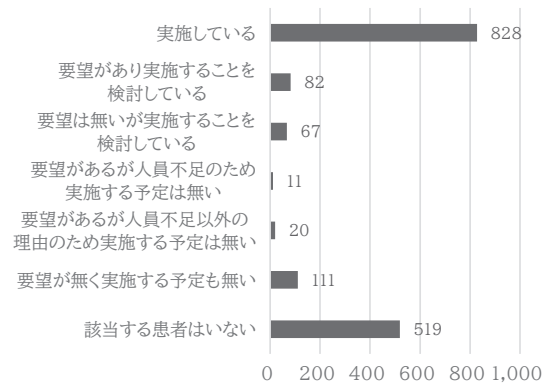
定義：血液透析におけるCEの動脈表在化への穿刺の実施状況について最も適した選択肢を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,638

項目	n	割合
実施している	828	(50.5%)
要望があり実施することを検討している	82	(5.0%)
要望は無いが実施することを検討している	67	(4.1%)
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	11	(0.7%)
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	20	(1.2%)
要望が無く実施する予定も無い	111	(6.8%)
該当する患者はいない	519	(31.7%)

問8 動脈表在化の穿刺をCEが実施しているか n=1,638



問9 透析条件の検討に対してCEが関与している項目を全て選択してください(複数回答)

目的：透析(HDF含む)条件の検討に対しCEが関与している項目を把握する

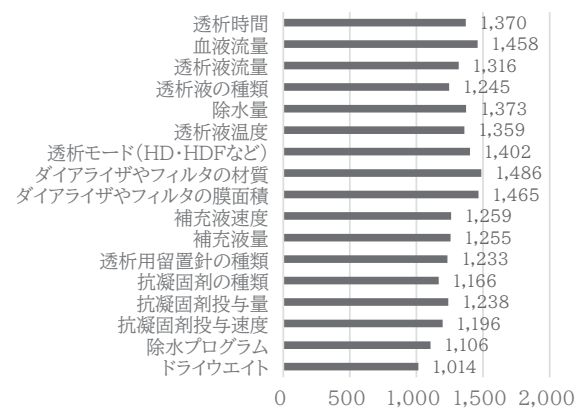
定義：透析(HDF含む)条件の検討に対しCEが関与している項目をすべて選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,638

項目	n	割合
透析時間	1,370	(83.6%)
血液流量	1,458	(89.0%)
透析液流量	1,316	(80.3%)
透析液の種類	1,245	(76.0%)
除水量	1,373	(83.8%)
透析液温度	1,359	(83.0%)
透析モード(HD・HDFなど)	1,402	(85.6%)
ダイアライザやフィルタの材質	1,486	(90.7%)
ダイアライザやフィルタの膜面積	1,465	(89.4%)
補充液速度	1,259	(76.9%)
補充液量	1,255	(76.6%)
透析用留置針の種類	1,233	(75.3%)
抗凝固剤の種類	1,166	(71.2%)
抗凝固剤投与量	1,238	(75.6%)
抗凝固剤投与速度	1,196	(73.0%)
除水プログラム	1,106	(67.5%)
ドライウエイト	1,014	(61.9%)

問9 透析条件の検討に対してCEが関与している項目 n=1,638



問10 透析条件の検討に対してCEが決定している項目を全て選択してください（複数回答）

目的：透析（HDF含む）条件の検討に対しCEが決定している項目を把握する

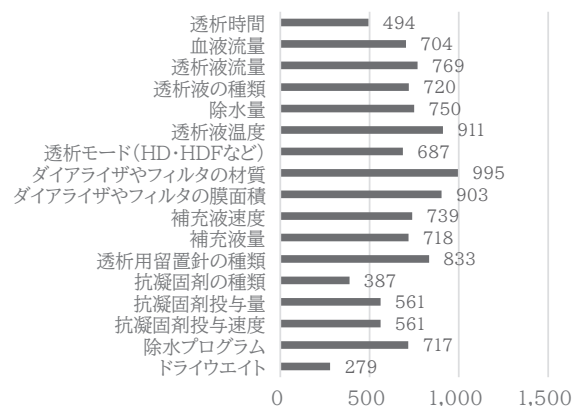
定義：透析（HDF含む）条件の検討に対しCEが決定している項目をすべて選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,638

項目	n	割合
透析時間	494	(30.2%)
血液流量	704	(43.0%)
透析液流量	769	(46.9%)
透析液の種類	720	(44.0%)
除水量	750	(45.8%)
透析液温度	911	(55.6%)
透析モード(HD・HDFなど)	687	(41.9%)
ダイアライザやフィルタの材質	995	(60.7%)
ダイアライザやフィルタの膜面積	903	(55.1%)
補充液速度	739	(45.1%)
補充液量	718	(43.8%)
透析用留置針の種類	833	(50.9%)
抗凝固剤の種類	387	(23.6%)
抗凝固剤投与量	561	(34.2%)
抗凝固剤投与速度	561	(34.2%)
除水プログラム	717	(43.8%)
ドライウエイト	279	(17.0%)

問10 透析条件の検討に対してCEが決定している項目
n=1,638



問11 下肢の検査に対してCEが実施している項目を全て選択してください（複数回答）

目的：CEが検査している種類を把握する

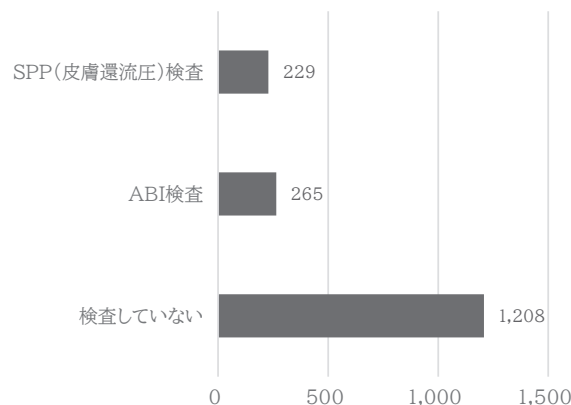
定義：下肢の検査に対してCEが検査している項目をすべて選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,638

項目	n	割合
SPP(皮膚還流圧)検査	229	(14.0%)
ABI検査	265	(16.2%)
検査していない	1,208	(73.7%)

問11 下肢検査に対してCEが実施している項目
n=1,638



問12 「腎代替療法専門指導士」の習得を予定している主な職種を回答してください（複数回答）

目的：腎代替療法の適切な選択を推進するために腎代替療法専門指導士制度が発足しました。臨床工学技士も血液浄化専門・認定臨床工学技士を有していると応募することが可能となるため、習得状況を把握する

定義：「腎代替療法専門指導士」の習得を予定している主な職種を選択してください。

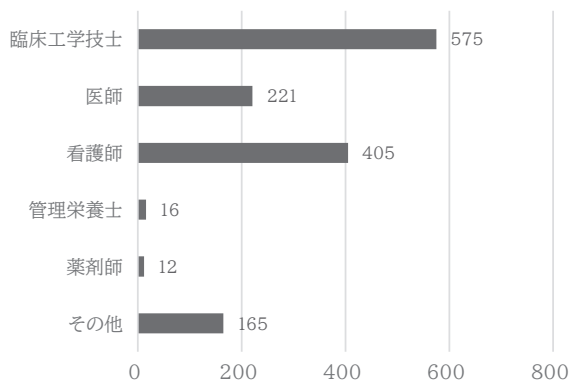
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,019

項目	n	割合
臨床工学技士	575	(56.4%)
医師	221	(21.7%)
看護師	405	(39.7%)
管理栄養士	16	(1.6%)
薬剤師	12	(1.2%)
その他	165	(16.2%)

その他内訳: 予定なし(103), 検討していない(4), 不明(4), 取得の提案はしたが却下された, リハビリ, 取得済み

問12 「腎代替療法専門指導士」の習得を
予定している主な職種
n=1,019



問13 腹膜透析 (PD) の導入や在宅 PD 管理を実施していますか (単一回答)

目的：所属施設で PD 業務を実施しているか把握する

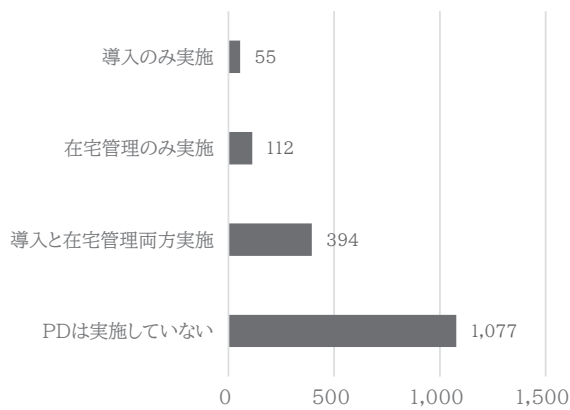
定義：実施している PD 業務を選択してください。

対象：2022 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,638

項目	n	割合
導入のみ実施	55	(3.4%)
在宅管理のみ実施	112	(6.8%)
導入と在宅管理両方実施	394	(24.1%)
PDは実施していない	1,077	(65.8%)

問13 PD導入や在宅PD管理の実施
n=1,638



問14 PD 業務を担当する CE の人数を教えてください (単一回答)

目的：所属施設で PD 業務を実施できる CE がどの程度いるかを把握する

定義：PD 業務を担当する CE の人数を入力してください。関わっていない場合は (1) もしくは (2) を選択してください。その他に PD 業務に関わる CE の人数を入力してください。

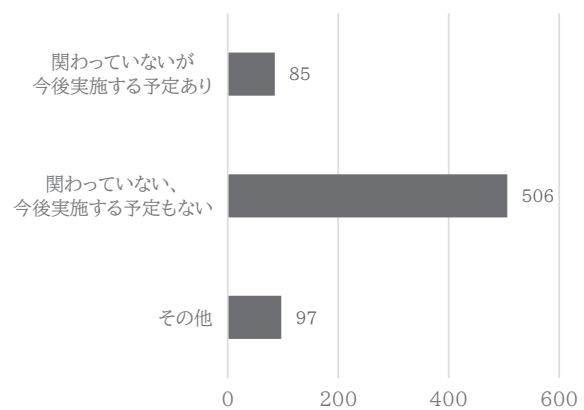
対象：2022 年 10 月 1 日時点

有効回答数：

項目	n	割合
関わっていないが 今後実施する予定あり	85	(12.4%)
関わっていない、 今後実施する予定もない	506	(73.5%)
その他	97	(14.1%)

その他内訳:1 人(25), 2 人(13), 3 人(13), 4 人(5), 5 人(8), 6 人(3), 8 人(3), 10 人(5), 33 人(1), 看護師(4)

問14 PD業務を担当するCEの人数
n=688



問15 PD業務において、CEが行っている業務を回答してください（複数回答）

目的：所属施設でCEが行っているPD業務を把握する
 定義：CEが行っているPD業務を選択してください。 ※腎代替療法選択外来業務とは保存期の方が今後の治療方針（血液透析・腹膜透析・腎移植）について考える外来とする。

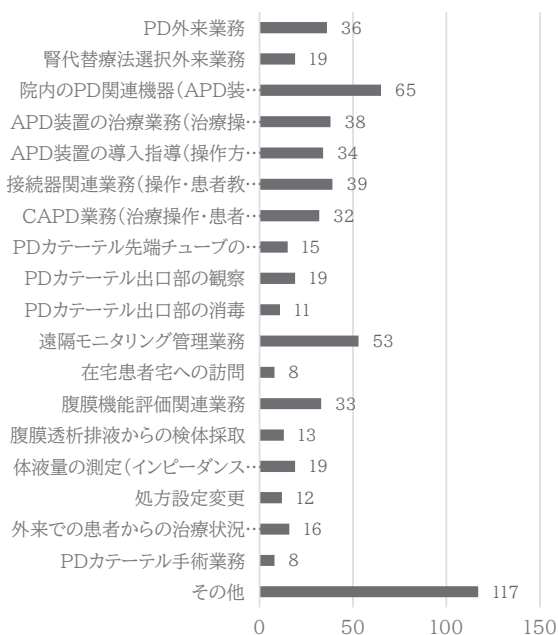
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：239

項目	n	割合
PD 外来業務	36	(15.1%)
腎代替療法選択外来業務	19	(7.9%)
院内のPD 関連機器 (APD 装置, 接続器など) 管理業務	65	(27.2%)
APD 装置の治療業務 (治療操作・設定など)	38	(15.9%)
APD 装置の導入指導 (操作方法, APD 装置機種の選択など)	34	(14.2%)
接続器関連業務 (操作・患者教育など)	39	(16.3%)
CAPD 業務 (治療操作・患者教育など)	32	(13.4%)
PD カテーテル先端チューブの交換	15	(6.3%)
PD カテーテル出口部の観察	19	(7.9%)
PD カテーテル出口部の消毒	11	(4.6%)
遠隔モニタリング管理業務	53	(22.2%)
在宅患者宅への訪問	8	(3.3%)
腹膜機能評価関連業務	33	(13.8%)
腹膜透析排液からの検体採取	13	(5.4%)
体液量の測定 (インピーダンス法などを含む)	19	(7.9%)
処方設定変更	12	(5.0%)
外来での患者からの治療状況のヒアリング	16	(6.7%)
PD カテーテル手術業務	8	(3.3%)
その他	117	(49.0%)

その他内訳：なし(65), データ管理(4), 対象者なし(2), カンファレンス(1)

問15 PD業務でCEが行っている業務 n=239



問16 「APD 装置の各種パラメータ設定」を行って

いる主な職種を回答してください（複数回答）
 目的：所属施設で「APD 装置の各種パラメータ設定」を行って

いる主な職種を把握する
 定義：「APD 装置の各種パラメータ設定」を行って

いる主な職種を選択してください。
 対象：2022年10月1日時点

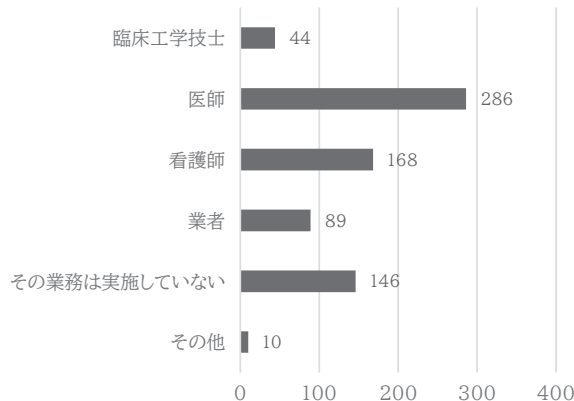
有効回答数：541

項目	n	割合
臨床工学技士	44	(8.1%)
医師	286	(52.9%)
看護師	168	(31.1%)
業者	89	(16.5%)
その業務は実施していない	146	(27.0%)
その他	10	(1.8%)

その他内訳：不明(7), 関与していない(1), 医師(1)

問16 「APD装置の各種パラメータ設定」を行って

いる主な職種 n=541



問17 「APD 装置の患者への手技・機器操作の指導, 操作教育」を行って

いる主な職種を回答してください（複数回答）
 目的：所属施設で「APD 装置の患者への手技・機器操作の指導, 操作教育」を行って

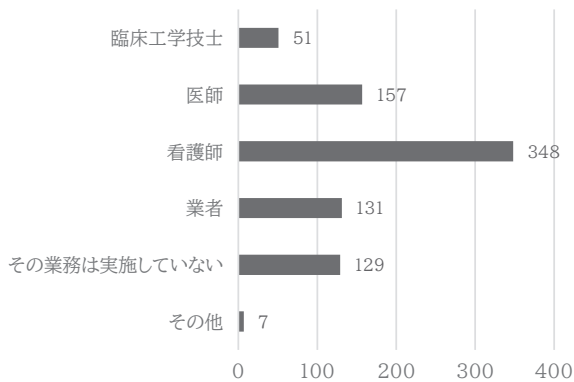
いる主な職種を把握する
 定義：「APD 装置の患者への手技・機器操作の指導, 操作教育」を行って

いる主な職種を選択してください。
 対象：2022年10月1日時点

項目	n	割合
臨床工学技士	51	(9.3%)
医師	157	(28.6%)
看護師	348	(63.5%)
業者	131	(23.9%)
その業務は実施していない	129	(23.5%)
その他	7	(1.3%)

その他内訳：不明(6), 入院施設で実施(1)

問17 「APD装置の患者への手技・機器操作の指導・操作教育」を行っている主な職種 n=548

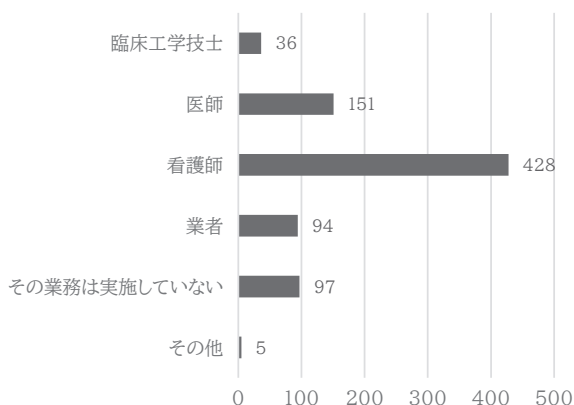


問18 「PD患者へのPD液バッグ交換手技の指導」を行っている職種を回答してください（複数回答）
 目的：所属施設で「患者へのPD液バッグ交換手技、接合器の操作指導」を行っている職種を把握する
 定義：「患者へのPD液バッグ交換手技、接合器の操作指導」を行っている職種を選択してください。
 対象：2022年10月1日時点
 有効回答数：562

項目	n	割合
臨床工学士	36	(6.4%)
医師	151	(26.9%)
看護師	428	(76.2%)
業者	94	(16.7%)
その業務は実施していない	97	(17.3%)
その他	5	(0.9%)

その他内訳：不明(3), 入院施設で実施(1)

問18 「PD患者へのPD液バッグ交換手技の指導」を行っている職種 n=562



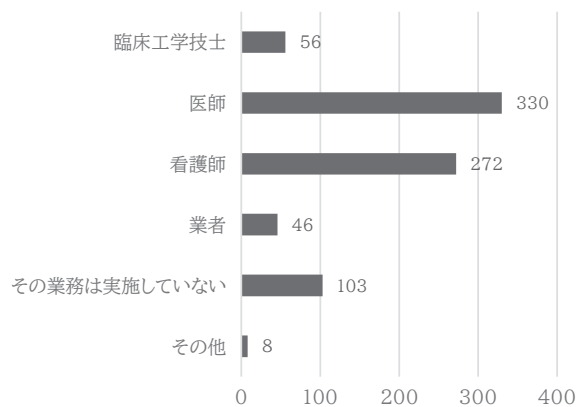
問19 「PDの除水や溶質除去効率のチェックとデータ管理」を行っている主な職種を回答してください（複数回答）

目的：所属施設で「PDの除水や溶質除去効率のチェックとデータ管理」を行っている職種を把握する
 定義：「PDの除水や溶質除去効率のチェックとデータ管理」を行っている主な職種を選択してください。
 対象：2022年10月1日時点
 有効回答数：

項目	n	割合
臨床工学士	56	(10.1%)
医師	330	(59.6%)
看護師	272	(49.1%)
業者	46	(8.3%)
その業務は実施していない	103	(18.6%)
その他	8	(1.4%)

その他内訳：わからない(6), 管理栄養士(1)

問19 「PDの除水や溶質除去効率のチェックとデータ管理」を行っている主な職種 n=554



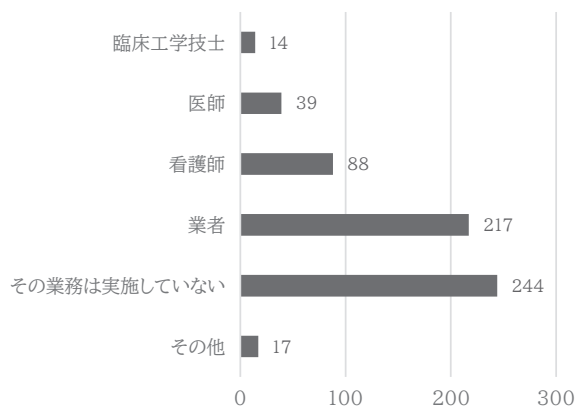
問20 「PDに対して在宅訪問による装置の設定確認と点検」を行っている主な職種を回答してください（複数回答）

目的：所属施設で「在宅訪問による装置の設定確認と点検」を行っている職種を把握する
 定義：「在宅訪問による装置の設定確認と点検」を行っている主な職種を選択してください。
 対象：2022年10月1日時点
 有効回答数：549

項目	n	割合
臨床工学士	14	(2.6%)
医師	39	(7.1%)
看護師	88	(16.0%)
業者	217	(39.5%)
その業務は実施していない	244	(44.4%)
その他	17	(3.1%)

わからない(13), 導入退院時の訪問のみ(1), 遠隔・トラブル時は業者もしくは外来受診(1)

問20 「PDに対して在宅訪問による装置の設定確認と点検」を行っている主な職種 n=549



問21 「PD 遠隔管理システムのシステム管理」を行っている主な職種を回答してください(複数回答)

目的: 所属施設で「PD 遠隔管理システムのシステム管理」を行っている職種を把握する

定義: 「PD 遠隔管理システムのシステム管理」を行っている主な職種を選択してください。

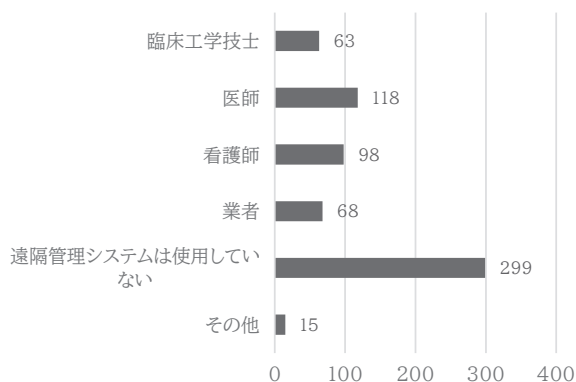
対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 533

項目	n	割合
臨床工学技士	63	(11.8%)
医師	118	(22.1%)
看護師	98	(18.4%)
業者	68	(12.8%)
遠隔管理システムは使用していない	299	(56.1%)
その他	15	(2.8%)

その他内訳: わからない(12), 導入予定(1)

問21 「PD遠隔管理システムのシステム管理」を行っている主な職種 n=533



問22 「院内保有のPD 関連機器の管理」を行っている主な職種を回答してください(複数回答)

目的: 所属施設で「院内保有のPD 関連機器の管理」を行っている職種を把握する

定義: 「院内のPD 関連機器の管理」を行っている主な職種を選択してください。

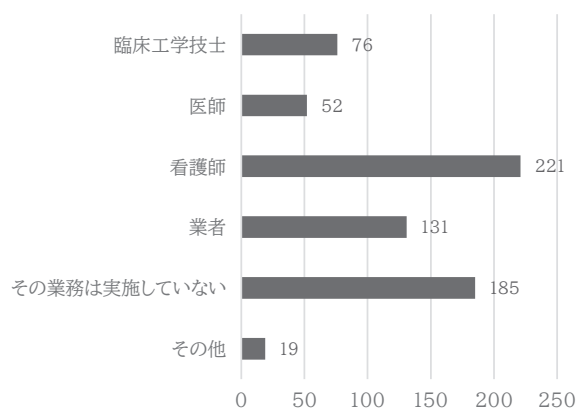
対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 578

項目	n	割合
臨床工学技士	76	(13.9%)
医師	52	(9.5%)
看護師	221	(40.3%)
業者	131	(23.9%)
その業務は実施していない	185	(33.8%)
その他	19	(3.5%)

その他内訳: わからない(12), 資材課(1), CE 予定(1)

問22 「院内保有のPD関連機器の管理」を行っている主な職種 n=548



問23 「PD 関連装置のトラブル対応」を行っている主な職種を回答してください(複数回答)

目的: 所属施設で「PD 関連装置のトラブル対応」を行っている職種を把握する

定義: 「PD 関連装置のトラブル対応」を行っている主な職種を選択してください。

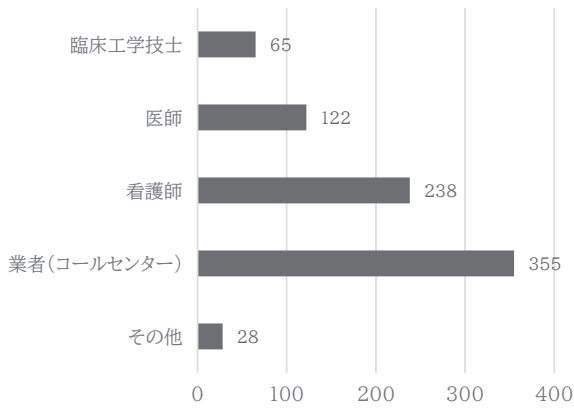
対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 504

項目	n	割合
臨床工学技士	65	(12.9%)
医師	122	(24.2%)
看護師	238	(47.2%)
業者(コールセンター)	355	(70.4%)
その他	28	(5.6%)

その他内訳: わからない(9), 関わっていない(2), 実施していない(3)

問23 「PD関連装置のトラブル対応」を行っている
主な職種 n=504



問24 「院内の医療スタッフへのPD関連機器の使用
方法の研修(説明・トラブルシューティング)」
を行っている職種を回答してください(複数回答)
目的: 所属施設で「医療スタッフへのPD関連装置
使用方法の説明・トラブルシューティング」を行っ
ている職種を把握する

定義: 「医療スタッフへのPD関連装置使用方法の
説明・トラブルシューティング」を行っている主な
職種を選択してください。

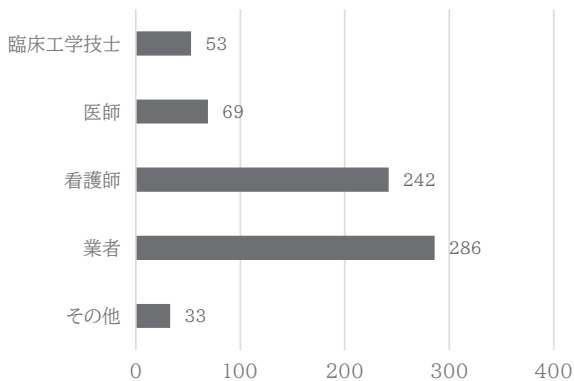
対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 486

項目	n	割合
臨床工学技士	53	(10.9%)
医師	69	(14.2%)
看護師	242	(49.8%)
業者	286	(58.8%)
その他	33	(6.8%)

その他内訳: わからない(9)なし(6)

問24 「院内の医療スタッフへのPD関連機器の使用
方法の研修」を行っている職種
n=486



V. 施設調査 呼吸療法アドオン

問1 所属都道府県技士会, 問2 所属施設名は省略
する。

問3 CEが人工呼吸器(NPPV・麻酔用人工呼吸
器除く)について実施する業務はどれですか。(複
数回答)

目的: CEが人工呼吸器において実施する業務を把
握する。

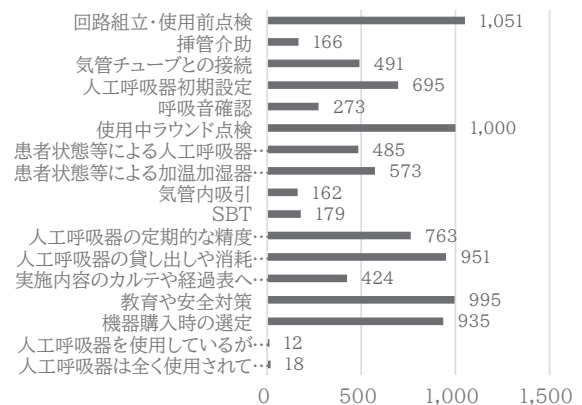
定義: CEが人工呼吸器においてCEが実施する業
務をすべて選択してください。※NPPV・麻酔用
人工呼吸器除く, 一部実施でも選択可能とする。

対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 1,093

項目	n	割合
回路組立・使用前点検	1,051	(96.2%)
挿管介助	166	(15.2%)
気管チューブとの接続	491	(44.9%)
人工呼吸器初期設定	695	(63.6%)
呼吸音確認	273	(25.0%)
使用中ラウンド点検	1,000	(91.5%)
患者状態等による人工呼吸器設定変 更	485	(44.4%)
患者状態等による加温加湿器設定	573	(52.4%)
気管内吸引	162	(14.8%)
SBT	179	(16.4%)
人工呼吸器の定期的な精度確認	763	(69.8%)
人工呼吸器の貸し出しや消耗品の払 い出し	951	(87.0%)
実施内容のカルテや経過表への記録	424	(38.8%)
教育や安全対策	995	(91.0%)
機器購入時の選定	935	(85.5%)
人工呼吸器を使用しているがCEは 全く関与していない	12	(1.1%)
人工呼吸器は全く使用されていない	18	(1.6%)

問3.CEが人工呼吸器(NPPV・麻酔用人工呼吸器除く)に
ついて実施する業務はどれですか。(複数回答) n=1,093



問4 CEがNPPVについて実施する業務はどれですか。(複数回答)

目的：CEがNPPVについて実施する業務を把握する。

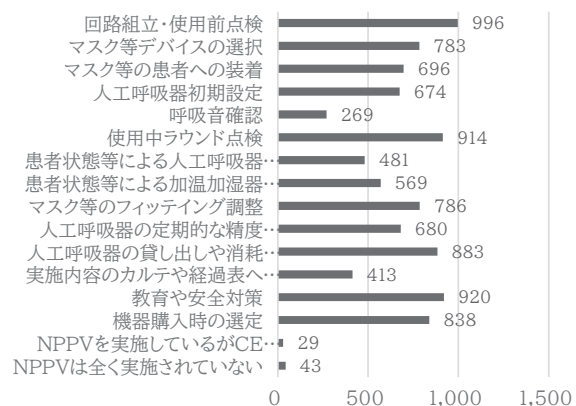
定義：CEがNPPVについて実施する業務をすべて選択してください。※一部実施でも選択可能とする。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,093

項目	n	割合
回路組立・使用前点検	996	(91.1%)
マスク等デバイスの選択	783	(71.6%)
マスク等の患者への装着	696	(63.7%)
人工呼吸器初期設定	674	(61.7%)
呼吸音確認	269	(24.6%)
使用中ラウンド点検	914	(83.6%)
患者状態等による人工呼吸器設定変更	481	(44.0%)
患者状態等による加温加湿器設定	569	(52.1%)
マスク等のフィッティング調整	786	(71.9%)
人工呼吸器の定期的な精度確認	680	(62.2%)
人工呼吸器の貸し出しや消耗品の払い出し	883	(80.8%)
実施内容のカルテや経過表への記録	413	(37.8%)
教育や安全対策	920	(84.2%)
機器購入時の選定	838	(76.7%)
NPPVを実施しているがCEは全く関与していない	29	(2.7%)
NPPVは全く実施されていない	43	(3.9%)

CEがNPPVについて実施する業務はどれですか
(複数回答) n=1,093



問5 CEが人工呼吸器(NPPV含む)の回路組立・使用前点検を実施しているのは、病院全体のどの程度の割合ですか。(単一回答)

目的：CEが院内の人工呼吸器(NPPV含む)の回路組立・使用前点検を実施する割合を把握する。

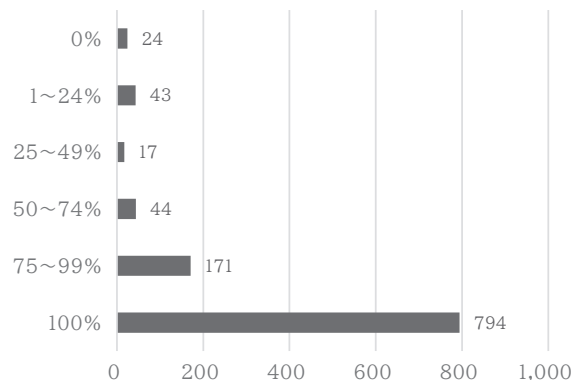
定義：CEが院内の人工呼吸器(NPPV含む)の回路組立・使用前点検を実施する割合を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：

項目	n	割合
0%	24	(2.2%)
1~24%	43	(3.9%)
25~49%	17	(1.6%)
50~74%	44	(4.0%)
75~99%	171	(15.6%)
100%	794	(72.6%)

CEが人工呼吸器(NPPV含む)の回路組立・使用前点検を実施しているのは、病院全体のどの程度の割合ですか。
(単一回答) n=1,093



問6 CEは人工呼吸器の初期設定についてどの程度実施していますか。(単一回答)

目的：CEが実施する人工呼吸器の初期設定の状況を把握する。

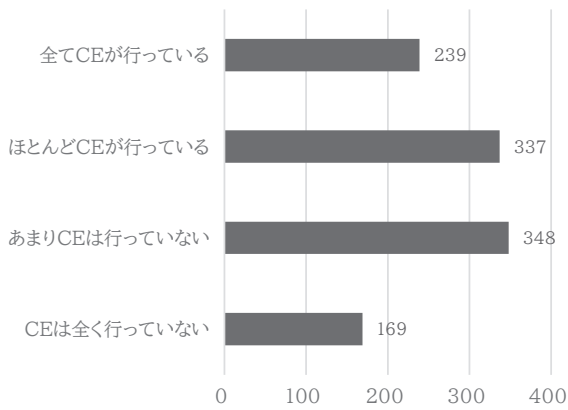
定義：CEが実施する人工呼吸器の初期設定の程度を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,093

項目	n	割合
全てCEが行っている	239	(21.9%)
ほとんどCEが行っている	337	(30.8%)
あまりCEは行っていない	348	(31.8%)
CEは全く行っていない	169	(15.5%)

問6.CEは人工呼吸器の初期設定についてどの程度実施していますか。(単一回答) n=1,093



問7 CEは院内で人工呼吸器の使用ラウンド点検をどの程度実施していますか。(複数回答)

目的：CEが行う人工呼吸器の使用ラウンド点検実施状況を把握する。

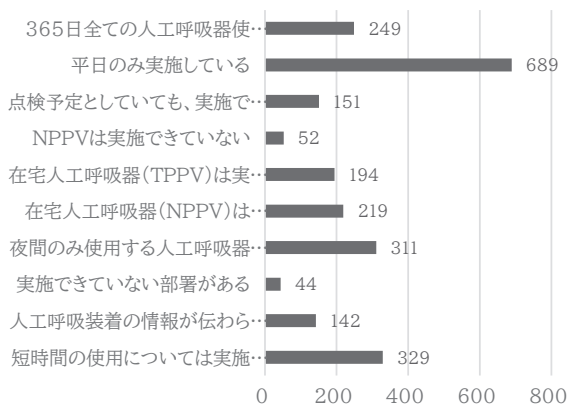
定義：CEが院内で行う人工呼吸器の使用ラウンド点検実施状況を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,093

項目	n	割合
365日全ての人工呼吸器使用中ラウンド点検を実施している	249	(22.8%)
平日のみ実施している	689	(63.0%)
点検予定としても、実施できていない日がある	151	(13.8%)
NPPVは実施できていない	52	(4.8%)
在宅人工呼吸器(TPPV)は実施できていない	194	(17.7%)
在宅人工呼吸器(NPPV)は実施できていない	219	(20.0%)
夜間のみ使用する人工呼吸器は実施できていない	311	(28.5%)
実施できていない部署がある	44	(4.0%)
人工呼吸装着の情報が伝わらない場合がある	142	(13.0%)
短時間の使用については実施できない場合がある	329	(30.1%)

問7.CEは院内で人工呼吸器の使用ラウンド点検をどの程度実施していますか。(複数回答) n=1,093



問8 CEは血液ガス値や呼吸状態を評価し、人工呼吸器の設定変更をどの程度実施していますか。(単一回答)

目的：CEが行う血液ガス値や呼吸状態を評価し、人工呼吸器の設定変更の状況を把握する。

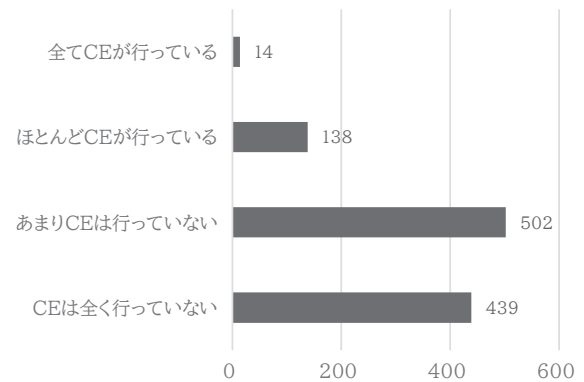
定義：CEが行う血液ガス値や呼吸状態を評価し、人工呼吸器の設定変更の状況を選択してください。(タスクシフト関連)

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,093

項目	n	割合
全てCEが行っている	14	(1.3%)
ほとんどCEが行っている	138	(12.6%)
あまりCEは行っていない	502	(45.9%)
CEは全く行っていない	439	(40.2%)

問8.CEは血液ガス値や呼吸状態を評価し、人工呼吸器の設定変更をどの程度実施していますか。(単一回答) n=1,093



問9 CEは人工呼吸器装着患者のSBTをどの程度実施していますか。(単一回答)

目的：CEが実施する人工呼吸器装着患者のSBTの状況を把握する。

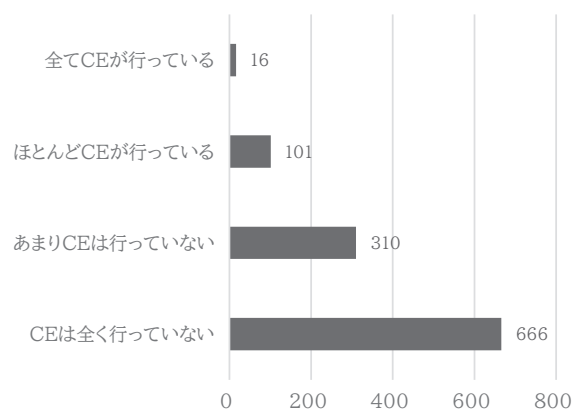
定義：CEが具体的指示を受けて実施する人工呼吸器装着患者のSBTの状況を選択してください。 ※ SBTとは自発呼吸試験とする。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,093

項目	n	割合
全てCEが行っている	16	(1.5%)
ほとんどCEが行っている	101	(9.2%)
あまりCEは行っていない	310	(28.4%)
CEは全く行っていない	666	(60.9%)

問9. CEは人工呼吸器装着患者のSBTをどの程度実施していますか。(単一回答) n=1,093



問10 CEは人工呼吸器装着患者の喀痰等の吸引を行っていますか。(単一回答)

目的：CEが実施する人工呼吸器装着患者の喀痰等の吸引の状況を把握する。

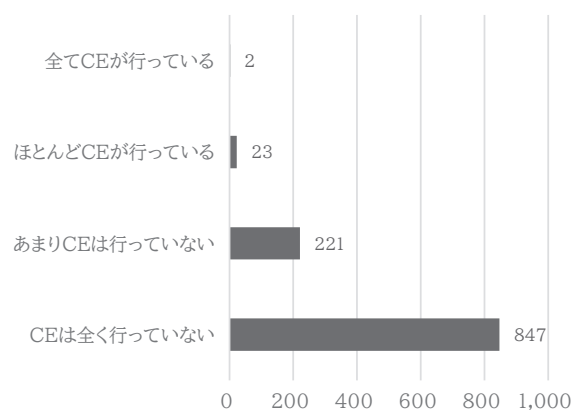
定義：CEが実施する人工呼吸器装着患者の喀痰等の吸引の状況を選択してください。(タスクシフト関連)

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,093

項目	n	割合
全てCEが行っている	2	(0.2%)
ほとんどCEが行っている	23	(2.1%)
あまりCEは行っていない	221	(20.2%)
CEは全く行っていない	847	(77.5%)

問10. CEは人工呼吸器装着患者の喀痰等の吸引を行っていますか。(単一回答) n=1,093



問11 CEがHFNCにおいて実施する業務どれですか。(複数回答)

目的：CEが実施するHFNCの状況を把握する。

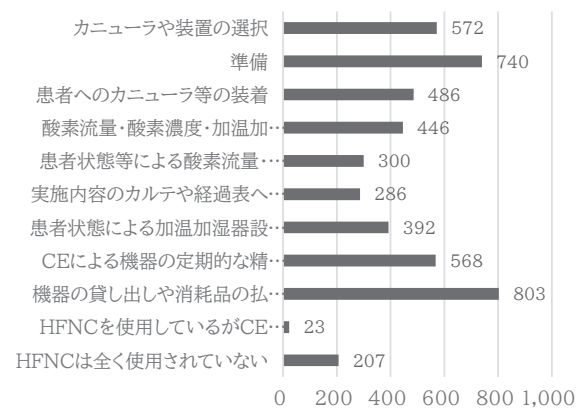
定義：CEが実施するHFNCの状況を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,093

項目	n	割合
カニューラや装置の選択	572	(52.3%)
準備	740	(67.7%)
患者へのカニューラ等の装着	486	(44.5%)
酸素流量・酸素濃度・加温加湿器設定	446	(40.8%)
患者状態等による酸素流量・酸素濃度の変更	300	(27.4%)
実施内容のカルテや経過表への記録	286	(26.2%)
患者状態による加温加湿器設定の変更	392	(35.9%)
CEによる機器の定期的な精度確認	568	(52.0%)
機器の貸し出しや消耗品の払い出し	803	(73.5%)
HFNCを使用しているがCEは全く関与していない	23	(2.1%)
HFNCは全く使用されていない	207	(18.9%)

問11. CEがHFNCにおいて実施する業務どれですか。(複数回答) n=1,093



問12 CEが酸素療法（HFNCは除く）について実施する業務はどれですか。（複数回答）

目的：CEが実施する酸素療法（HFNCは除く）の状況を把握する。

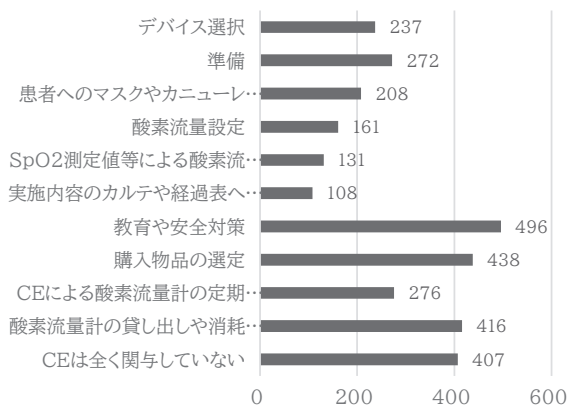
定義：CEが実施する酸素療法（HFNCは除く）の状況を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,093

項目	n	割合
デバイス選択	237	(21.7%)
準備	272	(24.9%)
患者へのマスクやカニューレの装着	208	(19.0%)
酸素流量設定	161	(14.7%)
SpO2測定値等による酸素流量の変更	131	(12.0%)
実施内容のカルテや経過表への記録	108	(9.9%)
教育や安全対策	496	(45.4%)
購入物品の選定	438	(40.1%)
CEによる酸素流量計の定期的な精度確認	276	(25.3%)
酸素流量計の貸し出しや消耗物品の払い出し	416	(38.1%)
CEは全く関与していない	407	(37.2%)

CEが酸素療法（HFNCは除く）について実施する業務はどれですか。（複数回答）



問13 CEが実施する排痰補助装置の業務はどれですか。（複数回答）

目的：CEが実施する排痰補助装置の状況を把握する。

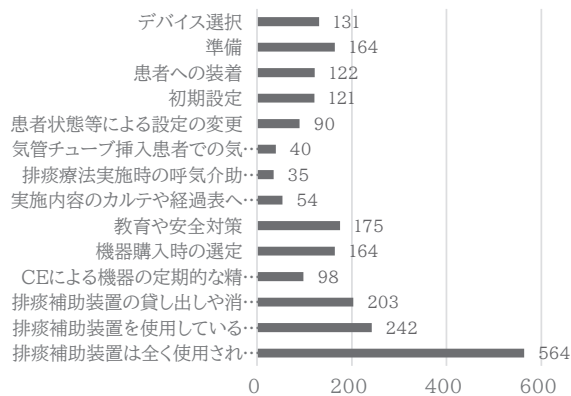
定義：CEが実施する排痰補助装置の状況を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,093

項目	n	割合
デバイス選択	131	(12.0%)
準備	164	(15.0%)
患者への装着	122	(11.2%)
初期設定	121	(11.1%)
患者状態等による設定の変更	90	(8.2%)
気管チューブ挿入患者での気管内吸引	40	(3.7%)
排痰療法実施時の呼気助動やスクイーミング	35	(3.2%)
実施内容のカルテや経過表への記録	54	(4.9%)
教育や安全対策	175	(16.0%)
機器購入時の選定	164	(15.0%)
CEによる機器の定期的な精度確認	98	(9.0%)
排痰補助装置の貸し出しや消耗物品の払い出し	203	(18.6%)
排痰補助装置を使用しているがCEは全く関与していない	242	(22.1%)
排痰補助装置は全く使用されていない	564	(51.6%)

問13. CEが実施する排痰補助装置の業務はどれですか。（複数回答） n=1,093



問14 CE が実施する人工呼吸中のネブライザを用いた吸入療法の業務はどれですか。(複数回答)

目的：CE が実施する人工呼吸中のネブライザを用いた吸入療法の状況を把握する。

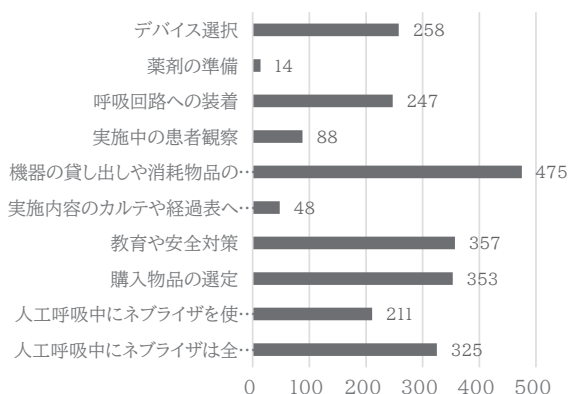
定義：CE が実施する人工呼吸中のネブライザを用いた吸入療法の状況を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,093

項目	n	割合
デバイス選択	258	(23.6%)
薬剤の準備	14	(1.3%)
呼吸回路への装着	247	(22.6%)
実施中の患者観察	88	(8.1%)
機器の貸し出しや消耗品の払い出し	475	(43.5%)
実施内容のカルテや経過表への記録	48	(4.4%)
教育や安全対策	357	(32.7%)
購入物品の選定	353	(32.3%)
人工呼吸中にネブライザを使用することがあるがCEは全く関与していない	211	(19.3%)
人工呼吸中にネブライザは全く使用されていない	325	(29.7%)

問14.CEが実施する人工呼吸中のネブライザを用いた吸入療法の業務はどれですか。(複数回答) n=1,093



問15 CE が院内で実施する睡眠時無呼吸症候群、あるいは睡眠中の低換気に対するCPAP・ASVやNPPVの業務はどれですか。(複数回答)

目的：CE が院内で実施する睡眠時無呼吸症候群、あるいは睡眠中の低換気に対するCPAP、ASVやNPPVの業務の状況を把握する。

定義：CE が院内で実施する睡眠時無呼吸症候群、あるいは睡眠中の低換気に対するCPAP、ASVやNPPVの業務の状況を選択してください。

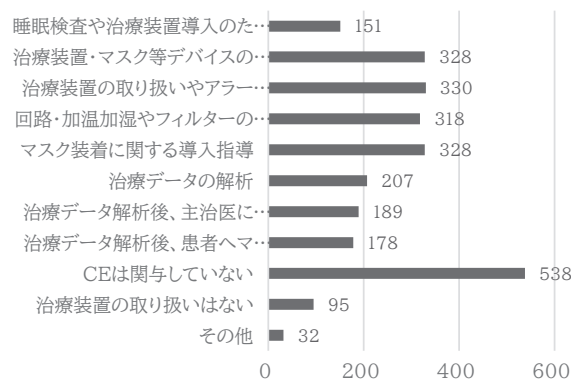
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：1,093

項目	n	割合
睡眠検査や治療装置導入のための検査、あるいは評価の業務に関わっている	151	(13.8%)
治療装置・マスク等デバイスの選択	328	(30.0%)
治療装置の取り扱いやアラーム対処方法に関する導入指導	330	(30.2%)
回路・加温加湿やフィルターの取り扱いに関する導入指導	318	(29.1%)
マスク装着に関する導入指導	328	(30.0%)
治療データの解析	207	(18.9%)
治療データ解析後、主治医に設定圧の変更提案やマスクや治療装置の変更提案を行っている	189	(17.3%)
治療データ解析後、患者へマスクフィッティングの再指導を行っている	178	(16.3%)
CEは関与していない	538	(49.2%)
治療装置の取り扱いはない	95	(8.7%)
その他	32	(2.9%)

その他内訳：機器の貸し出しのみ(4)、トラブル対応のみ(3)、業者の手配(3)、在宅機器持ち込み時や導入介助、トラブル対応など(2)、依頼時に対応(2)、遠隔モニタリング(2)、マスク・回路交換、保守点検のみ(2)、入院時持ち込み機器の点検(1)、外来時に対応している(1)、導入時に対応している(1)

問15.CEが院内で実施する睡眠時無呼吸症候群、あるいは睡眠中の低換気に対するCPAP・ASVやNPPVの業務はどれですか。(複数回答) n=1,093



VI. 施設調査 在宅呼吸療法アドオン

問1 所属都道府県技士会, 問2 所属施設名は省略する.

問3 CE が在宅医療機器の導入もしくは在宅管理を実施している機器を教えてください (複数回答)

目的: 在宅治療の実施状況を把握する.

定義: 在宅治療を実施している機器を選択してください.

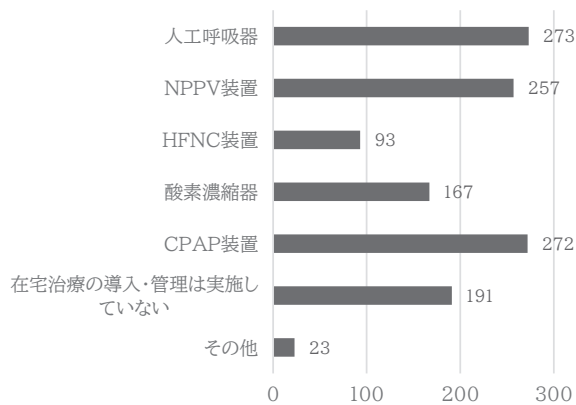
対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 586

項目	n	割合
人工呼吸器	273	(46.6%)
NPPV 装置	257	(43.9%)
HFNC 装置	93	(15.9%)
酸素濃縮器	167	(28.5%)
CPAP 装置	272	(46.4%)
在宅治療の導入・管理は実施していない	191	(32.6%)
その他	23	(3.9%)

その他内訳: 在宅療法には関与していない(4), 入院時, 依頼時に関与する(3), 在宅経腸栄養ポンプ 在宅中心静脈ポンプ, PCA ポンプ(3), 補助人工心臓, 腹膜透析(2), 超音波骨折治療器(1), 排痰補助関連装置(1), 人工呼吸関連のみの回答とします. (1), 在宅血液透析, 自己血糖測定器(SMBG), 指導管理, 在宅輸液ポンプ, 在宅経腸栄養ポンプ, CADD 等(1), 植え込み型補助人工心臓(iVAD)(1), 小児科領域のみ関わっている(1), 人工透析(1)

問3.CEが在宅医療機器の導入もしくは在宅管理を実施している機器を教えてください(複数回答) n=586



問4 CE が在宅機器の導入時の機種選定について関わってる項目はどれですか? (複数回答)

目的: 在宅機器導入時の機種選定の関与を把握する.

定義: 在宅機器の導入時の機種選定について関わりを選択してください.

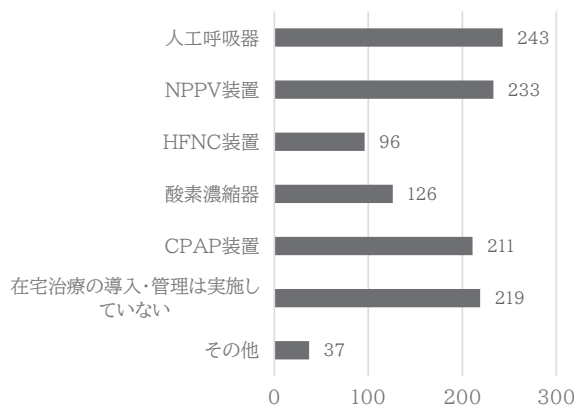
対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 586

項目	n	割合
人工呼吸器	243	(41.4%)
NPPV 装置	233	(39.7%)
HFNC 装置	96	(16.4%)
酸素濃縮器	126	(21.5%)
CPAP 装置	211	(35.9%)
在宅治療の導入・管理は実施していない	219	(37.3%)
その他	37	(6.3%)

その他内訳: 機種選定に関与していない(12), 機種選定は医師が行う(4), 依頼に応じて対応する(3), 経腸栄養ポンプ, 輸液ポンプ, PCA ポンプ(3), 契約業者が行う(2), 在宅人工呼吸器の準備と業者の連絡窓口(1), 排痰補助関連装置(1), HHD(1), 人工透析機器(1), 同じ業者で1年ごと契約更新している(1)

問4.CEが在宅機器の導入時の機種選定について関わってる項目はどれですか? (複数回答) n=586



問5 CEが在宅管理の移行に向けて人工呼吸管理(TPPV)の導入後から退院までにおいて、どのようなことを実施されていますか(複数回答)

目的:在宅管理の移行に向け人工呼吸管理の導入後から退院までの関与の把握する。

定義:在宅管理の移行に向け人工呼吸管理の導入後から退院までの関与を選択してください。

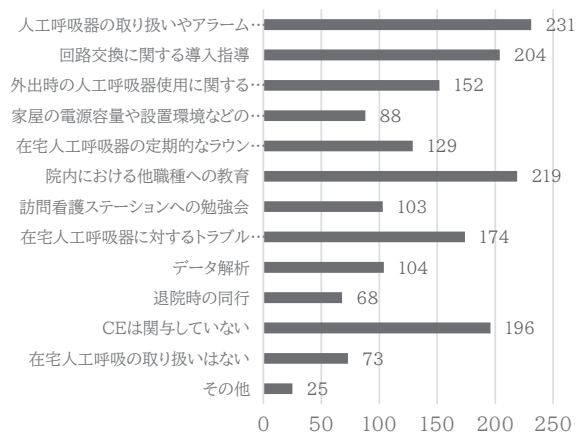
対象:2022年10月1日時点

有効回答数:586

項目	n	割合
人工呼吸器の取り扱いやアラーム対処方法に関する導入指導	231	(39.4%)
回路交換に関する導入指導	204	(34.8%)
外出時の人工呼吸器使用に関する導入指導	152	(25.9%)
家屋の電源容量や設置環境などの調査	88	(15.0%)
在宅人工呼吸器の定期的なラウンド点検	129	(22.0%)
院内における他職種への教育	219	(37.3%)
訪問看護ステーションへの勉強会	103	(17.5%)
在宅人工呼吸器に対するトラブル対応	174	(29.6%)
データ解析	104	(17.7%)
退院時の同行	68	(11.6%)
CEは関与していない	196	(33.4%)
在宅人工呼吸の取り扱いはない	73	(12.4%)
その他	25	(4.3%)

その他内訳:院内のラウンド,トラブル対応(3),在宅導入を経験したことがない(2),関与していない(2),患者搬送時の人工呼吸器管理(入退院時)(1),チャイルドシートの組み立てや指導(1),今後は患者の指導も実施する予定(1),医師や看護師からのコンサルタント(1),院内の在宅用人工呼吸器のみ管理している。(1),症例により異なる(1),災害時の連絡先,対策などのマニュアル作成(1)

問5.CEが在宅管理の移行に向けて人工呼吸管理(TPPV)の導入後から退院までにおいて、どのようなことを実施されていますか(複数回答) n=586



問6 CEが在宅管理の移行に向けNPPVの導入後から退院までにおいて、どのようなことを実施されていますか(複数回答)

目的:在宅管理の移行に向けNPPVの導入後から退院までの関与を把握する。

定義:在宅管理の移行に向けNPPVの導入後から退院までの関与を選択してください。 ※NPPVに睡眠時無呼吸に対するCPAPとASVは含まない

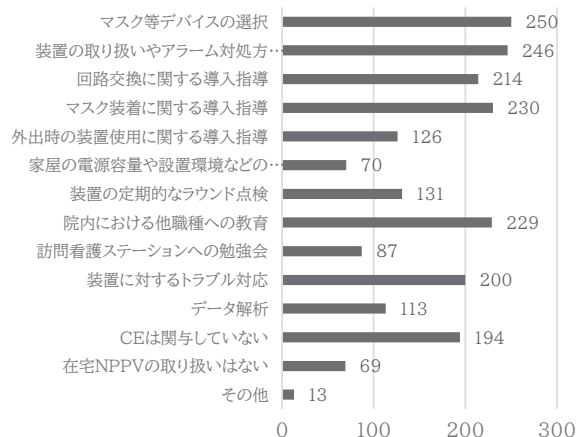
対象:2022年10月1日時点

有効回答数:586

項目	n	割合
マスク等デバイスの選択	250	(42.6%)
装置の取り扱いやアラーム対処方法に関する導入指導	246	(41.9%)
回路交換に関する導入指導	214	(36.5%)
マスク装着に関する導入指導	230	(39.2%)
外出時の装置使用に関する導入指導	126	(21.5%)
家屋の電源容量や設置環境などの調査	70	(11.9%)
装置の定期的なラウンド点検	131	(22.3%)
院内における他職種への教育	229	(39.0%)
訪問看護ステーションへの勉強会	87	(14.8%)
装置に対するトラブル対応	200	(34.1%)
データ解析	113	(19.3%)
CEは関与していない	194	(33.0%)
在宅NPPVの取り扱いはない	69	(11.8%)
その他	13	(2.2%)

その他内訳:患者搬送(1),チャイルドシートの組み立てや指導(1),今後は患者の指導も実施する予定(1),医師や看護師からのコンサルタント(1),メーカーとの連絡(1),症例により異なる(1),病院外は在宅業者が行う(1),対象患者がしばらくいない(1),不明(1),当院の実績がない(1),設定の検討(1),メーカー勤務(1)

問6.CEが在宅管理の移行に向けNPPVの導入後から退院までにおいて、どのようなことを実施されていますか(複数回答) n=586



問7 CEが在宅管理の移行に向けHFNCの導入後から退院までにおいて、どのようなことを実施されていますか(複数回答)

目的: 在宅管理の移行に向けHFNCの導入後から退院までの関与を把握する。

定義: 在宅管理の移行に向けHFNCの導入後から退院までの関与を選択してください。

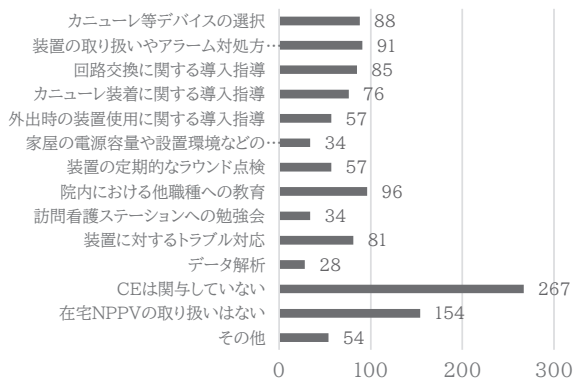
対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 586

項目	n	割合
カニューレ等デバイスの選択	88	(15.0%)
装置の取り扱いやアラーム対処方法に関する導入指導	91	(15.5%)
回路交換に関する導入指導	85	(14.5%)
カニューレ装着に関する導入指導	76	(12.9%)
外出時の装置使用に関する導入指導	57	(9.7%)
家屋の電源容量や設置環境などの調査	34	(5.8%)
装置の定期的なラウンド点検	57	(9.7%)
院内における他職種への教育	96	(16.4%)
訪問看護ステーションへの勉強会	34	(5.8%)
装置に対するトラブル対応	81	(13.8%)
データ解析	28	(4.8%)
CEは関与していない	267	(45.5%)
在宅NPPVの取り扱いはない	154	(26.2%)
その他	54	(9.2%)

その他内訳: HFNCの取り扱いがない(13),人工呼吸器・NPPVと同様に対応する(6),チャイルドシートの組み立てや指導(1),医師や看護師からのコンサルタント(1),症例によるため回答が難しい(1),装置の貸出(1),担当外のため不明(1),小児科領域のみ関わっている状況です(1),保険適応がないので実施していない。(1),メーカー勤務(1)

問7. CEが在宅管理の移行に向けHFNCの導入後から退院までにおいて、どのようなことを実施されていますか(複数回答) n=586



問8 CEが在宅管理の移行に向け在宅酸素療法の導入後から退院までの関わりにおいて、どのようなことを実施されていますか(複数回答)

目的: 在宅管理の移行に向け在宅酸素療法の導入後から退院までの関与の把握する。

定義: 在宅管理の移行に向け在宅酸素療法の導入後から退院までの関与を選択してください。

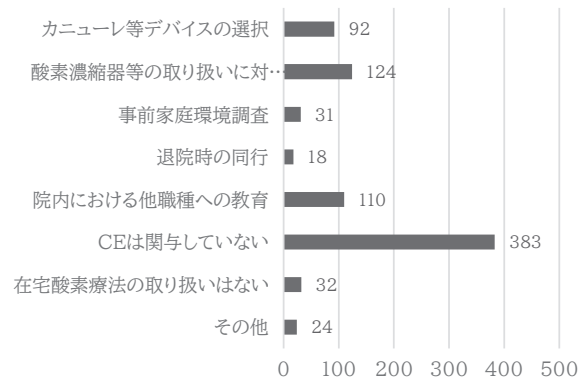
対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 586

項目	n	割合
カニューレ等デバイスの選択	92	(15.7%)
酸素濃縮器等の取り扱いに対する導入指導	124	(21.1%)
事前家庭環境調査	31	(5.3%)
退院時の同行	18	(3.1%)
院内における他職種への教育	110	(18.7%)
CEは関与していない	383	(65.2%)
在宅酸素療法の取り扱いはない	32	(5.5%)
その他	24	(4.1%)

その他内訳: メーカーとの連絡調整の窓口(5),契約状況の把握と保守点検実施記録の把握(2),不明(2),時々相談を受ける(1),患者データの管理のみ(1),今後は患者の指導も実施する予定(1),TPPVなどに付随する場合に限り指導を行う(1),指示書の管理(1),6分間歩行試験への同行(1),HOTのメーカーに依頼し、問題があれば関与する(1)

問8. CEが在宅管理の移行に向け在宅酸素療法の導入後から退院までの関わりにおいて、どのようなことを実施されていますか(複数回答) n=586



問9 在宅用医療機器を使用している患者が入院により在宅用医療機器を院内に持ち込み使用される際、どのような機器の場合 CE へ連絡が来る体制となっているか (複数回答)

目的：在宅患者が入院する場合の連絡体制構築状況を把握する。

定義：入院時の連絡体制は、どの機種における体制を構築しているか選択してください。

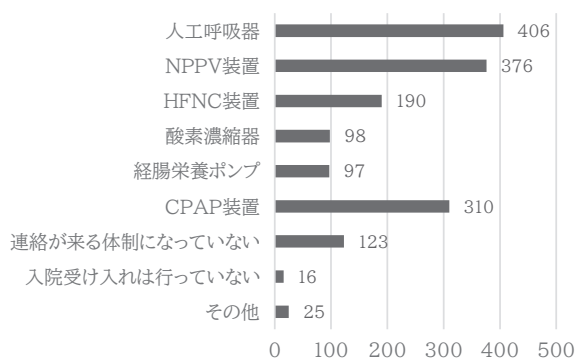
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：586

項目	n	割合
人工呼吸器	406	(69.2%)
NPPV 装置	376	(64.1%)
HFNC 装置	190	(32.4%)
酸素濃縮器	98	(16.7%)
経腸栄養ポンプ	97	(16.5%)
CPAP 装置	310	(52.8%)
連絡が来る体制になっていない	123	(21.0%)
入院受け入れは行っていない	16	(2.7%)
その他	25	(4.3%)

その他内訳：院内機器を使用し困る場合連絡がくる(3)、連絡が来たり来なかったりする(3)、必要時に連絡がある(2)、電子カルテにて確認を行っている(1)、使用方法など不明な点がある場合のみ連絡が来る(1)、院内機器に変更か、在宅呼吸器をメーカーと共に対応する(1)、経腸栄養ポンプ、シリンジポンプ、カフティーパープ、吸入器、吸引器、ペースメーカー(1)、業者から連絡がある(1)、患者により連絡が来る(1)、新しい装置に対し、確認のため連絡がくる時がある(1)

問9.在宅用医療機器を使用している患者が入院により在宅用医療機器を院内に持ち込み使用される際、どのような機器の場合CEへ連絡が来る体制となっているか (複数回答) n=586



問10 問9で人工呼吸器 (TPPV や NPPV) 患者入院時に CE へ連絡が来る体制になっていないと回答した施設へ質問です。体制の構築をされていない要因や理由を教えてください (複数回答)

目的：体制の構築をされていない要因や理由を把握する。

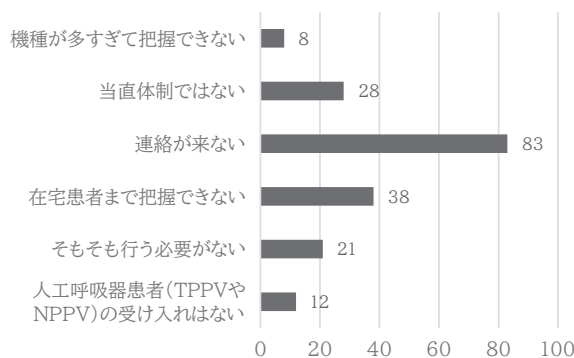
定義：体制を構築されていない要因や理由を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：137

項目	n	割合
機種が多すぎて把握できない	8	(5.8%)
当直体制ではない	28	(20.4%)
連絡が来ない	83	(60.6%)
在宅患者まで把握できない	38	(27.7%)
そもそも行う必要がない	21	(15.3%)
人工呼吸器患者 (TPPV や NPPV) の受け入れはない	12	(8.8%)

問10.問9で人工呼吸器 (TPPV や NPPV) 患者入院時に CE へ連絡が来る体制になっていないと回答した施設へ質問です。体制の構築をされていない要因や理由を教えてください (複数回答) n=137



問11 在宅人工呼吸器（TPPV）を使用される患者が入院する際、CEはどのようなことを実施しますか。実施することがある業務内容を選択してください。（複数回答）

目的：入院時の体制を構築している施設へ在宅人工呼吸器の具体的な内容について把握する。

定義：CEが入院時の在宅人工呼吸器に関して実施する業務を選択してください。

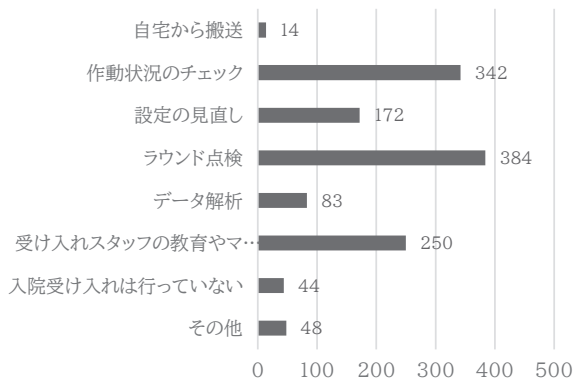
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：527

項目	n	割合
自宅から搬送	14	(2.7%)
作動状況のチェック	342	(64.9%)
設定の見直し	172	(32.6%)
ラウンド点検	384	(72.9%)
データ解析	83	(15.7%)
受け入れスタッフの教育やマニュアルの整備	250	(47.4%)
入院受け入れは行っていない	44	(8.3%)
その他	48	(9.1%)

その他内訳：関与していない(10)、依頼発生時のみ対応(6)、該当患者はいない(5)、院内人工呼吸器への乗せ換え(2)、気管支鏡ファイバーの際の立ち合い(1)、連絡なし(1)、加湿器や消耗品などの準備(1)

在宅人工呼吸器（TPPV）を使用される患者が入院する際、CEはどのようなことを実施しますか。実施することがある業務内容を選択してください。（複数回答） n=527



問12 在宅NPPVを使用される患者が入院する際、CEが実施する業務内容を選択してください。（複数回答）

目的：入院時の体制を構築している施設へ在宅NPPVの具体的な内容の把握する。

定義：CEが入院時の在宅NPPVに関して実施する業務を選択してください。

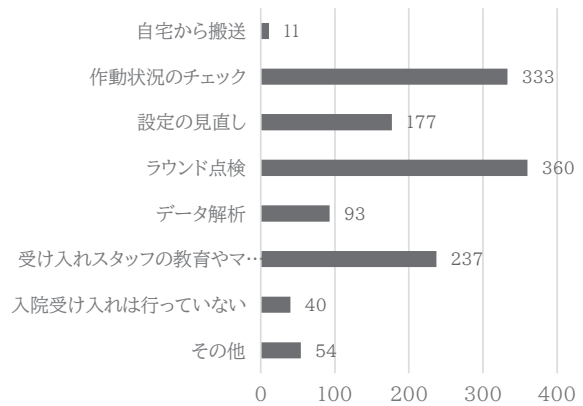
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：513

項目	n	割合
自宅から搬送	11	(2.1%)
作動状況のチェック	333	(64.9%)
設定の見直し	177	(34.5%)
ラウンド点検	360	(70.2%)
データ解析	93	(18.1%)
受け入れスタッフの教育やマニュアルの整備	237	(46.2%)
入院受け入れは行っていない	40	(7.8%)
その他	54	(10.5%)

その他内訳：関与していない(16)、トラブル対応のみ(9)、自施設の機種へ変更(4)、業者への連絡(3)、受け入れ実績なし(3)、セッティングや回路交換(2)

問12.在宅NPPVを使用される患者が入院する際、CEが実施する業務内容を選択してください。（複数回答） n=513



問13 在宅 HFNC を使用される患者が入院する際、CE が実施する業務内容を選択してください。(複数回答)

目的：入院時の体制を構築している施設へ在宅 HFNC の具体的な内容について把握する。

定義：CE が入院時の在宅 HFNC に関して実施する業務を選択してください。

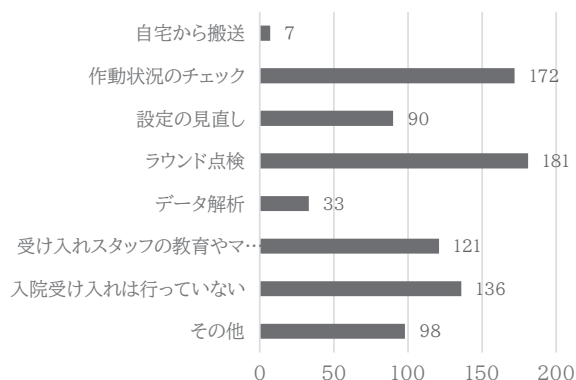
対象：2022 年 10 月 1 日時点

有効回答数：472

項目	n	割合
自宅から搬送	7	(1.5%)
作動状況のチェック	172	(36.4%)
設定の見直し	90	(19.1%)
ラウンド点検	181	(38.3%)
データ解析	33	(7.0%)
受け入れスタッフの教育やマニュアルの整備	121	(25.6%)
入院受け入れは行っていない	136	(28.8%)
その他	98	(20.8%)

その他内訳：症例無し(49), 取り扱いはない(20), 依頼時に対応(3), 在宅 HFNC から院内の機器へ変更(3), トラブル対応(2)

問13. 在宅 HFNC を使用される患者が入院する際、CE が実施する業務内容を選択してください。(複数回答) n=472



問14 在宅酸素療法を使用される患者が入院する際、CE が実施する業務内容を選択してください。(複数回答)

目的：入院時の体制を構築している施設へ在宅酸素療法の具体的な内容の把握する。

定義：CE が入院時の在宅酸素療法に関して実施する業務を選択してください。

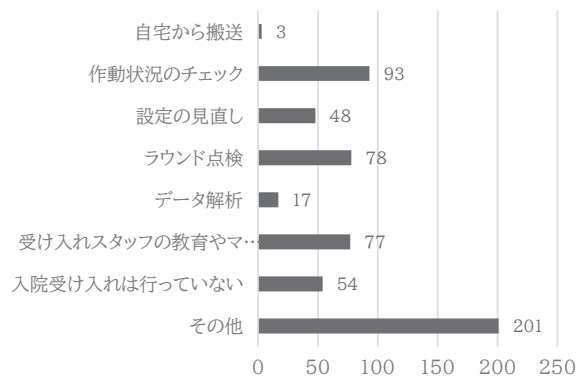
対象：2022 年 10 月 1 日時点

有効回答数：409

項目	n	割合
自宅から搬送	3	(0.7%)
作動状況のチェック	93	(22.7%)
設定の見直し	48	(11.7%)
ラウンド点検	78	(19.1%)
データ解析	17	(4.2%)
受け入れスタッフの教育やマニュアルの整備	77	(18.8%)
入院受け入れは行っていない	54	(13.2%)
その他	201	(49.1%)

その他内訳：関与していない(44), 業者への連絡(5), 依頼時に対応する(4), 携帯用ボンベの管理(3), トラブル対応のみ(3), 連絡なし(2)

問14. 在宅酸素療法を使用される患者が入院する際、CE が実施する業務内容を選択してください。(複数回答) n=409



問15 在宅療養中の人工呼吸患者（TPPV）に対して関わっている業務を教えてください（複数回答）

目的：在宅人工呼吸患者（TPPV）への関与の把握する。

定義：在宅人工呼吸患者（TPPV）への関与を選択してください。

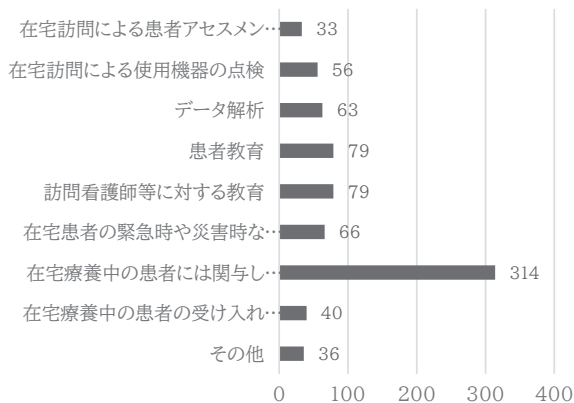
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：512

項目	n	割合
在宅訪問による患者アセスメントの実施	33	(6.4%)
在宅訪問による使用機器の点検	56	(10.9%)
データ解析	63	(12.3%)
患者教育	79	(15.4%)
訪問看護師等に対する教育	79	(15.4%)
在宅患者の緊急時や災害時など明記と説明	66	(12.9%)
在宅療養中の患者には関与していない	314	(61.3%)
在宅療養中の患者の受け入れを行っていない	40	(7.8%)
その他	36	(7.0%)

その他内訳：受け入れがない(6), レンタル契約にて、メーカーとの諸連絡、事務手続き等、メーカー点検記録の管理(6), トラブルなど依頼時に対応(7), 関与していない(4), 在宅移行後は他施設が担当するが月一回のレスパイト入院の対応は行っている(1), メーカーとの情報共有(1), 報告書管理(1), 人工呼吸器回路や人工鼻の手配と準備(1), 入院されたら通常通りの対応(1)

問15.在宅療養中の人工呼吸患者（TPPV）に対して関わっている業務を教えてください（複数回答） n=512



問16 在宅療養中のNPPVに対して関わっている業務を教えてください（複数回答）

目的：在宅NPPVへの関与の把握する。

定義：在宅NPPVへの関与を選択してください。

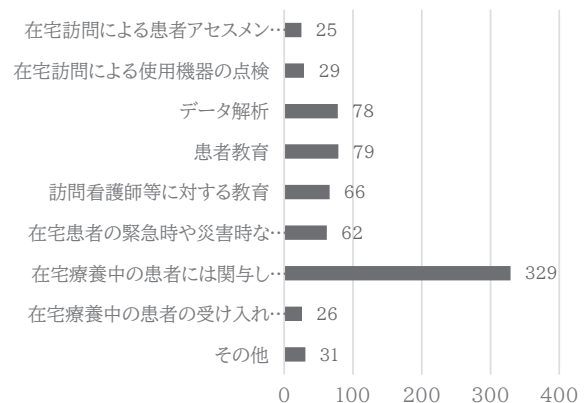
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：510

項目	n	割合
在宅訪問による患者アセスメントの実施	25	(4.9%)
在宅訪問による使用機器の点検	29	(5.7%)
データ解析	78	(15.3%)
患者教育	79	(15.5%)
訪問看護師等に対する教育	66	(12.9%)
在宅患者の緊急時や災害時など明記と説明	62	(12.2%)
在宅療養中の患者には関与していない	329	(64.5%)
在宅療養中の患者の受け入れを行っていない	26	(5.1%)
その他	31	(6.1%)

その他内訳：トラブル時に対応している(5), 在宅レンタル契約の把握と保守点検実施状況記録の把握(5), 依頼時に対応している(4), 業者との連携(3), 受け入れ実績なし(3), 関与していない(2), 必要に応じて、外来時に設定確認及び変更提案と設定変更(2), データ解析は外来受診時のみ(1), 院内使用の呼吸器へ交換し管理(1), 対象者がいれば(1)

問16.在宅療養中のNPPVに対して関わっている業務を教えてください（複数回答） n=510



問17 在宅療養中のHFNCに対して関わっている業務を教えてください。(複数回答)

目的：在宅HFNCへの関与の把握する。

定義：在宅HFNCへの関与を選択してください。

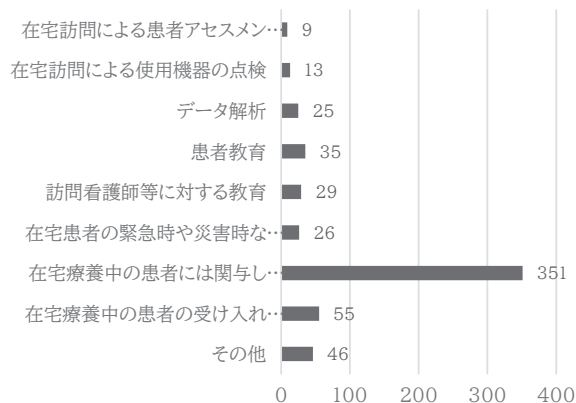
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：490

項目	n	割合
在宅訪問による患者アセスメントの実施	9	(1.8%)
在宅訪問による使用機器の点検	13	(2.7%)
データ解析	25	(5.1%)
患者教育	35	(7.1%)
訪問看護師等に対する教育	29	(5.9%)
在宅患者の緊急時や災害時など明記と説明	26	(5.3%)
在宅療養中の患者には関与していない	351	(71.6%)
在宅療養中の患者の受け入れを行っていない	55	(11.2%)
その他	46	(9.4%)

対象者がいない(23),関与していない(4),トラブル時に対応している(3),メーカーへの引継ぎ(2),在宅HFNCの取り扱いはない(2),HFNCの取り扱いがない(1),院内使用の機器へ交換し管理(1),とくになし(1),在宅レンタル契約状況の把握と機器の保守点検実施状況記録の把握(1),現在,初症例導入中で未経験(1)

問17.在宅療養中のHFNCに対して関わっている業務を教えてください。(複数回答) n=490



問18 在宅療養中の酸素療法に対して関わっている業務を教えてください。(複数回答)

目的：在宅酸素療法の関与の把握する。

定義：在宅酸素療法の関与を選択してください。

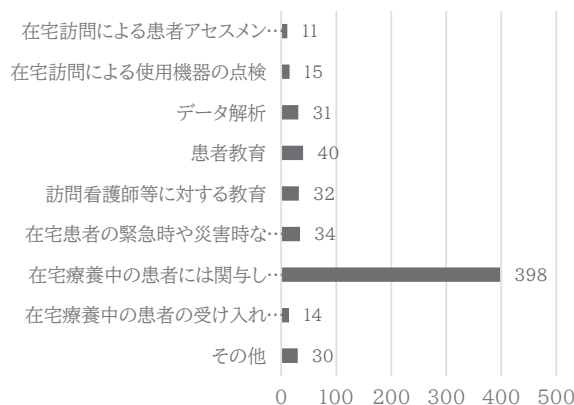
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：503

項目	n	割合
在宅訪問による患者アセスメントの実施	11	(2.2%)
在宅訪問による使用機器の点検	15	(3.0%)
データ解析	31	(6.2%)
患者教育	40	(8.0%)
訪問看護師等に対する教育	32	(6.4%)
在宅患者の緊急時や災害時など明記と説明	34	(6.8%)
在宅療養中の患者には関与していない	398	(79.1%)
在宅療養中の患者の受け入れを行っていない	14	(2.8%)
その他	30	(6.0%)

その他内訳:トラブル対応(7),業者との連携(5),関与していない(5),在宅レンタル契約状況の把握と保守点検実施状況記録の把握(4),症例がない(1),操作など対応依頼があった場合のみ(1),導入患者データの管理 導入時の説明(1),相談があればその都度対応している(1),在宅酸素に関する案件は業者と紹介元施設が管理. 緊急時の連絡などは当施設発信はあり(1)

問18.在宅療養中の酸素療法に対して関わっている業務を教えてください。(複数回答) n=503



問19 在宅用医療機器の管理はどのようにされていますか。該当するものを選択してください。(複数回答)

目的：在宅管理機器の管理について把握する。

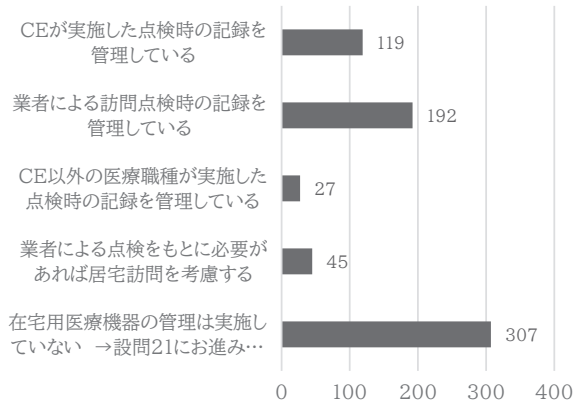
定義：在宅管理機器の管理について選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：586

項目	n	割合
CEが実施した点検時の記録を管理している	119	(20.3%)
業者による訪問点検時の記録を管理している	192	(32.8%)
CE以外の医療職種が実施した点検時の記録を管理している	27	(4.6%)
業者による点検をもとに必要があれば居宅訪問を考慮する	45	(7.7%)
在宅用医療機器の管理は実施していない →設問 21にお進みください	307	(52.4%)

在宅用医療機器の管理はどのようにされていますか。該当するものを選択してください。(複数回答)



問20 在宅管理機器の点検記録を保管されている施設へお伺いします。管理されている機種は何ですか？(複数回答)

目的：在宅管理機器の点検記録を保管している機種の把握する。

定義：点検記録を保管している在宅管理機器の種類を選択してください。

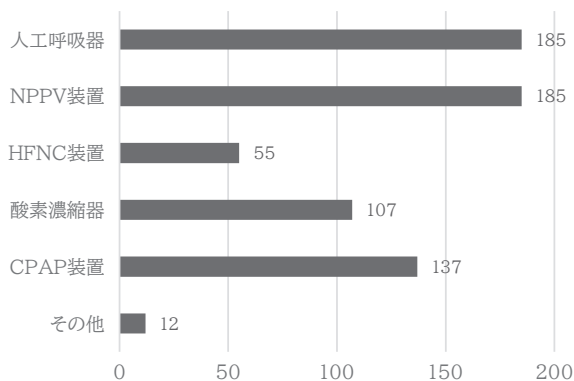
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：238

項目	n	割合
人工呼吸器	185	(77.7%)
NPPV装置	185	(77.7%)
HFNC装置	55	(23.1%)
酸素濃縮器	107	(45.0%)
CPAP装置	137	(57.6%)
その他	12	(5.0%)

その他内訳：経腸栄養ポンプ、中心静脈ポンプ(5)、当院が指導管理料を算定していれば当然 CE で管理を行う(1)、関わっていない(1)、植え込み型補助人工心臓(iVAD)(1)、レンタル業者が実施している(1)、現在は登録機器無し(1)

問20.在宅管理機器の点検記録を保管されている施設へお伺いします。管理されている機種は何ですか？(複数回答) n=238



問21 呼吸関係の遠隔モニタリングを行なっている機種を教えてください。(複数回答)

目的：呼吸関係の遠隔モニタリングを行なっている機種の把握する。

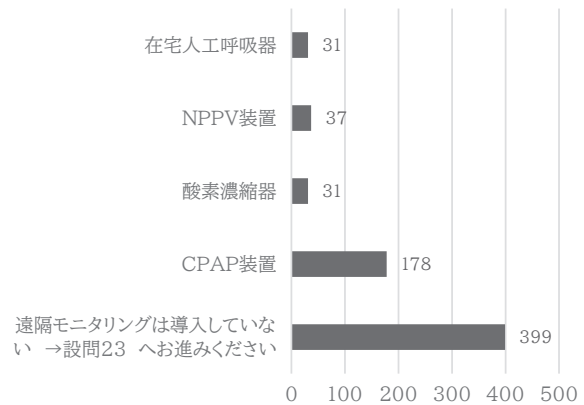
定義：呼吸関係の遠隔モニタリングを行なっている機種を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：586

項目	n	割合
在宅人工呼吸器	31	(5.3%)
NPPV装置	37	(6.3%)
酸素濃縮器	31	(5.3%)
CPAP装置	178	(30.4%)
遠隔モニタリングは導入していない →設問23へお進みください	399	(68.1%)

問21.呼吸関係の遠隔モニタリングを行なっている機種を教えてください。(複数回答) n=586



問22 呼吸関係の遠隔モニタリングにて、データを解析し、変更点があった場合(医師の許可を取得した後)、どのような対応を行なっていますか(複数回答)

目的：データを解析してどのような対応を行なっているのか把握する。

定義：データを解析に対する対応方法を選択してください。

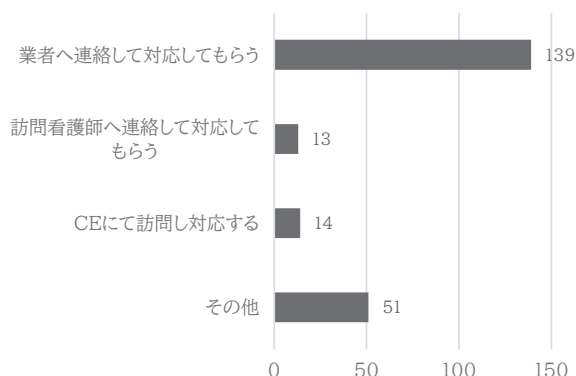
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：182

項目	n	割合
業者へ連絡して対応してもらう	139	(76.4%)
訪問看護師へ連絡して対応してもらう	13	(7.1%)
CEにて訪問し対応する	14	(7.7%)
その他	51	(28.0%)

その他内訳：外来時に変更(20)、リモートで設定変更を行える機種に関してはリモートで行う(11)、CEの関与はない。(6)、事例がない(2)、医師と業者で実施(2)、PCより(1)、わからない(1)、遠隔モニタリングでは変更しない(院内でのみ)(1)、現在、遠隔モニタリングは主治医管理となっている(1)、他科にて管理(1)

問22.呼吸関係の遠隔モニタリングにて、データを解析し、変更点があった場合(医師の許可を取得した後)、どのような対応を行なっていますか(複数回答) n=182



問23 在宅で起こったトラブルを知る手段について教えてください。(複数回答)

目的：在宅で起こったトラブルを知る手段を把握する。

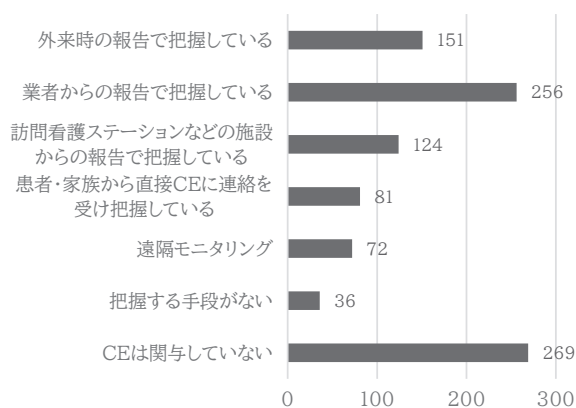
定義：在宅で起こったトラブルを知る手段を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：586

項目	n	割合
外来時の報告で把握している	151	(25.8%)
業者からの報告で把握している	256	(43.7%)
訪問看護ステーションなどの施設からの報告で把握している	124	(21.2%)
患者・家族から直接CEに連絡を受け把握している	81	(13.8%)
遠隔モニタリング	72	(12.3%)
把握する手段がない	36	(6.1%)
CEは関与していない	269	(45.9%)

問23.在宅で起こったトラブルを知る手段について教えてください。(複数回答) n=586



問24 在宅で発生したトラブルなどの情報をインシデントやヒヤリハット報告などにより情報の共有化を行っていますか(単一回答)

目的：在宅で発生したトラブル(インシデントやヒヤリハット)などの報告体制が構築している施設がどこから情報は共有されるか把握する。

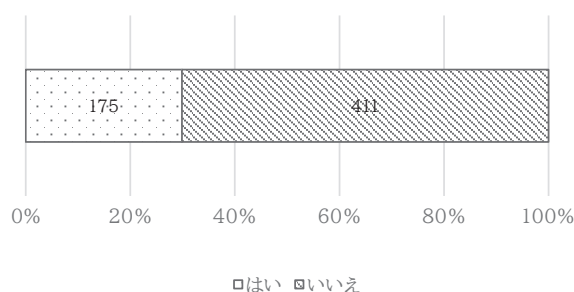
定義：在宅で発生したトラブル(インシデントやヒヤリハット)などの情報共有方法を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：586

項目	n	割合
はい	175	(29.9%)
いいえ	411	(70.1%)

問24.在宅で発生したトラブルなどの情報をインシデントやヒヤリハット報告などにより情報の共有化を行っていますか(単一回答) n=586



問 25 CE が在宅呼吸療法の在宅訪問を行った際に診療報酬点数が取得できるようになった場合、どのようなことがあれば退院前在宅訪問（事前家庭環境調査など）を開始もしくは対象範囲拡大を実施しますか。（複数回答）

目的：診療報酬の取得によってCEの業務拡大につながるのか把握する。

定義：診療報酬取得後の業務対応を選択してください。

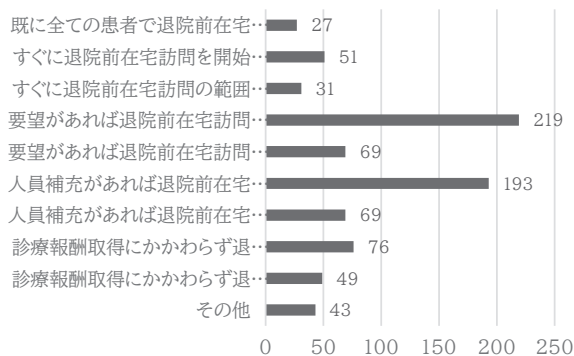
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：586

項目	n	割合
既に全ての患者で退院前在宅訪問を実施している	27	(4.6%)
すぐに退院前在宅訪問を開始する	51	(8.7%)
すぐに退院前在宅訪問の範囲を拡大する	31	(5.3%)
要望があれば退院前在宅訪問を開始する	219	(37.4%)
要望があれば退院前在宅訪問の範囲を拡大する	69	(11.8%)
人員補充があれば退院前在宅訪問を開始する	193	(32.9%)
人員補充があれば退院前在宅訪問の範囲を拡大する	69	(11.8%)
診療報酬取得にかかわらず退院前在宅訪問は実施しない	76	(13.0%)
診療報酬取得にかかわらず退院前在宅訪問の範囲は拡大しない	49	(8.4%)
その他	43	(7.3%)

その他内訳：不明(5),病院の首脳部に判断を仰ぐ(2), 人員を含め、組織としての、要望や方針をみて実施したい。(1),他部署からの要望があれば検討する(1),メーカー勤務(1),小児科領域のみ関わっている状況です(1),人員補充が1名増えたところで業務として行えない。(1),退院前在宅訪問に必要な知識の習得をしてから開始する(1),該当なし(1),すべての業務において診療報酬取得がなければ人員補充はありません(1)

問25.CEが在宅呼吸療法の在宅訪問を行った際に診療報酬点数が取得できるようになった場合、どのようなことがあれば退院前在宅訪問(事前家庭環境調査など)を開始もしくは対象範囲拡大を実施しますか。(複数回答) n=586



VII. 施設調査 集中治療アドオン

問 1 所属都道府県技士会，問 2 所属施設名は省略する。

問 3 算定されている集中治療関連の特定入院料を選択してください（複数回答）

目的：集中治療室関連の設置状況を把握する。

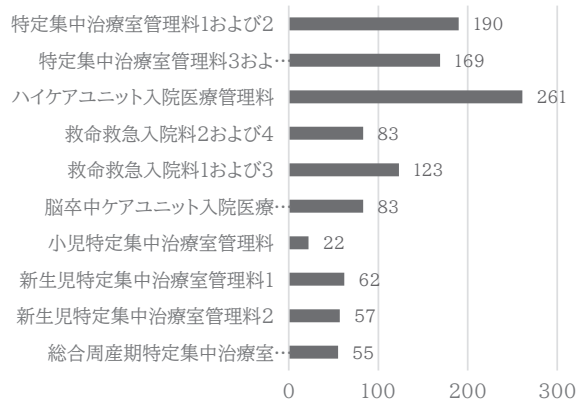
定義：算定されている集中治療関連の特定入院料を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：517

項目	n	割合
特定集中治療室管理料 1 および 2	190	(36.8%)
特定集中治療室管理料 3 および 4	169	(32.7%)
ハイケアユニット入院医療管理料	261	(50.5%)
救命救急入院料 2 および 4	83	(16.1%)
救命救急入院料 1 および 3	123	(23.8%)
脳卒中ケアユニット入院医療管理料	83	(16.1%)
小児特定集中治療室管理料	22	(4.3%)
新生児特定集中治療室管理料1	62	(12.0%)
新生児特定集中治療室管理料2	57	(11.0%)
総合周産期特定集中治療室管理料	55	(10.6%)

問3. 算定されている集中治療関連の特定入院料を選択してください(複数回答) n=517



問4 問3で、特定集中治療室管理料1～4・救命救急入院料2および4を算定していると回答された施設にお尋ねします。令和4年度に新設された重症患者対応体制強化加算を算定していますか。算定していない場合は、その理由を選択してください。(複数回答)

目的：新設された加算獲得に対する弊害要因を把握する。

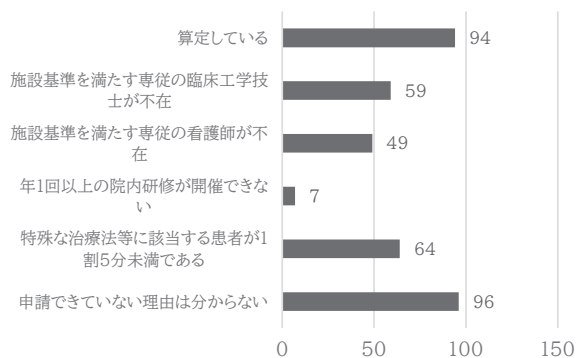
定義：重症患者対応体制強化加算を算定できない理由を選択してください。※専従とは、担当者となっており、その他の業務は緊急時以外は行わないものとする

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：316

項目	n	割合
算定している	94	(29.7%)
施設基準を満たす専従の臨床工学技士が不在	59	(18.7%)
施設基準を満たす専従の看護師が不在	49	(15.5%)
年1回以上の院内研修が開催できない	7	(2.2%)
特殊な治療等に該当する患者が1割5分未満である	64	(20.3%)
申請できていない理由は分からない	96	(30.4%)

問4. 問3で、特定集中治療室管理料1～4・救命救急入院料2および4を算定していると回答された施設にお尋ねします。令和4年度に新設された重症患者対応体制強化加算を算定していますか。(複数回答) n=316



問5 NICUを標榜している総ベッド数を教えてください。

目的：NICUの総ベッド数を把握する。

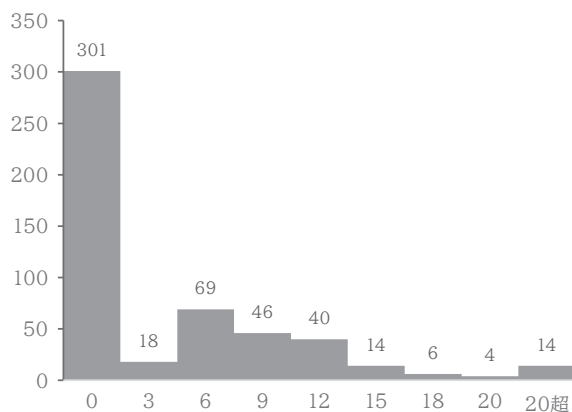
定義：NICUのベッド数を数字で入力してください。(ない場合は0を入力し、設問13にお進みください。)

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：517

項目	n	割合
0	301	(58.2%)
3以下	18	(3.5%)
6以下	69	(13.3%)
9以下	46	(8.9%)
12以下	40	(7.7%)
15以下	14	(2.7%)
18以下	6	(1.2%)
20以下	4	(0.8%)
20超	14	(2.7%)

問5. NICUを標榜している総ベッド数を教えてください n=517



問6 平日の日勤帯にNICUにて業務を行っているCEの人数を入力してください。

目的：平日のNICUのCE人員配置の実態を把握する。

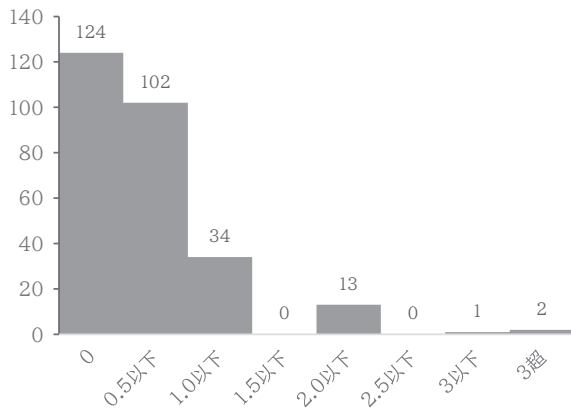
定義：NICU業務を行っているCEの人数(平均的な数値)を記入してください。※日勤帯は、8:00～16:30がおおむね含む勤務とする。※1人あたり4時間未満の場合は0.5、4時間以上の場合は1を入力する。

対象：2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数：280

項目	n	割合
0	124	(44.3%)
0.5以下	102	(36.4%)
1.0以下	34	(12.1%)
1.5以下	0	(0.0%)
2.0以下	13	(4.6%)
2.5以下	0	(0.0%)
3以下	1	(0.4%)
3超	2	(0.7%)

問6. 平日の日勤帯にNICUにて業務を行っているCEの人数を入力してください n=280



問7 休日の日勤帯にNICUにて業務を行っているCEの人数(平均的な数値)を入力してください.

目的: 休日の日勤帯のNICUのCE人員配置の実態を把握する.

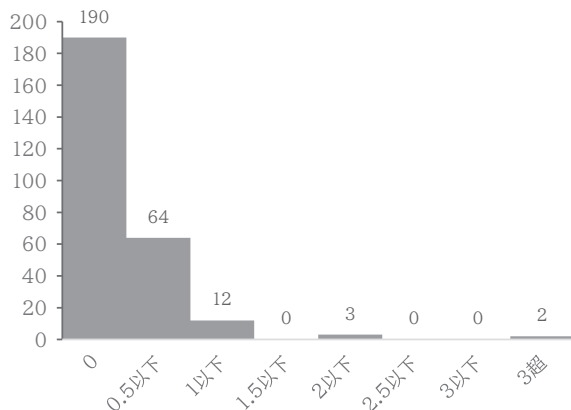
定義: 休日の日勤帯にNICU業務を行っているCEの人数を入力してください. 夜勤帯とは、労働基準法に定められた深夜業午後10時から翌日午前5時までの時間帯を含む勤務とする. ※1人あたり4時間未満の場合は0.5, 4時間以上の場合は1を入力する.

対象: 2021年4月1日~2022年3月31日

有効回答数: 273

項目	n	割合
0	190	(69.6%)
0.5以下	64	(23.4%)
1以下	12	(4.4%)
1.5以下	0	(0.0%)
2以下	3	(1.1%)
2.5以下	0	(0.0%)
3以下	0	(0.0%)
3超	2	(0.7%)

問7. 休日の日勤帯にNICUにて業務を行っているCEの人数(平均的な数値)を入力してください n=273



問8 夜勤帯にNICUにて業務を行っているCEの人数(平均的な数値)を入力してください.

目的: 夜勤帯のNICUのCE人員配置の実態を把握する.

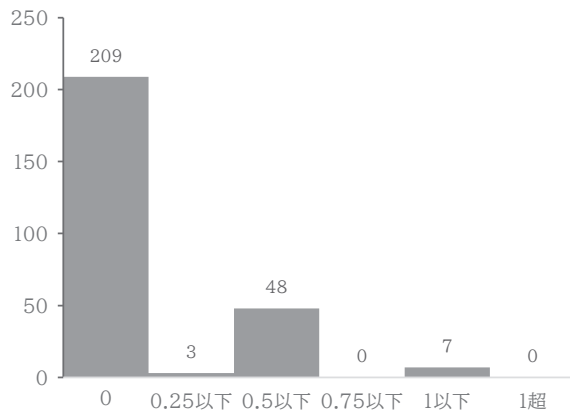
定義: 夜勤帯にNICU業務を行っているCEの人数を入力してください. 夜勤帯とは、労働基準法に定められた深夜業午後10時から翌日午前5時までの時間帯を含む勤務とする. ※1人あたり4時間未満の場合は0.5, 4時間以上の場合は1を入力する.

対象: 2021年4月1日~2022年3月31日

有効回答数: 269

項目	n	割合
0	209	(77.7%)
0.25以下	3	(1.1%)
0.5以下	48	(17.8%)
0.75以下	0	(0.0%)
1以下	7	(2.6%)
1超	0	(0.0%)

問8. 夜勤帯にNICUにて業務を行っているCEの人数(平均的な数値)を入力してください n=269



問9 NICUにて実施している治療を選択してください(複数回答)

目的: NICUにおける治療の種類の実態を把握する.

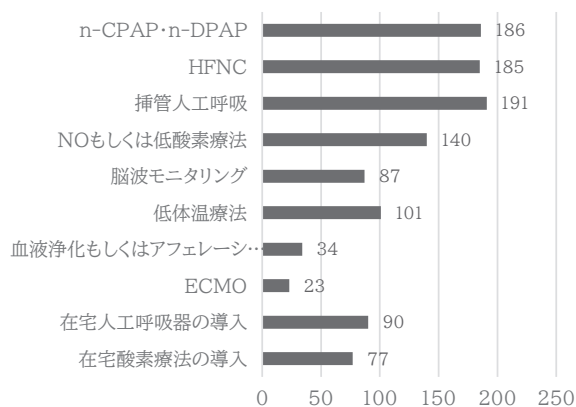
定義: NICUにて実施されている治療を選択してください. ※CEの実施ではない.

対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 208

項目	n	割合
n-CPAP・n-DPAP	186	(89.4%)
HFNC	185	(88.9%)
挿管人工呼吸	191	(91.8%)
NOもしくは低酸素療法	140	(67.3%)
脳波モニタリング	87	(41.8%)
低体温療法	101	(48.6%)
血液浄化もしくはアフエレーシス療法	34	(16.3%)
ECMO	23	(11.1%)
在宅人工呼吸器の導入	90	(43.3%)
在宅酸素療法の導入	77	(37.0%)

問9. NICUにて実施している治療を選択してください
(複数回答) n=208



問10 NICUにてCEが回路装着・使用前点検を実施している業務について選択してください(複数回答)

目的: NICUにおけるCEの回路装着・使用前点検業務の実態を把握する.

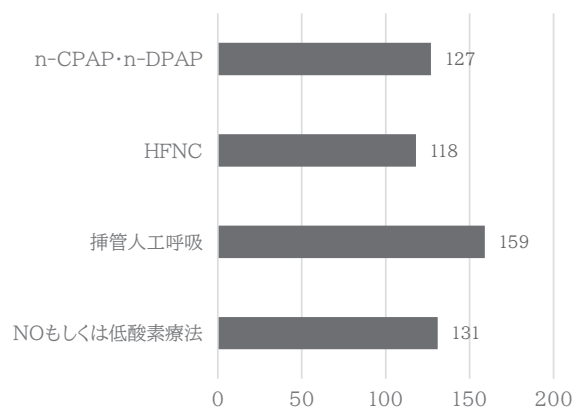
定義: NICUにてCEが実施している業務を選択してください.

対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 192

項目	n	割合
n-CPAP・n-DPAP	127	(66.1%)
HFNC	118	(61.5%)
挿管人工呼吸	159	(82.8%)
NOもしくは低酸素療法	131	(68.2%)

問10. NICUにてCEが回路装着・使用前点検を実施している業務について選択してください(複数回答) n=192



問11 NICUにてCEが回路交換を実施している業務について選択してください(複数回答)

目的: NICUにおけるCEの回路交換業務の実態を把握する.

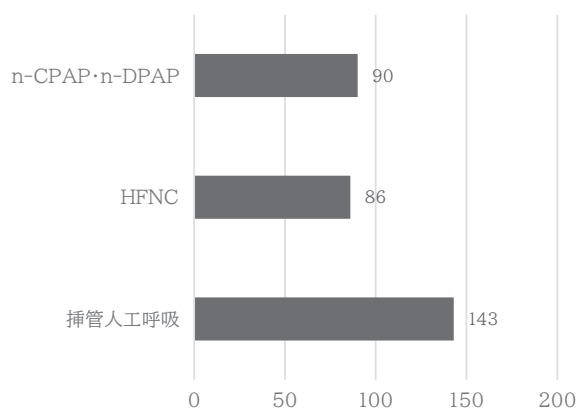
定義: NICUにてCEが回路交換を行なっている業務を選択してください.

対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 153

項目	n	割合
n-CPAP・n-DPAP	90	(58.8%)
HFNC	86	(56.2%)
挿管人工呼吸	143	(93.5%)

問11. NICUにてCEが回路交換を実施している業務について選択してください(複数回答) n=153



問12 NICUにてCEが導入・装着に関与している治療もしくは関与している業務について選択してください(複数回答)

目的: NICUにおけるCEの導入・装着に関与している業務の実態を把握する.

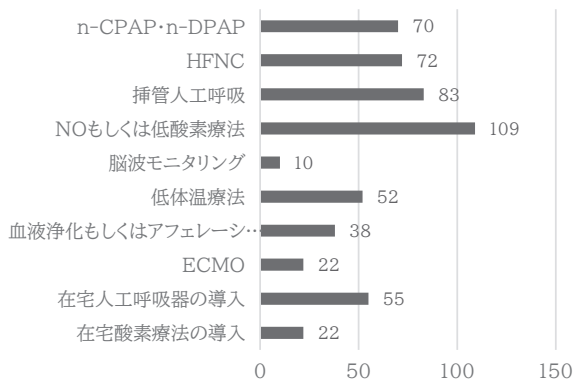
定義: NICUにて導入・装着を行なっている業務を選択してください.

対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 157

項目	n	割合
n-CPAP・n-DPAP	70	(44.6%)
HFNC	72	(45.9%)
挿管人工呼吸	83	(52.9%)
NOもしくは低酸素療法	109	(69.4%)
脳波モニタリング	10	(6.4%)
低体温療法	52	(33.1%)
血液浄化もしくはアフレーション療法	38	(24.2%)
ECMO	22	(14.0%)
在宅人工呼吸器の導入	55	(35.0%)
在宅酸素療法の導入	22	(14.0%)

問12. NICUにてCEが導入・装着に関与している治療もしくは関与している業務について選択してください (複数回答) n=157



問13 救急初療室は設置されていますか。(単一回答)

目的：救急初療室の設置実態を把握する。

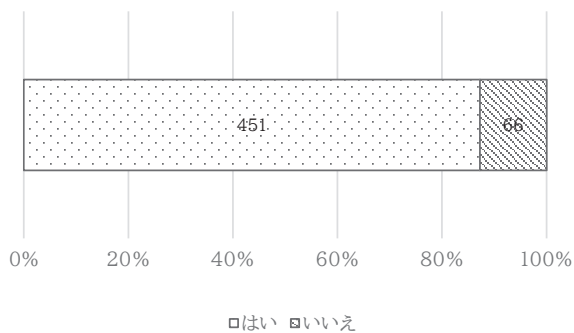
定義：救急初療室の有無

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：517

項目	n	割合
はい	451	(87.2%)
いいえ	66	(12.8%)

問13. 救急初療室は設置されていますか。(単一回答) n=517



問14 救急初療室における業務にCEが対応している時間帯を選択してください。(複数回答)

目的：CEが救急初療室における業務に対応している時間帯の実態を把握する。

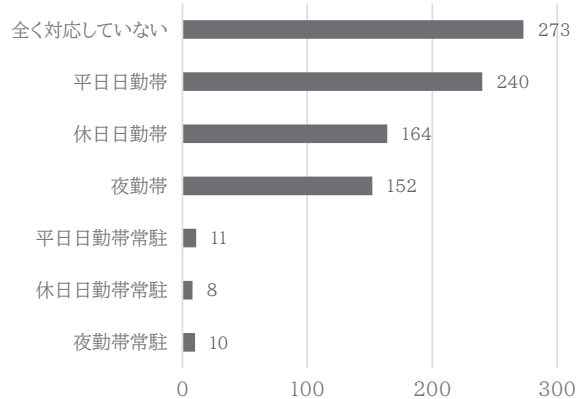
定義：対応している時間帯を選択してください。ただし機器ラウンド点検などで使用中点検のみは除きます。※日勤帯は、8:00～16:30(半角かどうかは他の業務設問と統一をお願いします)をおおむね含む勤務とする。休日とは日曜日および日本の祝日とする。夜勤帯とは、労働基準法に定められた深夜業午後10時から翌日午前5時までの時間帯を含む勤務とする。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：517

項目	n	割合
全く対応していない	273	(52.8%)
平日日勤帯	240	(46.4%)
休日日勤帯	164	(31.7%)
夜勤帯	152	(29.4%)
平日日勤帯常駐	11	(2.1%)
休日日勤帯常駐	8	(1.5%)
夜勤帯常駐	10	(1.9%)

問14. 救急初療室における業務にCEが対応している時間帯を選択してください。(複数回答) n=517



問15 救急初療室にてCEが実施することがある業務を選択してください。(複数回答)

目的：CEが救急初療室において対応している業務の実態を把握する。

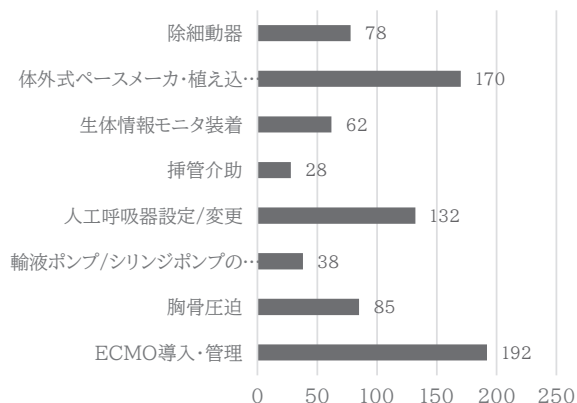
定義：対応している業務を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：259

項目	n	割合
除細動器	78	(30.1%)
体外式ペースメーカー・植え込みデバイス設定/変更	170	(65.6%)
生体情報モニタ装着	62	(23.9%)
挿管介助	28	(10.8%)
人工呼吸器設定/変更	132	(51.0%)
輸液ポンプ/シリンジポンプの設定/変更	38	(14.7%)
胸骨圧迫	85	(32.8%)
ECMO導入・管理	192	(74.1%)

問15. 救急初療室にてCEが実施することがある業務を選択してください。(複数回答) n=259



問16 CEが立ち会う院内搬送時患者を選択してください。(複数回答)

目的：CEが院内搬送に対応している業務の実態を把握する。

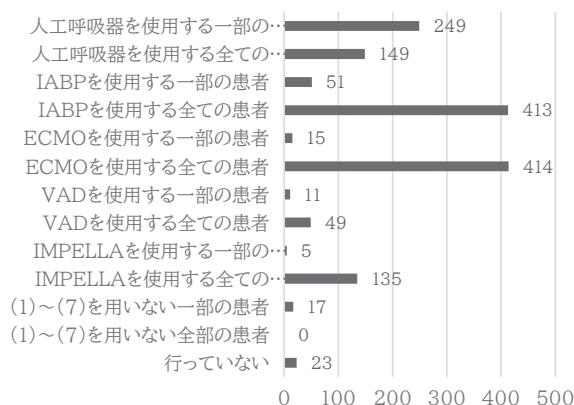
定義：CEが立ち会う院内搬送患者を選択してください。人工呼吸器は用手式を除きます。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：517

項目	n	割合
人工呼吸器を使用する一部の患者	249	(48.2%)
人工呼吸器を使用する全ての患者	149	(28.8%)
IABPを使用する一部の患者	51	(9.9%)
IABPを使用する全ての患者	413	(79.9%)
ECMOを使用する一部の患者	15	(2.9%)
ECMOを使用する全ての患者	414	(80.1%)
VADを使用する一部の患者	11	(2.1%)
VADを使用する全ての患者	49	(9.5%)
IMPELLAを使用する一部の患者	5	(1.0%)
IMPELLAを使用する全ての患者	135	(26.1%)
(1)~(7)を用いない一部の患者	17	(3.3%)
(1)~(7)を用いない全部の患者	0	(0.0%)
行っていない	23	(4.4%)

問16. CEが立ち会う院内搬送時患者を選択してください。(複数回答) n=517



問17 ドクターカー(院内救急車)に関する業務としてCEが行っていることを選択してください。(複数回答)

目的：CEが行なっているドクターカーに関する業務の実態を把握する。

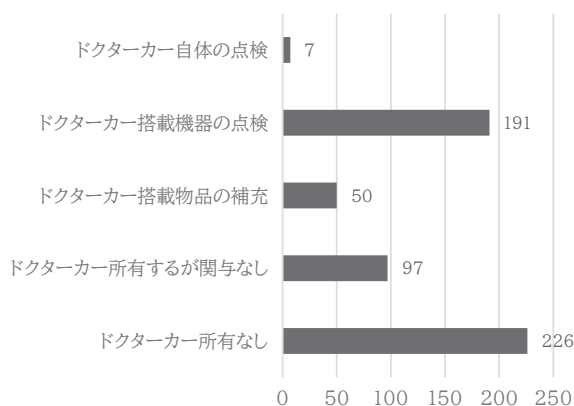
定義：CEが対応している業務を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：517

項目	n	割合
ドクターカー自体の点検	7	(1.4%)
ドクターカー搭載機器の点検	191	(36.9%)
ドクターカー搭載物品の補充	50	(9.7%)
ドクターカー所有するが関与なし	97	(18.8%)
ドクターカー所有なし	226	(43.7%)

問17. ドクターカー(院内救急車)に関する業務としてCEが行っていることを選択してください。(複数回答) n=517



問18 ICU (CCU・EICU・PICU 含む) を標榜している総ベッド数を教えてください。

目的：ICUの総ベッド数を把握する。

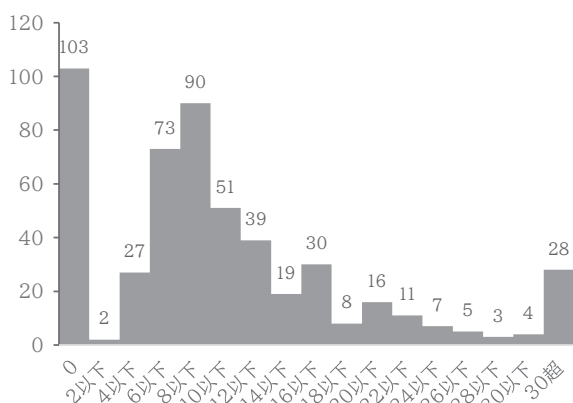
定義：ICUのベッド数を入力してください。ない場合は0を入力してください。※0の入力した場合は、調査は終了です。ありがとうございました。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：517

項目	n	割合
0	103	(19.9%)
2以下	2	(0.4%)
4以下	27	(5.2%)
6以下	73	(14.1%)
8以下	90	(17.4%)
10以下	51	(9.9%)
12以下	39	(7.5%)
14以下	19	(3.7%)
16以下	30	(5.8%)
18以下	8	(1.5%)
20以下	16	(3.1%)
22以下	11	(2.1%)
24以下	7	(1.4%)
26以下	5	(1.0%)
28以下	3	(0.6%)
30以下	4	(0.8%)
30超	28	(5.4%)

問18. ICU(CCU・EICU・PICU含む)を標榜している総ベッド数を教えてください。n=517



問19 平日の日勤帯にICU (CCU・EICU・PICU 含む) におけるCEの配置数(平均的な数値)を入力してください。

目的：平日のICUのCE人員配置の実態を把握する。

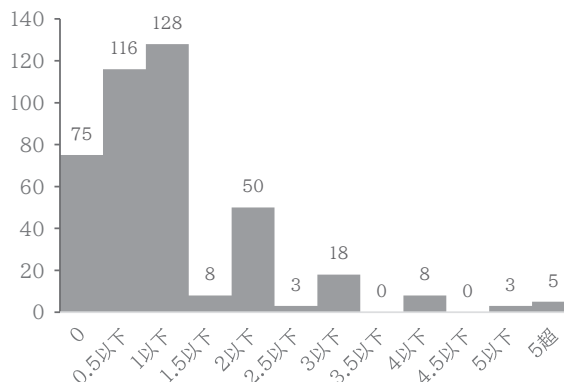
定義：平日の日勤帯にICU業務を行っているCEの人数を入力してください。※日勤帯は、8:00～16:30をおおむね含む勤務とする。1人あたり4時間未満の場合は0.5、4時間以上の場合は1を入力

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：414

項目	n	割合
0	75	(18.1%)
0.5以下	116	(28.0%)
1以下	128	(30.9%)
1.5以下	8	(1.9%)
2以下	50	(12.1%)
2.5以下	3	(0.7%)
3以下	18	(4.3%)
3.5以下	0	(0.0%)
4以下	8	(1.9%)
4.5以下	0	(0.0%)
5以下	3	(0.7%)
5超	5	(1.2%)

問19. 平日の日勤帯にICU(CCU・EICU・PICU含む)におけるCEの配置数(平均的な数値)を入力してください n=414



問20 休日の日勤帯にICU (CCU・EICU・PICU 含む) におけるCEの配置数(平均的な数値)を入力してください。

目的:休日のICUのCE人員配置の実態を把握する。

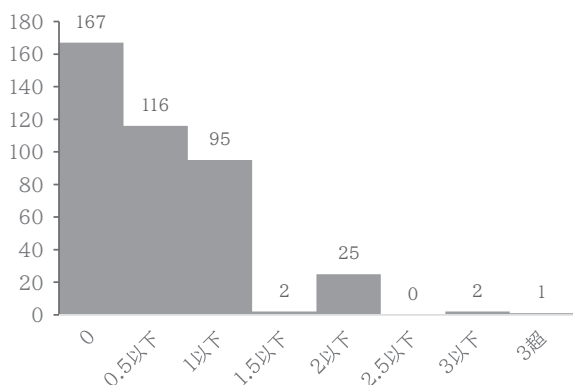
定義:休日の日勤帯にICU業務を行っているCEの人数を入力してください。※日勤帯は、8:00～16:30をおおむね含む勤務とする。休日とは日曜日および日本の祝日とする。1人あたり4時間未満の場合は0.5、4時間以上の場合は1を入力

対象:2022年10月1日時点

有効回答数:408

項目	n	割合
0	167	(40.9%)
0.5以下	116	(28.4%)
1以下	95	(23.3%)
1.5以下	2	(0.5%)
2以下	25	(6.1%)
2.5以下	0	(0.0%)
3以下	2	(0.5%)
3超	1	(0.2%)

問20. 休日の日勤帯にICU(CCU・EICU・PICU含む)におけるCEの配置数(平均的な数値)を入力してください n=408



問21 夜勤帯にICU (CCU・EICU・PICU 含む) におけるCEの配置数(平均的な数値)を入力してください。

目的:夜勤帯のICUのCE人員配置の実態を把握する。

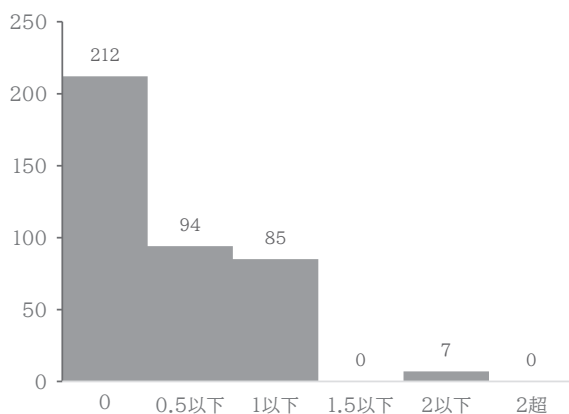
定義:夜勤帯にICU業務を行っているCEの人数を入力してください。夜勤帯とは、労働基準法に定められた深夜業午後10時から翌日午前5時までの時間帯を含む勤務とする。1人あたり4時間未満の場合は0.5、4時間以上の場合は1を入力

対象:2022年10月1日時点

有効回答数:398

項目	n	割合
0	212	(53.3%)
0.5以下	94	(23.6%)
1以下	85	(21.4%)
1.5以下	0	(0.0%)
2以下	7	(1.8%)
2超	0	(0.0%)

問21. 夜勤帯にICU(CCU・EICU・PICU含む)におけるCEの配置数(平均的な数値)を入力してください n=398

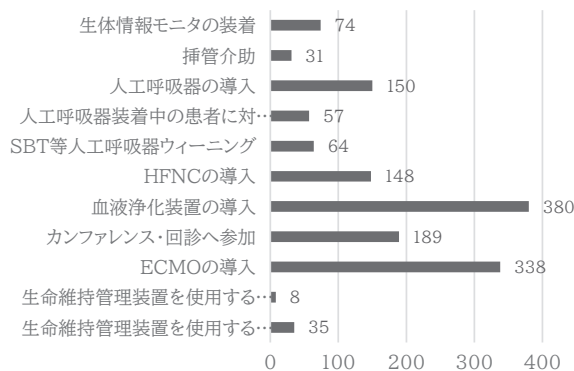


問22 平日日勤帯にICU (CCU・EICU・PICU 含む) においてCEが実施している業務を選択してください。(複数回答)

目的：平日日勤帯のICUの業務内容を把握する。
 定義：平日日勤帯に関与している業務内容を選択してください。全ての患者に実施していない場合でも選択してください。※日勤帯は、8:00~16:30をおおむね含む勤務とする。(タスクシフト関連)
 対象：2022年10月1日時点
 有効回答数：390

項目	n	割合
生体情報モニタの装着	74	(19.0%)
挿管介助	31	(7.9%)
人工呼吸器の導入	150	(38.5%)
人工呼吸器装着中の患者に対する血液ガス分析のための、動脈留置カテーテルからの採血	57	(14.6%)
SBT等人工呼吸器ウィーニング	64	(16.4%)
HFNCの導入	148	(37.9%)
血液浄化装置の導入	380	(97.4%)
カンファレンス・回診へ参加	189	(48.5%)
ECMOの導入	338	(86.7%)
生命維持管理装置を使用する患者の静脈路確保および抜去	8	(2.1%)
生命維持管理装置を使用する患者の輸液ポンプ・シリンジポンプの設定および設定変更	35	(9.0%)

問22. 平日日勤帯にICU(CCU・EICU・PICU含む)においてCEが実施している業務を選択してください。(複数回答) n=390

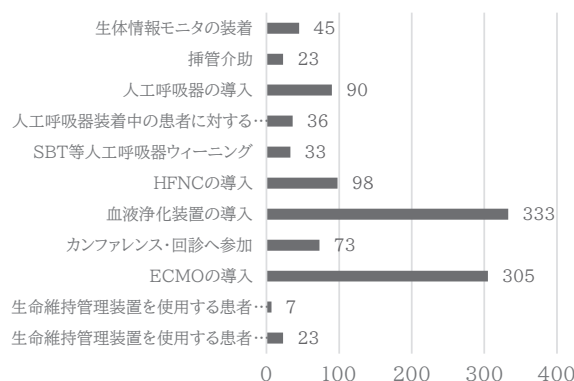


問23 休日日勤帯にICU (CCU・EICU・PICU 含む) においてCEが実施している業務を選択してください。(複数回答)

目的：休日日勤帯のICUの業務内容を把握する。
 定義：休日日勤帯に関与している業務内容を選択してください。全ての患者に実施していない場合でも選択してください。※日勤帯は、8:00~16:30をおおむね含む勤務とする。休日とは日曜日および日本の祝日とする。(タスクシフト関連)
 対象：2022年10月1日時点
 有効回答数：347

項目	n	割合
生体情報モニタの装着	45	(13.0%)
挿管介助	23	(6.6%)
人工呼吸器の導入	90	(25.9%)
人工呼吸器装着中の患者に対する血液ガス分析のための、動脈留置カテーテルからの採血	36	(10.4%)
SBT等人工呼吸器ウィーニング	33	(9.5%)
HFNCの導入	98	(28.2%)
血液浄化装置の導入	333	(96.0%)
カンファレンス・回診へ参加	73	(21.0%)
ECMOの導入	305	(87.9%)
生命維持管理装置を使用する患者の静脈路確保および抜去	7	(2.0%)
生命維持管理装置を使用する患者の輸液ポンプ・シリンジポンプの設定および設定変更	23	(6.6%)

問23. 休日日勤帯にICU(CCU・EICU・PICU含む)においてCEが実施している業務を選択してください。(複数回答) n=347



問24 夜勤帯にICU (CCU・EICU・PICU含む)においてCEが実施している業務を選択してください。(複数回答)

目的：夜勤帯のICUの業務内容を把握する。

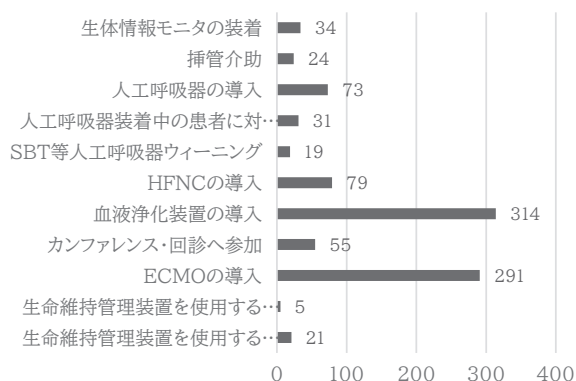
定義：夜勤帯に参与している業務内容を選択してください。全ての患者に実施していない場合でも選択してください。※日勤帯は、8:00~16:30をおおむね含む勤務とする。休日とは日本の日曜日および祝日とする。夜勤帯とは、労働基準法に定められた深夜業午後10時から翌日午前5時までの時間帯を含む勤務とする。(タスクシフト関連)

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：328

項目	n	割合
生体情報モニタの装着	34	(10.4%)
挿管介助	24	(7.3%)
人工呼吸器の導入	73	(22.3%)
人工呼吸器装着中の患者に対する血液ガス分析のための、動脈留置カテーテルからの採血	31	(9.5%)
SBT等人工呼吸器ウィーニング	19	(5.8%)
HFNCの導入	79	(24.1%)
血液浄化装置の導入	314	(95.7%)
カンファレンス・回診へ参加	55	(16.8%)
ECMOの導入	291	(88.7%)
生命維持管理装置を使用する患者の静脈路確保および抜去	5	(1.5%)
生命維持管理装置を使用する患者の輸液ポンプ・シリンジポンプの設定および設定変更	21	(6.4%)

問24. 夜勤帯にICU(CCU・EICU・PICU含む)においてCEが実施している業務を選択してください。(複数回答) n=328



問25 集中治療室における清潔介助業務を実施していますか(単一回答)

目的：集中治療室におけるCEの清潔介助業務の実施状況の把握。

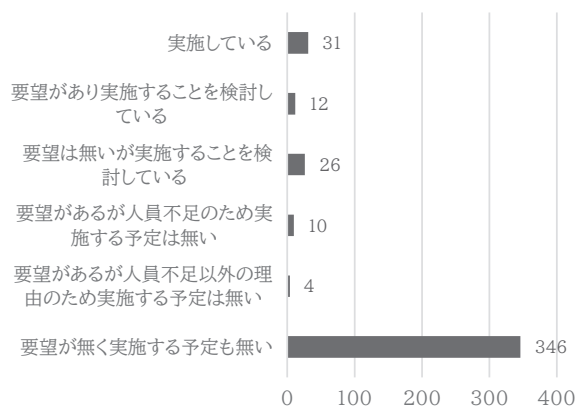
定義：集中治療室においてCEが清潔介助業務を実施しているか記入してください。(タスクシフト関連)

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：429

項目	n	割合
実施している	31	(7.2%)
要望があり実施することを検討している	12	(2.8%)
要望は無いが実施することを検討している	26	(6.1%)
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	10	(2.3%)
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	4	(0.9%)
要望が無く実施する予定も無い	346	(80.7%)

問25. 集中治療室における清潔介助業務を実施していますか(単一回答) n=429



問26 集中治療室においてCEが実施している(清潔)介助業務を全て選択してください。(複数回答)

目的：集中治療室においてCEが実施している(清潔)介助業務を把握する。

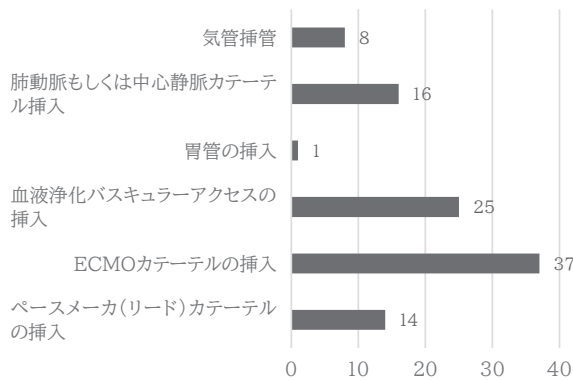
定義：集中治療室においてCEが実施している(清潔)介助業務を選択してください。(タスクシフト関連)

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：49

項目	n	割合
気管挿管	8	(16.3%)
肺動脈もしくは中心静脈カテーテル挿入	16	(32.7%)
胃管の挿入	1	(2.0%)
血液浄化バスキュラーアクセスの挿入	25	(51.0%)
ECMOカテーテルの挿入	37	(75.5%)
ペースメーカー(リード)カテーテルの挿入	14	(28.6%)

問26. 集中治療室においてCEが実施している(清潔)介助業務を全て選択してください。(複数回答) n=49



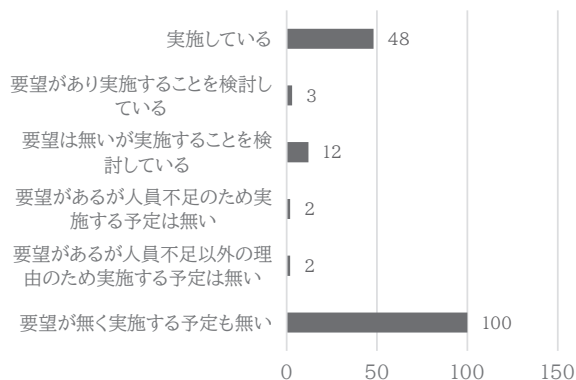
問27 CEは集中治療室における人工呼吸器装着中の患者に対して、血液ガス分析のための動脈留置カテーテルからの採血を実施していますか(単一回答)
 目的：集中治療室における人工呼吸器装着中の患者に対する、血液ガス分析のための動脈留置カテーテルからの採血の実施状況の把握。

定義：CEが集中治療室における人工呼吸器装着中の患者に対して、血液ガス分析のための動脈留置カテーテルからの採血を実施しているか選択してください。(タスクシフト関連)

対象：2022年10月1日時点
 有効回答数：167

項目	n	割合
実施している	48	(28.7%)
要望があり実施することを検討している	3	(1.8%)
要望は無いが実施することを検討している	12	(7.2%)
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	2	(1.2%)
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	2	(1.2%)
要望が無く実施する予定も無い	100	(59.9%)

問27. CEは集中治療室における人工呼吸器装着中の患者に対して、血液ガス分析のための動脈留置カテーテルからの採血を実施していますか(単一回答) n=167



問28 CEは生命維持管理装置に必要な静脈路の確保を実施していますか(単一回答)

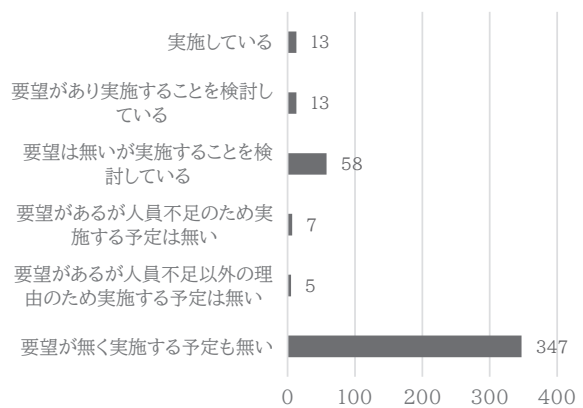
目的：生命維持管理装置に必要な静脈路の確保の実施予定の把握。

定義：生命維持管理装置に必要な静脈路の確保の実施予定を選択してください。(タスクシフト関連)

対象：2022年10月1日時点
 有効回答数：443

項目	n	割合
実施している	13	(2.9%)
要望があり実施することを検討している	13	(2.9%)
要望は無いが実施することを検討している	58	(13.1%)
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	7	(1.6%)
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	5	(1.1%)
要望が無く実施する予定も無い	347	(78.3%)

問28. CEは生命維持管理装置に必要な静脈路の確保を実施していますか(単一回答) n=443



VII. 施設調査 心臓・血管カテーテルアドオン

問1 所属都道府県技士会，問2 所属施設名は省略する。

問3 カテーテル室はいくつありますか(単一回答)

目的：カテーテル室の数を把握する。

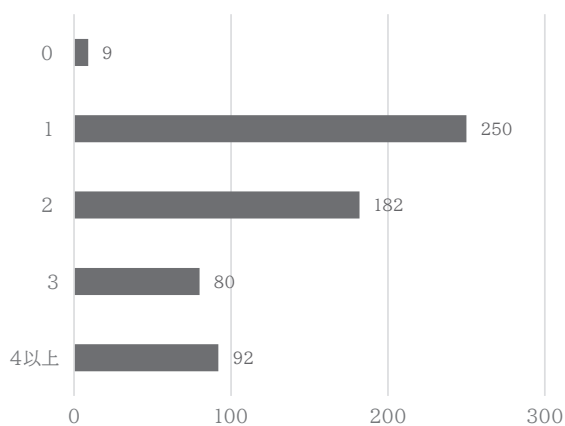
定義：カテーテル室の数を選択してください。(Hybridを含める)

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：613

項目	n	割合
0	9	(1.5%)
1	250	(40.8%)
2	182	(29.7%)
3	80	(13.1%)
4以上	92	(15.0%)

問3.カテーテル室はいくつありますか(単一回答) n=613



問4 心臓カテーテル検査もしくは治療にCEが関与していますか(単一回答)

目的：心臓カテーテル検査もしくは治療への関与を把握する。

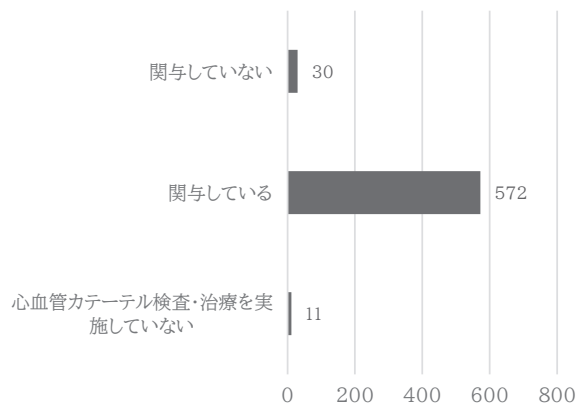
定義：心臓カテーテル検査もしくは治療への関与の有無を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：613

項目	n	割合
関与していない	30	(5%)
関与している	572	(93%)
心臓カテーテル検査・治療を実施していない	11	(2%)

問4.心臓カテーテル検査もしくは治療にCEが関与していますか(単一回答) n=613



問5 CEが関与している心臓カテーテル検査もしくは治療について教えてください(複数回答)

目的：心臓カテーテル検査もしくは治療への関与を把握する。

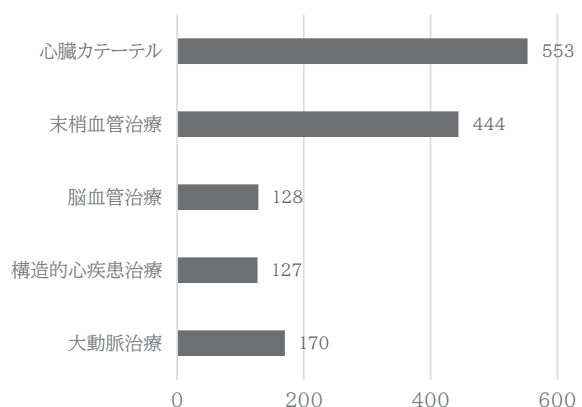
定義：心臓カテーテル検査もしくは治療への関与の有無を選択してください。 ※構造的な疾患とは、もともと心臓の構造に異常がある疾患群とする。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：569

項目	n	割合
心臓カテーテル	553	(97%)
末梢血管治療	444	(78%)
脳血管治療	128	(22%)
構造的な疾患治療	127	(22%)
大動脈治療	170	(30%)

問5.CEが関与している心臓カテーテル検査もしくは治療について教えてください(複数回答) n=569



問6 右心カテーテル検査 (SG) の1年間あたりの症例数について教えてください

目的: カテーテル検査・治療における各症例数を把握する。

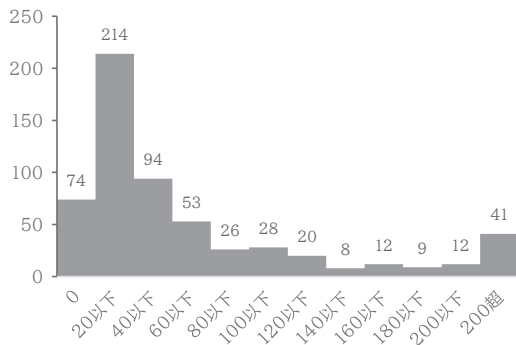
定義: 実施された右心カテーテル検査 (SG) の症例数を選択してください。

対象: 2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数: 591

項目	n	割合
0	74	(12.5%)
20以下	214	(36.2%)
40以下	94	(15.9%)
60以下	53	(9.0%)
80以下	26	(4.4%)
100以下	28	(4.7%)
120以下	20	(3.4%)
140以下	8	(1.4%)
160以下	12	(2.0%)
180以下	9	(1.5%)
200以下	12	(2.0%)
200超	41	(6.9%)

問6. 右心カテーテル検査 (SG) の1年間あたりの症例数について教えてください n=591



問7 冠動脈造影検査 (CAG) の1年間あたりの症例数について教えてください

目的: カテーテル検査・治療における各症例数を把握する。

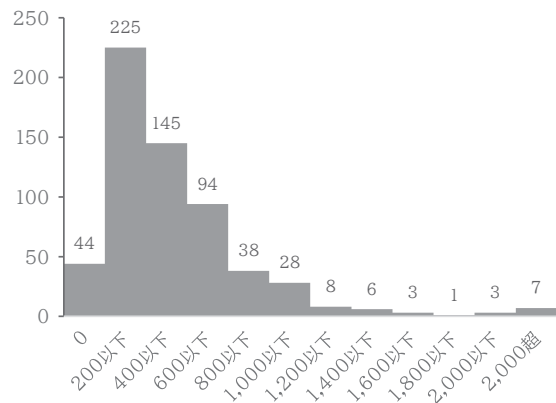
定義: 実施された冠動脈造影検査 (CAG) の症例数を選択してください。

対象: 2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数: 602

項目	n	割合
0	44	(7.3%)
200以下	225	(37.4%)
400以下	145	(24.1%)
600以下	94	(15.6%)
800以下	38	(6.3%)
1,000以下	28	(4.7%)
1,200以下	8	(1.3%)
1,400以下	6	(1.0%)
1,600以下	3	(0.5%)
1,800以下	1	(0.2%)
2,000以下	3	(0.5%)
2,000超	7	(1.2%)

問7. 冠動脈造影検査 (CAG) の1年間あたりの症例数について教えてください n=602



問8 待機的な経皮的冠動脈形成術 (PCI) の1年間あたりの症例数について教えてください

目的: カテーテル検査・治療における各症例数を把握する。

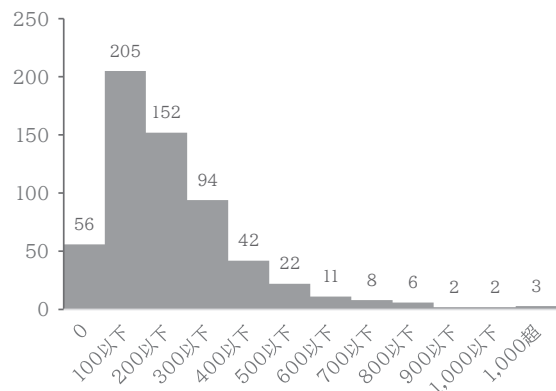
定義: 実施された待機的な経皮的冠動脈形成術 (PCI) の症例数を選択してください。

対象: 2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数: 604

項目	n	割合
0	56	(9.3%)
100以下	205	(33.9%)
200以下	152	(25.2%)
300以下	94	(15.6%)
400以下	42	(7.0%)
500以下	22	(3.6%)
600以下	11	(1.8%)
700以下	8	(1.3%)
800以下	6	(1.0%)
900以下	2	(0.3%)
1,000以下	2	(0.3%)
1,000超	3	(0.5%)

問8. 待機的な経皮的冠動脈形成術 (PCI) の1年間あたりの症例数について教えてください n=604



問9 緊急カテーテル検査・治療の1年間あたりの総数について教えてください

目的：カテーテル検査・治療における各症例数を把握する。

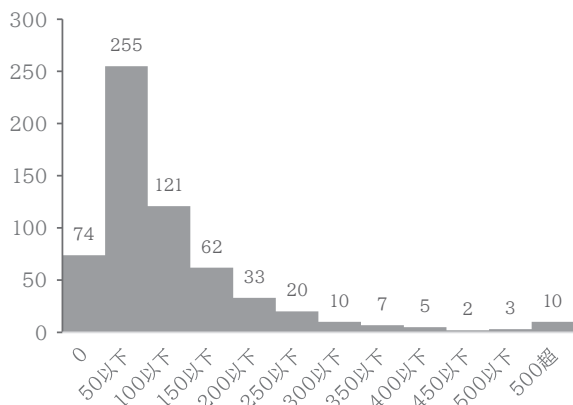
定義：実施された緊急カテーテル検査・治療の総数を選択してください。

対象：2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数：604

項目	n	割合
0	74	(12.3%)
50以下	255	(42.4%)
100以下	121	(20.1%)
150以下	62	(10.3%)
200以下	33	(5.5%)
250以下	20	(3.3%)
300以下	10	(1.7%)
350以下	7	(1.2%)
400以下	5	(0.8%)
450以下	2	(0.3%)
500以下	3	(0.5%)
500超	10	(1.7%)

問9. 緊急カテーテル検査・治療の1年間あたりの総数について教えてください n=604



問10 構造的心疾患 (SHD) 治療件数1年間あたりの症例数について教えてください

目的：カテーテル検査・治療における各症例数を把握する。

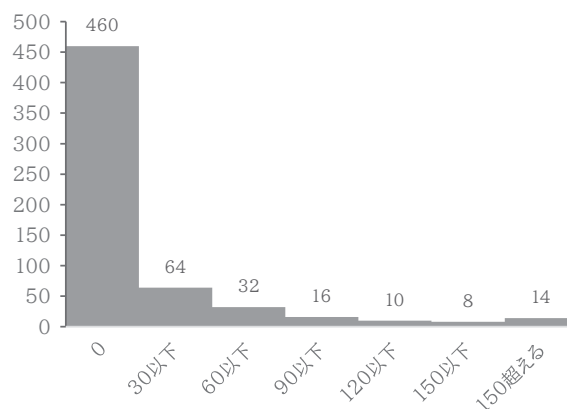
定義：実施された構造的心疾患 (SHD) 治療件数の症例数を選択してください。

対象：2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数：604

項目	n	割合
0	460	(76.2%)
30以下	64	(10.6%)
60以下	32	(5.3%)
90以下	16	(2.6%)
120以下	10	(1.7%)
150以下	8	(1.3%)
150超	14	(2.3%)

問10. 構造的心疾患 (SHD) 治療件数1年間あたりの症例数について教えてください n=604



問11 心臓・血管カテーテル検査・治療に使用する各機器について教えてください

目的：IVUSの年間使用件数を把握する。

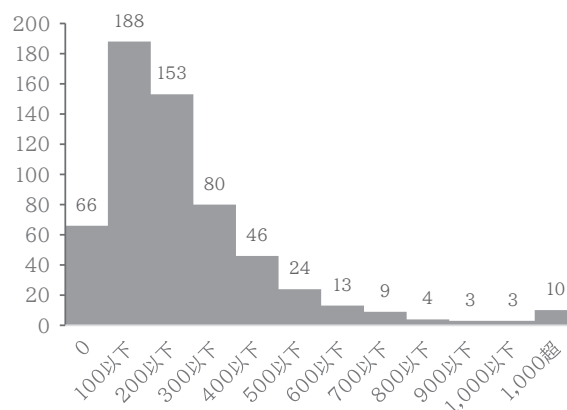
定義：IVUSの年間使用件数を選択してください。

対象：2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数：599

項目	n	割合
0	66	(11.0%)
100以下	188	(31.4%)
200以下	153	(25.5%)
300以下	80	(13.4%)
400以下	46	(7.7%)
500以下	24	(4.0%)
600以下	13	(2.2%)
700以下	9	(1.5%)
800以下	4	(0.7%)
900以下	3	(0.5%)
1,000以下	3	(0.5%)
1,000超	10	(1.7%)

問11. IVUSの年間使用件数 n=599



問12 心臓・血管カテーテル検査・治療に使用する各機器について教えてください

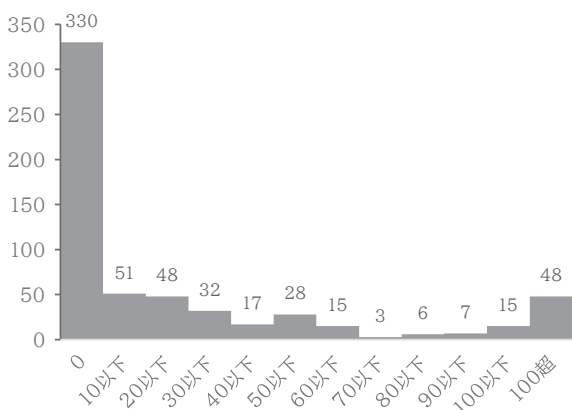
目的：OCT/OFDIの年間使用件数を把握する。
 定義：OCT/OFDIの年間使用件数を選択してください。

対象：2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数：600

項目	n	割合
0	330	(55.0%)
10以下	51	(8.5%)
20以下	48	(8.0%)
30以下	32	(5.3%)
40以下	17	(2.8%)
50以下	28	(4.7%)
60以下	15	(2.5%)
70以下	3	(0.5%)
80以下	6	(1.0%)
90以下	7	(1.2%)
100以下	15	(2.5%)
100超	48	(8.0%)

問12. OCT/OFDIの年間使用件数 n=600



問13 心臓・血管カテーテル検査・治療に使用する各機器について教えてください

目的：FFR/Resting Indexが測定可能な機器の年間使用件数を把握する。

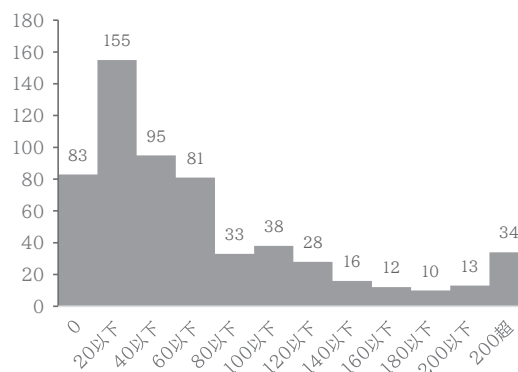
定義：FFR/Resting Indexが測定可能な機器の年間使用件数を選択してください。

対象：2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数：598

項目	n	割合
0	83	(13.9%)
20以下	155	(25.9%)
40以下	95	(15.9%)
60以下	81	(13.5%)
80以下	33	(5.5%)
100以下	38	(6.4%)
120以下	28	(4.7%)
140以下	16	(2.7%)
160以下	12	(2.0%)
180以下	10	(1.7%)
200以下	13	(2.2%)
200超	34	(5.7%)

問13. FFR/Resting Indexが測定可能な機器の年間使用件数 n=598



問14 心臓・血管カテーテル検査・治療に使用する各機器について教えてください

目的：Rotablator, Diamondbackの年間使用件数を把握する。

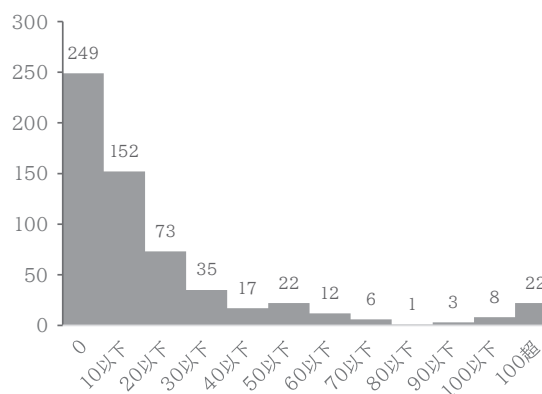
定義：Rotablator, Diamondbackの年間使用件数を選択してください。

対象：2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数：600

項目	n	割合
0	249	(41.5%)
10以下	152	(25.3%)
20以下	73	(12.2%)
30以下	35	(5.8%)
40以下	17	(2.8%)
50以下	22	(3.7%)
60以下	12	(2.0%)
70以下	6	(1.0%)
80以下	1	(0.2%)
90以下	3	(0.5%)
100以下	8	(1.3%)
100超	22	(3.7%)

問14. Rotablator, Diamondbackの年間使用件数 n=600



問15 カテーテル検査治療に関わる CE の人数は全部で何人ですか

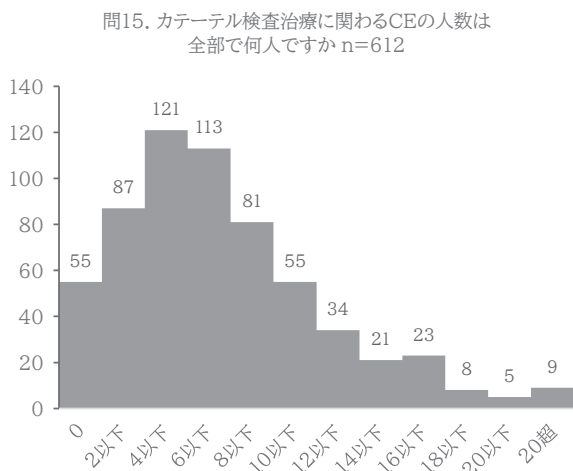
目的：カテーテル検査治療に従事する専任者および兼任者数を把握する。

定義：カテーテル検査治療に関わる CE の専任者および兼任者数を選択してください。※専任者とは、担当者となっており、その他の診療を兼任しても差し支えないものとする。ただし、その就業の少なくとも5割以上、当該業務に従事している必要があるものとする。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：612

項目	n	割合
0	55	(9.0%)
2以下	87	(14.2%)
4以下	121	(19.8%)
6以下	113	(18.5%)
8以下	81	(13.2%)
10以下	55	(9.0%)
12以下	34	(5.6%)
14以下	21	(3.4%)
16以下	23	(3.8%)
18以下	8	(1.3%)
20以下	5	(0.8%)
20超	9	(1.5%)



問16 カテーテル検査治療に関わる CE の専任者人数は全部で何人ですか

目的：カテーテル検査治療に従事する専任者を把握する。

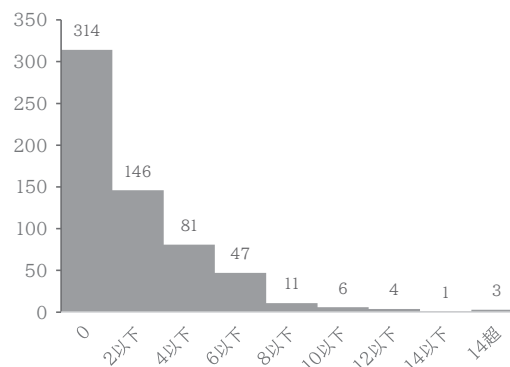
定義：カテーテル検査治療に関わる CE の専任者を選択してください。※専任者とは、担当者となっており、その他の診療を兼任しても差し支えないものとする。ただし、その就業の少なくとも5割以上、当該業務に従事している必要があるものとする)

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：613

項目	n	割合
0	314	(51.2%)
2以下	146	(23.8%)
4以下	81	(13.2%)
6以下	47	(7.7%)
8以下	11	(1.8%)
10以下	6	(1.0%)
12以下	4	(0.7%)
14以下	1	(0.2%)
14超	3	(0.5%)

問16. カテーテル検査治療に関わるCEの専任者人数は全部で何人ですか n=613



問17 カテーテル検査治療に関わる CE の兼任者は何人ですか

目的：カテーテル検査治療に従事する兼任者数を把握する。

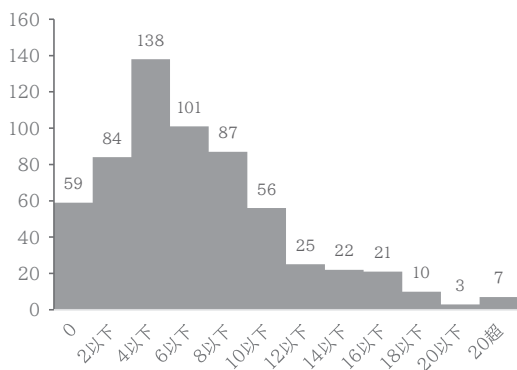
定義：カテーテル検査治療に関わる CE の兼任者数を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：613

項目	n	割合
0	59	(9.6%)
2以下	84	(13.7%)
4以下	138	(22.5%)
6以下	101	(16.5%)
8以下	87	(14.2%)
10以下	56	(9.1%)
12以下	25	(4.1%)
14以下	22	(3.6%)
16以下	21	(3.4%)
18以下	10	(1.6%)
20以下	3	(0.5%)
20超	7	(1.1%)

問17. カテーテル検査治療に関わるCEの兼任者は何人ですか n=613



問18 右心カテーテル検査 (SG) 1 症例あたりの CE の人数について教えてください.

目的: 各施設におけるカテーテル検査治療の人員配置の実態を調査する.

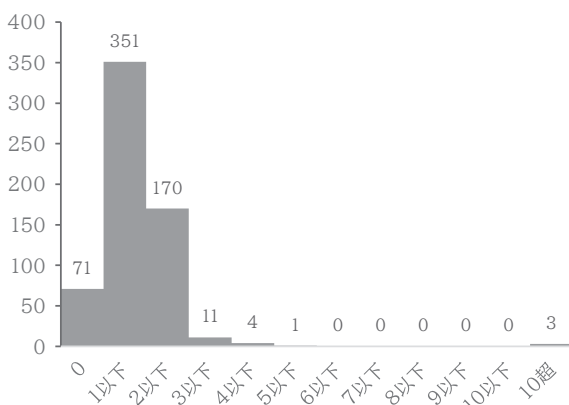
定義: 右心カテーテル検査 (SG) 1 症例にあたる人数を選択してください.

対象: 2022 年 10 月 1 日時点

有効回答数: 611

項目	n	割合
0	71	(11.6%)
1以下	351	(57.4%)
2以下	170	(27.8%)
3以下	11	(1.8%)
4以下	4	(0.7%)
5以下	1	(0.2%)
6以下	0	(0.0%)
7以下	0	(0.0%)
8以下	0	(0.0%)
9以下	0	(0.0%)
10以下	0	(0.0%)
10超	3	(0.5%)

問18. 右心カテーテル検査 (SG) 1 症例あたりの CE の人数について教えてください n=611



問19 冠動脈造影検査 (CAG) 1 症例あたりの CE の人数について教えてください.

目的: 各施設のカテーテル検査治療における人員配置の実態を調査する.

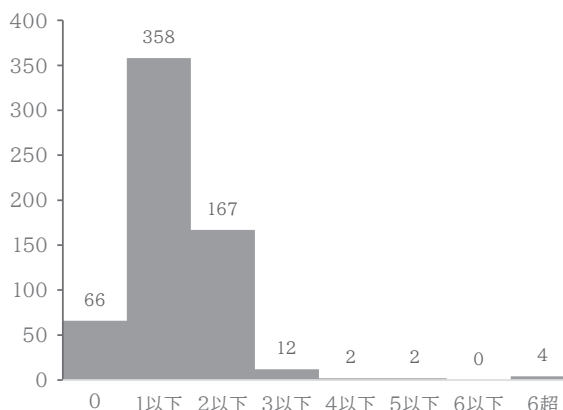
定義: 冠動脈造影検査 (CAG) 1 症例にあたる人数を選択してください.

対象: 2022 年 10 月 1 日時点

有効回答数: 611

項目	n	割合
0	66	(10.8%)
1以下	358	(58.6%)
2以下	167	(27.3%)
3以下	12	(2.0%)
4以下	2	(0.3%)
5以下	2	(0.3%)
6以下	0	(0.0%)
6超	4	(0.7%)

問19. 冠動脈造影検査 (CAG) 1 症例あたりの CE の人数について教えてください n=611



問20 待機的な経皮的冠動脈形成術 (PCI) 1 症例あたりの CE の人数について教えてください.

目的: 各施設のカテーテル検査治療における人員配置の実態を調査する.

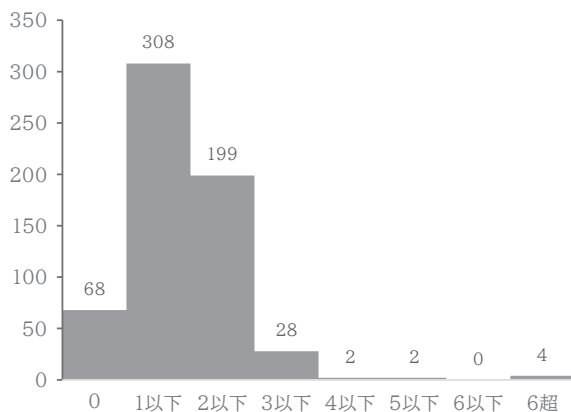
定義: 待機的な経皮的冠動脈形成術 (PCI) 1 症例にあたる人数を選択してください.

対象: 2022 年 10 月 1 日時点

有効回答数: 611

項目	n	割合
0	68	(11.1%)
1以下	308	(50.4%)
2以下	199	(32.6%)
3以下	28	(4.6%)
4以下	2	(0.3%)
5以下	2	(0.3%)
6以下	0	(0.0%)
6超	4	(0.7%)

問20. 待機的な経皮的冠動脈形成術 (PCI) 1症例あたりのCEの人数について教えてください n=611



問21 緊急カテーテル検査治療 1 症例あたりの CE の人数について教えてください。

目的：各施設のカテーテル検査治療における人員配置の実態を調査する。

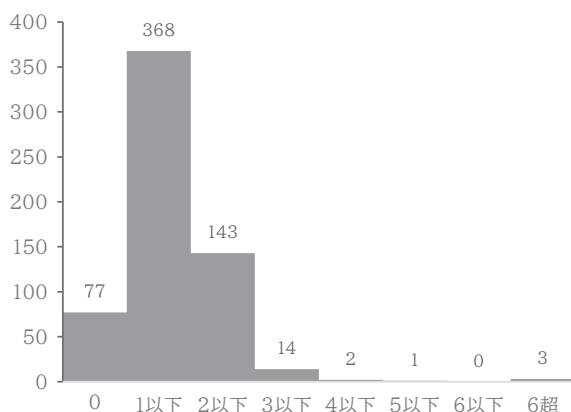
定義：緊急カテーテル検査治療 1 症例にあたる人数を選択してください。

対象：2022 年 10 月 1 日時点

有効回答数：608

項目	n	割合
0	77	(12.7%)
1以下	368	(60.5%)
2以下	143	(23.5%)
3以下	14	(2.3%)
4以下	2	(0.3%)
5以下	1	(0.2%)
6以下	0	(0.0%)
6超	3	(0.5%)

問21. 緊急カテーテル検査治療1症例あたりのCEの人数について教えてください n=608



問22 構造的な心疾患 (SHD) 治療件数 1 症例あたりの CE の人数について教えてください。

目的：各施設のカテーテル検査治療における人員配置の実態を調査する。

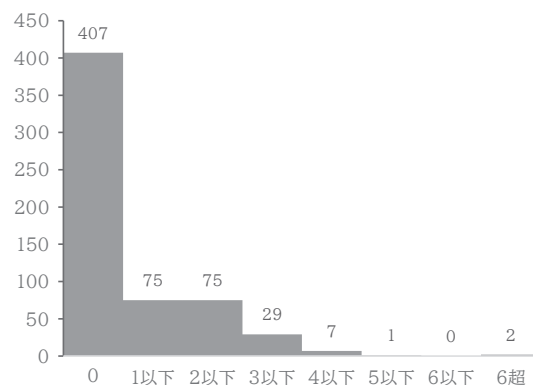
定義：構造的な心疾患 (SHD) 治療件数 1 症例にあたる人数を選択してください。

対象：2022 年 10 月 1 日時点

有効回答数：596

項目	n	割合
0	407	(68.3%)
1以下	75	(12.6%)
2以下	75	(12.6%)
3以下	29	(4.9%)
4以下	7	(1.2%)
5以下	1	(0.2%)
6以下	0	(0.0%)
6超	2	(0.3%)

問22. 構造的な心疾患(SHD)治療件数1症例あたりのCEの人数について教えてください n=596



問23 心血管カテーテル室で使用することができる医療機器を全て選択してください。(複数回答)

目的：心血管カテーテル室で使用可能な医療機器を調査する

定義：設置してある医療機器を選択回答(複数選択可)

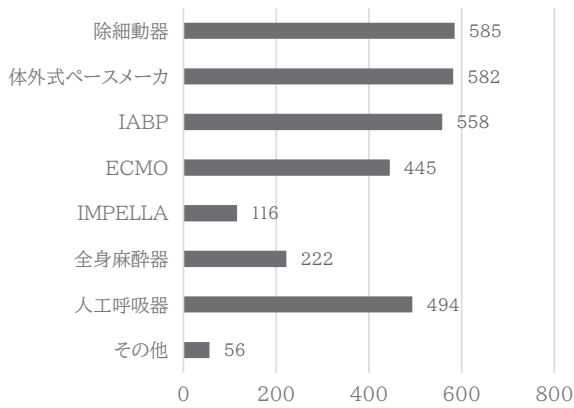
対象：2022 年 10 月 1 日時点

有効回答数：596

項目	n	割合
除細動器	585	(98.2%)
体外式ペースメーカー	582	(97.7%)
IABP	558	(93.6%)
ECMO	445	(74.7%)
IMPELLA	116	(19.5%)
全身麻酔器	222	(37.2%)
人工呼吸器	494	(82.9%)
その他	56	(9.4%)

IVUS, FFR, 超音波診断装置, OCT, ROTA, 臨床用ポリグラフ, PCI ロボット, (17), 輸液ポンプ, シリンジポンプ(9), 超音波診断装置(8), エキシマレーザー(4), PCPS(2), ポリグラフ, モニター(2), 麻酔器, 人工呼吸器は、常設されていないが設置可能である。(2), 送液装置, 血液凝固測定装置(1), 電気メス(1), NPPV(1)

心血管カテーテル室で使用することができる医療機器を全て選択してください。(複数回答) n=596



問24 心血管カテーテルにおいてCEが実施している業務を全て選択してください。(複数回答)

目的: 心血管カテーテル室で使用可能な医療機器を調査する

定義: CEが実施している業務を選択回答(複数選択可)

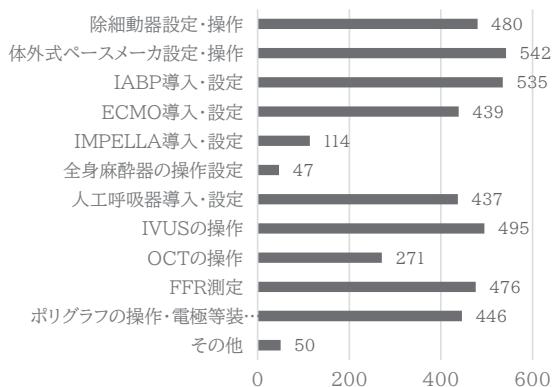
対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 581

項目	n	割合
除細動器設定・操作	480	(82.6%)
体外式ペースメーカ設定・操作	542	(93.3%)
IABP 導入・設定	535	(92.1%)
ECMO 導入・設定	439	(75.6%)
IMPELLA 導入・設定	114	(19.6%)
全身麻酔器の操作設定	47	(8.1%)
人工呼吸器導入・設定	437	(75.2%)
IVUSの操作	495	(85.2%)
OCTの操作	271	(46.6%)
FFR測定	476	(81.9%)
ポリグラフの操作・電極等装着・圧力等測定記録	446	(76.8%)
その他	50	(8.6%)

清潔介助(9),Rotablater,ELCA,CARTO,EPラボ(9),超音波検査装置の操作(3),物品出し・術中記録(3),Debulking device(2),検査,治療デバイスの展開(2),透視台操作(2),患者観察・記録,物品出し,外回り(1)

問24.心血管カテーテルにおいてCEが実施している業務を全て選択してください。(複数回答) n=581



問25 IVUSの操作が出来るCEの人数について教えてください

目的: モダリティ操作ができる人数を把握する.

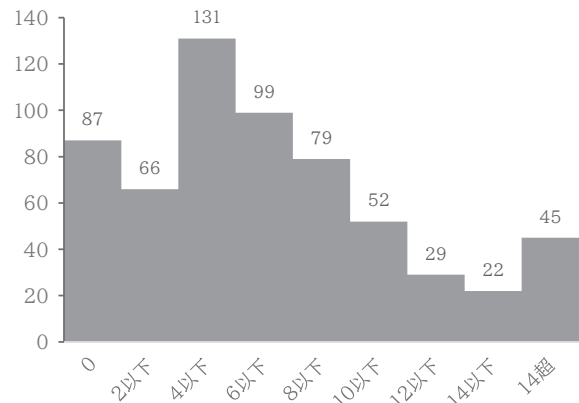
定義: IVUSの操作(セットアップから臨床使用まで)が出来るCEの人数を選択してください.

対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 610

項目	n	割合
0	87	(14.3%)
2以下	66	(10.8%)
4以下	131	(21.5%)
6以下	99	(16.2%)
8以下	79	(13.0%)
10以下	52	(8.5%)
12以下	29	(4.8%)
14以下	22	(3.6%)
14超	45	(7.4%)

問25. IVUSの操作が出来るCEの人数について教えてください n=610



問26 OCT/OFDIの操作が出来るCEの人数について教えてください

目的: モダリティ操作ができる人数を把握する.

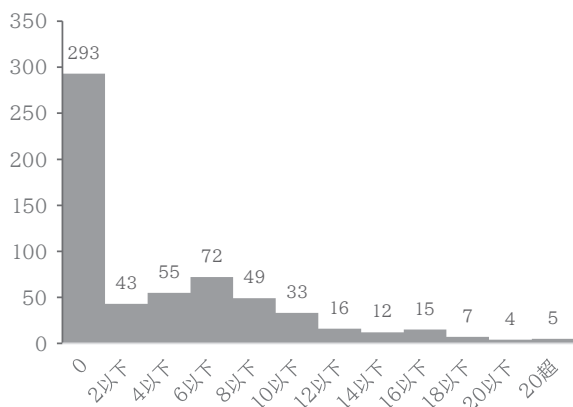
定義: OCT/OFDIの操作(セットアップから臨床使用まで)が出来るCEの人数を選択してください.

対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 604

項目	n	割合
0	293	(48.5%)
2以下	43	(7.1%)
4以下	55	(9.1%)
6以下	72	(11.9%)
8以下	49	(8.1%)
10以下	33	(5.5%)
12以下	16	(2.6%)
14以下	12	(2.0%)
16以下	15	(2.5%)
18以下	7	(1.2%)
20以下	4	(0.7%)
20超	5	(0.8%)

問26. OCT/OFDIの操作が出来るCEの人数について
教えて下さい n=604



問27 FFR/Resting 装置の操作が出来る CE の人数について教えて下さい

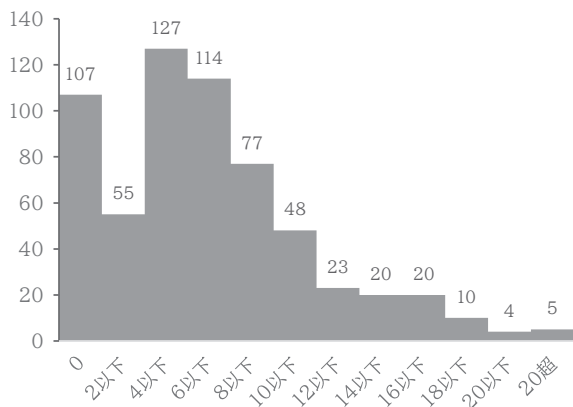
目的：モダリティ操作ができる人数を把握する。
定義：FFR/Resting 装置の操作（セットアップから臨床使用まで）が出来る CE の人数を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：610

項目	n	割合
0	107	(17.5%)
2以下	55	(9.0%)
4以下	127	(20.8%)
6以下	114	(18.7%)
8以下	77	(12.6%)
10以下	48	(7.9%)
12以下	23	(3.8%)
14以下	20	(3.3%)
16以下	20	(3.3%)
18以下	10	(1.6%)
20以下	4	(0.7%)
20超	5	(0.8%)

問27. FFR/Resting装置の操作が出来るCEの人数について教えて下さい n=610



問28 Rotablator, Diamondback の操作が出来る CE の人数について教えて下さい

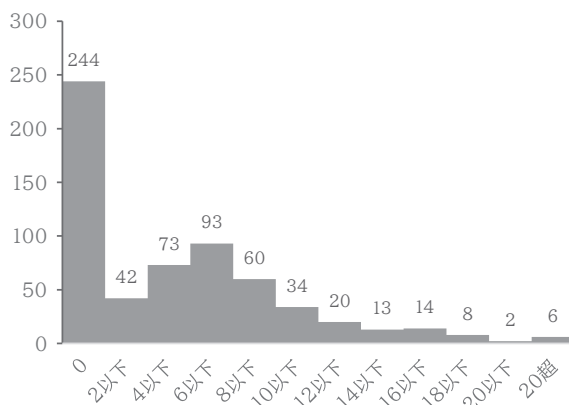
目的：モダリティ操作ができる人数を把握する。
定義：Rotablator, Diamondback の操作（セットアップから臨床使用まで）が出来る CE の人数を選択してください。（どちらか一方、または両方含む）

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：609

項目	n	割合
0	244	(40.1%)
2以下	42	(6.9%)
4以下	73	(12.0%)
6以下	93	(15.3%)
8以下	60	(9.9%)
10以下	34	(5.6%)
12以下	20	(3.3%)
14以下	13	(2.1%)
16以下	14	(2.3%)
18以下	8	(1.3%)
20以下	2	(0.3%)
20超	6	(1.0%)

問28. Rotablator, Diamondbackの操作が出来る CEの人数について教えて下さい n=609



問29 心血管カテーテル業務において CE は薬剤の準備は実施していますか（単一回答）

目的：心血管カテーテル業務において CE の薬剤の準備状況を把握する。

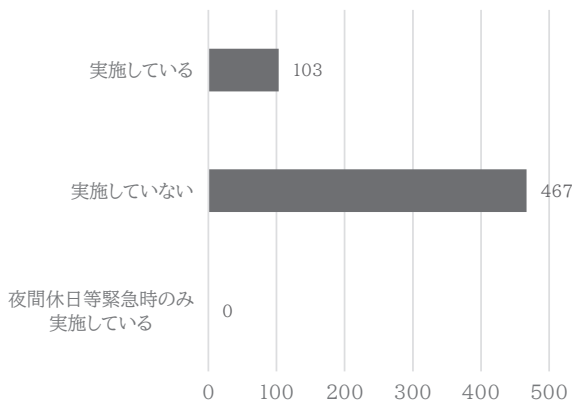
定義：心血管カテーテル業務において CE の薬剤準備の有無を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：613

項目	n	割合
実施している	103	(16.8%)
実施していない	467	(76.2%)
夜間休日等緊急時のみ実施している	43	(7.0%)

問30 心血管カテーテル業務においてCEは薬剤の準備は実施していますか(単一回答) n=613



問30 心血管カテーテル業務においてCEは清潔介助業務を実施していますか(単一回答)

目的: 心血管カテーテル業務においてCEの清潔介助業務の実施状況を把握する。

定義: 心血管カテーテル業務においてCEの清潔介助業務を実施について選択してください。(タスクシフト関連)

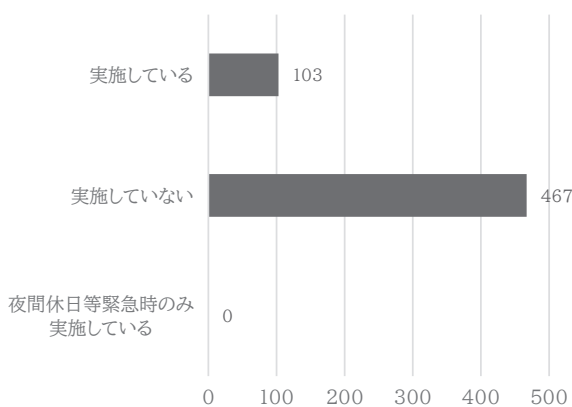
対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 613

項目	n	割合
実施している	226	(36.9%)
実施していない	311	(50.7%)
夜間休日等緊急のみ実施している	11	(1.8%)
平日日勤帯のみ実施している	23	(3.8%)
その他	42	(6.9%)

医師が確保できない場合は対応(22),状況に応じて行う(6),TAVIのみ(4),アブレーション時(2),医師から要請があった時のみ(2),医師の状況に応じて対応(1),一部の業務のみ(1),関わっていない(1),勤務体制に余裕がある時のみ実施している(1)

問30.心血管カテーテル業務においてCEは薬剤の準備は実施していますか(単一回答) n=613



問31 心血管カテーテル業務においてCEが清潔介助業務を行っている清潔介助業務をすべて選択して下さい(複数回答)

目的: 心血管カテーテル業務においてCEが清潔介助業務の内容を把握する。

定義: 心血管カテーテル業務においてCEが行う清潔介助業務をすべて選択してください。

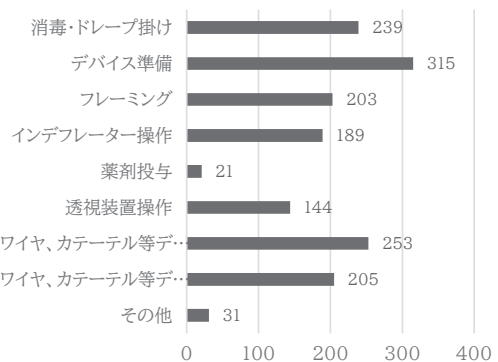
対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 350

項目	n	割合
消毒・ドレープ掛け	239	(68.3%)
デバイス準備	315	(90.0%)
フレーミング	203	(58.0%)
インデフレーター操作	189	(54.0%)
薬剤投与	21	(6.0%)
透視装置操作	144	(41.1%)
ガイドワイヤ,カテーテル等	253	(72.3%)
デバイスの保持	205	(58.6%)
ガイドワイヤ,カテーテル等	205	(58.6%)
デバイスの操作介助	31	(8.9%)
その他	31	(8.9%)

なし(13),PMI 清潔介助,アブレーション清潔介助(3),IVUS セットアップ(2),造影剤注入装置の操作(1),カテヤシースからの採血,デバルキング関連の準備・操作・介助など(1),三連管準備(1),ドレープ掛け(1),補助循環導入時のデバイス準備・接続介助(1),患者入室前の清潔台準備のみ(1)

問31. 心血管カテーテル業務においてCEが行っている清潔介助業務をすべて選択して下さい(複数回答) n=350



問32 心血管カテーテル室においてCEが実施している項目を全て選択して下さい。(複数回答)

目的: カテーテル室で実施している業務範囲を把握する

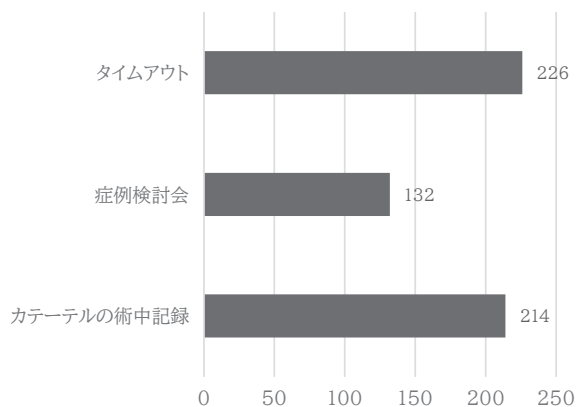
定義: カテーテル室で実施している業務内容を選択してください。

対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 245

項目	n	割合
タイムアウト	226	(64.6%)
症例検討会	132	(37.7%)
カテーテルの術中記録	214	(61.1%)

問32. 心血管カテーテル室においてCEが実施している項目を全て選択して下さい。(複数回答) n=245



問33. 心血管カテーテルにおけるCEの時間外の緊急カテーテル対応について教えてください。(単一回答)

目的：緊急カテーテル対応の実態を把握する。

定義：心血管カテーテルにおけるCEの時間外の緊急カテーテル対応方法を選択して下さい。

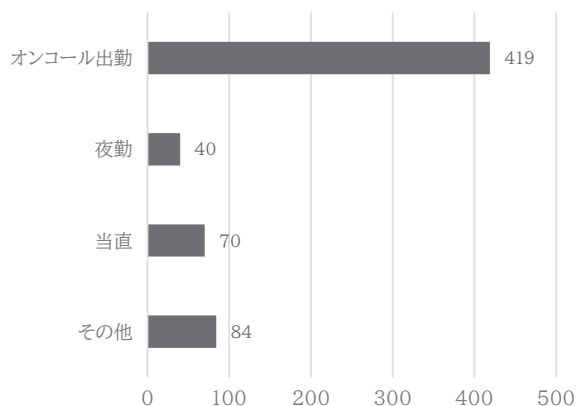
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：613

項目	n	割合
オンコール出勤	419	(68.4%)
夜勤	40	(6.5%)
当直	70	(11.4%)
その他	84	(13.7%)

なし(29),当直またはオンコール体制(12),関与していない(5),時間外の緊急カテーテル検査は無し(5),夜勤またはオンコール体制(4),補助循環必要時のみ対応(4),時間外は検査技師(1),医師不足のときのみ(1),院内にCE不在の際は実施しない(1)

問33. 心血管カテーテルにおけるCEの時間外の緊急カテーテル対応について教えてください。(単一回答) n=613



問34. 心血管カテーテル関連専門臨床工学技士の資格保持者の人数を教えてください。(単一回答)

目的：心血管カテーテル関連専門臨床工学技士の資格保有の状況を把握する。

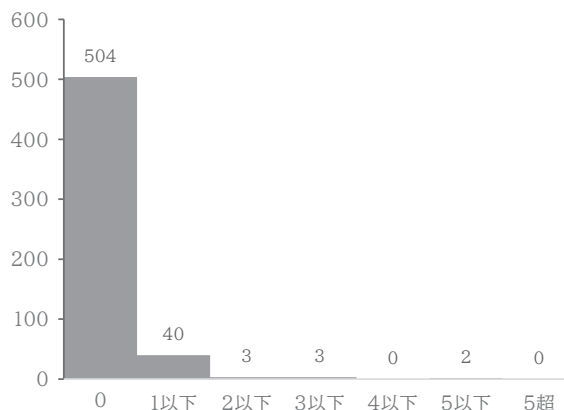
定義：心血管カテーテル関連専門臨床工学技士の資格保有者の人数(有効期間内の資格保有人数)を選択して下さい。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：552

項目	n	割合
0	504	(91.3%)
1以下	40	(7.2%)
2以下	3	(0.5%)
3以下	3	(0.5%)
4以下	0	(0.0%)
5以下	2	(0.4%)
5超	0	(0.0%)

問34. 心血管カテーテル関連専門臨床工学技士の資格保持者の人数を教えてください。(単一回答) n=552



問35. CEにおいてITE(心血管インターベンション技師制度)の資格保持者の人数を教えてください。(単一回答)

目的：CEのITE(心血管インターベンション技師制度)資格保有の状況を把握する。

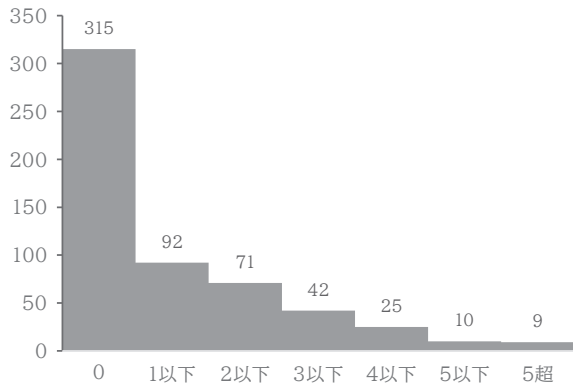
定義：CEのITE(心血管インターベンション技師制度)資格保有者の人数(有効期間内の資格保有人数)を選択して下さい。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：564

項目	n	割合
0	315	(55.9%)
1以下	92	(16.3%)
2以下	71	(12.6%)
3以下	42	(7.4%)
4以下	25	(4.4%)
5以下	10	(1.8%)
5超	9	(1.6%)

問35. CEにおいてITE(心血管インターベンション技師制度)の資格保持者の人数を教えてください。(単一回答)
n=564



問36 心血管カテーテル検査治療の際に業者立会いは行っていますか (単一回答)

目的: 心血管カテーテル検査治療の業者立会い状況を把握する。

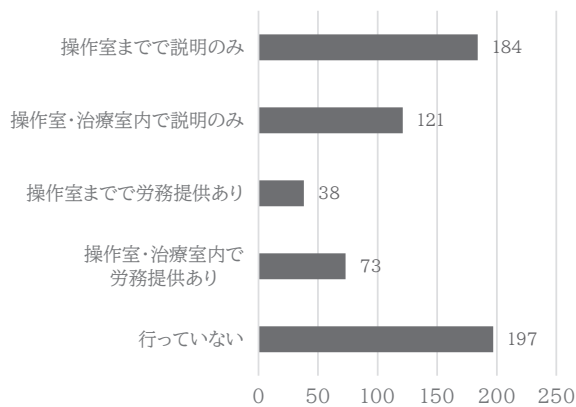
定義: 心血管カテーテル検査治療の業者立会い状況に該当するものを選択してください。

対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 613

項目	n	割合
操作室までで説明のみ	184	(30.0%)
操作室・治療室内で説明のみ	121	(19.7%)
操作室までで労務提供あり	38	(6.2%)
操作室・治療室内で労務提供あり	73	(11.9%)
行っていない	197	(32.1%)

問36. 心血管カテーテル検査治療の際に業者立会いは行っていますか(単一回答) n=613



IX. 施設調査 内視鏡アドオン

問1 所属都道府県技士会, 問2 所属施設名は省略する。

問3 内視鏡室(センター)における年間の内視鏡検査治療総件数を入力してください。

目的: 施設の年間の内視鏡検査治療総件数把握のため。

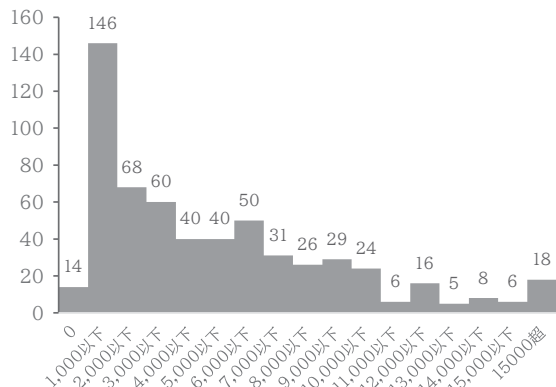
定義: 施設の内視鏡室における年間(対象期間)内視鏡検査治療総件数を入力してください。* CEの関与は関係ない

対象: 2021年4月1日~2022年3月31日

有効回答数: 587

項目	n	割合
0	14	(2.4%)
1,000以下	146	(24.9%)
2,000以下	68	(11.6%)
3,000以下	60	(10.2%)
4,000以下	40	(6.8%)
5,000以下	40	(6.8%)
6,000以下	50	(8.5%)
7,000以下	31	(5.3%)
8,000以下	26	(4.4%)
9,000以下	29	(4.9%)
10,000以下	24	(4.1%)
11,000以下	6	(1.0%)
12,000以下	16	(2.7%)
13,000以下	5	(0.9%)
14,000以下	8	(1.4%)
15,000以下	6	(1.0%)
15,000超	18	(3.1%)

問3. 内視鏡室(センター)における年間の内視鏡検査治療総件数を入力してください n=587



問4 内視鏡室（センター）ではCEが業務を行っていますか。（単一回答）

目的：施設の内視鏡室（センター）へのCE業務参画件数の把握のため。

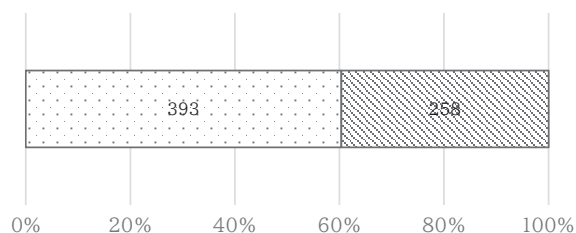
定義：施設の内視鏡室（センター）でCEが業務を行っているか、いないかを選択してください。 ※必要時（呼び出し）の対応も含む

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：651

項目	n	割合
業務を行っている	393	60.4%
業務を行っていない	258	39.6%

問4. 内視鏡室（センター）ではCEが業務を行っていますか。（単一回答）n=651



□(1)業務を行っている □(2)業務を行っていない

問5 内視鏡室（センター）への平日業務時間帯におけるCE配置人数（平均的な数値）を入力してください。

目的：施設の内視鏡室（センター）のCE配置人員の把握のため。

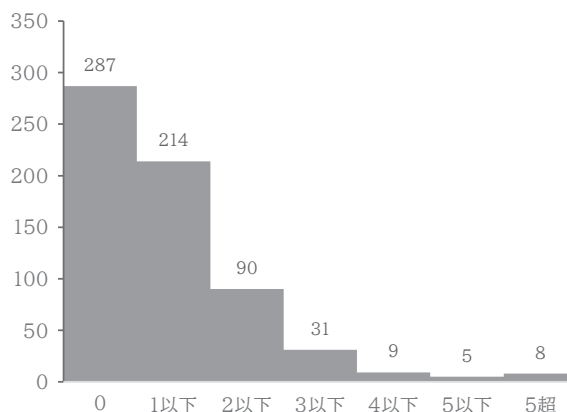
定義：内視鏡室（センター）に対する平日業務時間帯におけるCE配置人数の1日あたり平均値を入力してください（任意の1週間でも可）。 ※業務時間の制限はない、配置がない場合は0を入力

対象：2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数：647

項目	n	割合
0	287	(44.4%)
1以下	23	(3.6%)
2以下	190	(29.4%)
3以下	20	(3.1%)
4以下	74	(11.4%)
5以下	38	(5.9%)
5超	12	(1.9%)

問5. 内視鏡室（センター）への平日業務時間帯におけるCE配置人数（平均的な数値）を入力してください n=647



問6 内視鏡室（センター）でのCEの業務について選択してください。（複数回答）

目的：施設の内視鏡室（センター）のCE業務の内容把握のため。

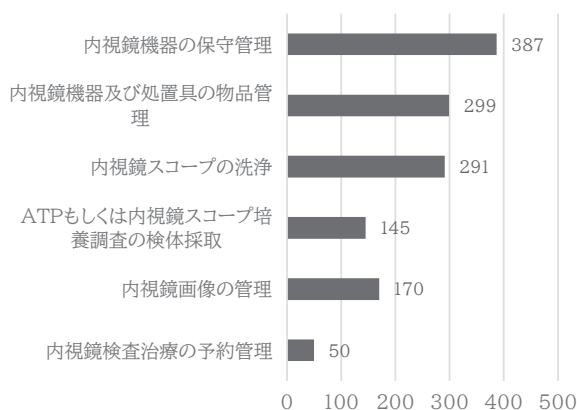
定義：施設の内視鏡室（センター）においてCEが行っている業務について選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：412

項目	n	割合
内視鏡機器の保守管理	387	(93.9%)
内視鏡機器及び処置具の物品管理	299	(72.6%)
内視鏡スコープの洗浄	291	(70.6%)
ATPもしくは内視鏡スコープ培養調査の検体採取	145	(35.2%)
内視鏡画像の管理	170	(41.3%)
内視鏡検査治療の予約管理	50	(12.1%)

問6. 内視鏡室（センター）でのCEの業務（複数回答）n=412



問7 内視鏡室(センター)において、CEが鉗子及び処置具操作を実施していますか(単一回答)

目的:内視鏡室(センター)でCEが鉗子及び処置具操作をどの程度実施しているか把握のため。

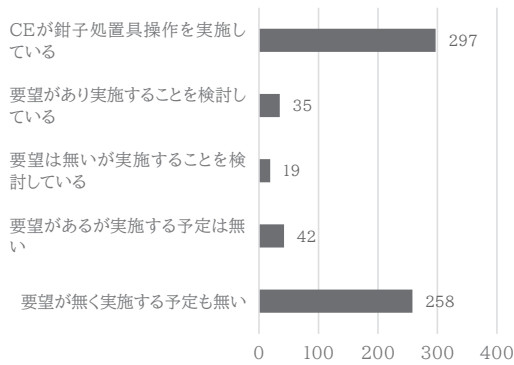
定義:施設の内視鏡室(センター)における内視鏡検査治療時においてCEが鉗子及び処置具操作をどの程度実施しているか、また実施していない場合の今後の対応について選択してください。(タスクシフト関連)

対象:2022年10月1日時点

有効回答数:651

項目	n	割合
CEが鉗子処置具操作を実施している	297	(45.6%)
要望があり実施することを検討している	35	(5.4%)
要望は無いが実施することを検討している	19	(2.9%)
要望があるが実施する予定は無い	42	(6.5%)
要望が無く実施する予定も無い	258	(39.6%)

問7.内視鏡室(センター)において、CEが鉗子及び処置具操作を実施していますか(単一回答) n=651



問8 内視鏡室(センター)において、鉗子及び処置具操作を実施している主な職種は誰ですか(複数回答)

目的:内視鏡室(センター)で鉗子及び処置具操作を実施している職種の把握のため。

定義:施設の内視鏡室(センター)における内視鏡検査治療時において鉗子及び処置具操作をどの職種が実施しているか選択してください。(タスクシフト関連)

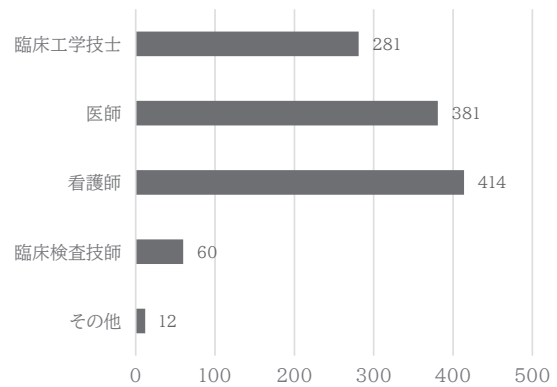
対象:2022年10月1日時点

有効回答数:651

項目	n	割合
臨床工学士	281	(43.2%)
医師	381	(58.5%)
看護師	414	(63.6%)
臨床検査技師	60	(9.2%)
その他	12	(1.8%)

行っていない(1),処置対応者は消化器内視鏡技師を取得後,許可を与えている(1),センターはあるが,まったく関与しないため不明(1),内視鏡技師(1),看護助手(1),放射線技師(1),内視鏡技師(1)

問8.内視鏡室(センター)において、鉗子及び処置具操作を実施している主な職種は誰ですか(複数回答) n=651



問9 内視鏡室(センター)において、CEが実施している鉗子及び処置具の具体的操作について選択してください。(複数回答)

目的:内視鏡室(センター)における内視鏡検査治療時においてCEがどのような具体的鉗子及び処置具操作を実施しているか把握するため。

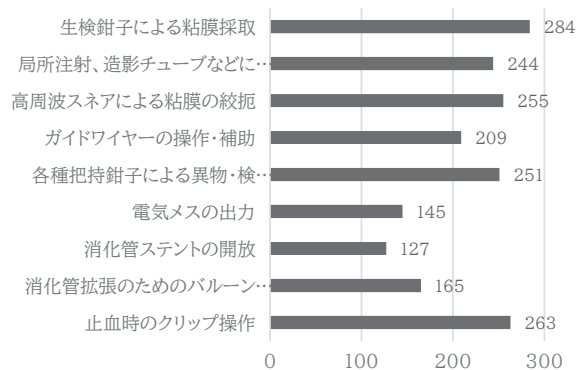
定義:施設の内視鏡室(センター)においてCEが実施している鉗子及び処置具の具体的な操作について選択してください。

対象:2022年10月1日時点

有効回答数:315

項目	n	割合
生検鉗子による粘膜採取	284	(90.2%)
局所注射,造影チューブなどによる薬液の注入	244	(77.5%)
高周波スネアによる粘膜の絞扼	255	(81.0%)
ガイドワイヤーの操作・補助	209	(66.3%)
各種把持鉗子による異物・検体採取	251	(79.7%)
電気メスの出力	145	(46.0%)
消化管ステントの開放	127	(40.3%)
消化管拡張のためのバルーンダイレーション	165	(52.4%)
止血時のクリップ操作	263	(83.5%)

問9.内視鏡室(センター)において、CEが実施している鉗子及び処置具の具体的操作について選択してください。(複数回答) n=315



問10 日臨工内視鏡業務専門認定士取得者数を入力してください。

目的：日臨工内視鏡業務専門認定士取得者数を把握する。

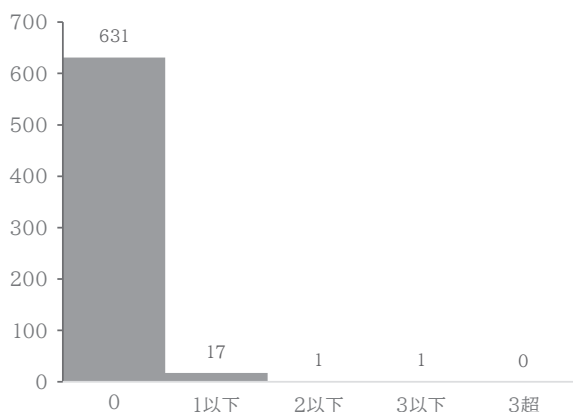
定義：日臨工内視鏡業務専門認定士取得者数を入力してください。 ※該当者がいない場合は0を入力してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：651

項目	n	割合
0	631	(96.9%)
1以下	17	(2.6%)
2以下	1	(0.2%)
3以下	1	(0.2%)
3超	0	(0.0%)

問10. 日臨工内視鏡業務専門認定士取得者数を入力してください n=651



問11 CEの消化器内視鏡技師の認定者数を入力してください

目的：CEの消化器内視鏡技師の認定者数を把握する。

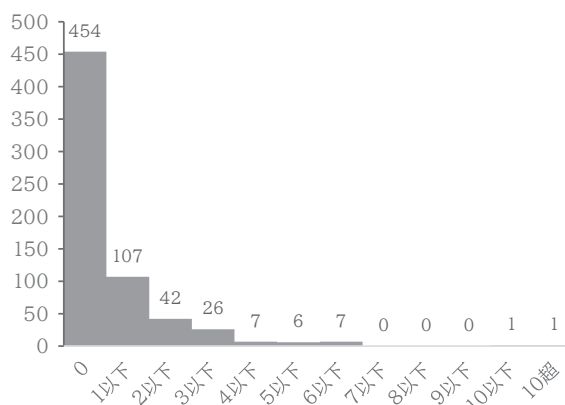
定義：CEの消化器内視鏡技師の認定者数を入力してください。 ※該当者がいない場合は0を入力してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：651

項目	n	割合
0	454	(69.7%)
1以下	107	(16.4%)
2以下	42	(6.5%)
3以下	26	(4.0%)
4以下	7	(1.1%)
5以下	6	(0.9%)
6以下	7	(1.1%)
7以下	0	(0.0%)
8以下	0	(0.0%)
9以下	0	(0.0%)
10以下	1	(0.2%)
10超	1	(0.2%)

問11. CEの消化器内視鏡技師の認定者数を入力してください n=651



問12 CEが休日もしくは夜間における緊急内視鏡(止血や異物除去等)に備えて待機を

行っていますか(単一回答)

目的：CEが緊急内視鏡に対する待機実施状況を把握する。

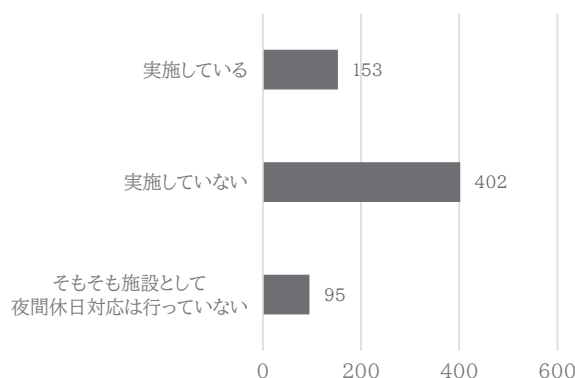
定義：緊急内視鏡に備え、院内もしくは自宅で待機を行っているか。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：651

項目	n	割合
実施している	153	(23.5%)
実施していない	402	(61.8%)
そもそも施設として夜間休日対応は行っていない	95	(14.6%)

問12. CEが休日もしくは夜間における緊急内視鏡(止血や異物除去等)に備えて待機を行っていますか(単一回答) n=651



X. 施設調査 手術室アドオン

問1 所属都道府県技士会, 問2 所属施設名は省略する.

問3 CEは麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務を実施していますか(単一回答)

目的: 麻酔管理の補助業務をCEが実施しているか把握する.

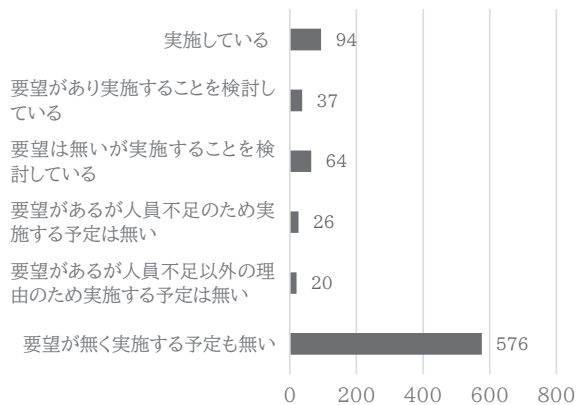
定義: CEは麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務を実施しているか選択する. ※麻酔器の機器管理などでの準備業務だけを行っている場合は含まない

対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 817

項目	n	割合
実施している	94	(11.5%)
要望があり実施することを検討している	37	(4.5%)
要望は無いが実施することを検討している	64	(7.8%)
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	26	(3.2%)
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	20	(2.4%)
要望が無く実施する予定も無い	576	(70.5%)

問3.CEは麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務を実施していますか(単一回答) n=817



問4 CEが行った年間の麻酔補助件数を入力してください.

目的: 施設の年間のCEによる麻酔補助件数把握のため.

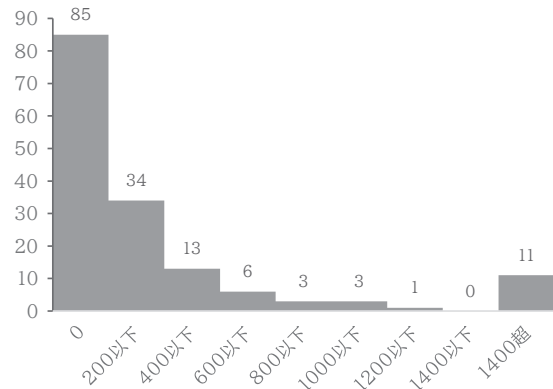
定義: 施設における年間(対象期間)麻酔補助実施総件数を入力してください.

対象: 2021年4月1日~2022年3月31日

有効回答数: 160

項目	n	割合
0	85	(53.1%)
200以下	34	(21.3%)
400以下	13	(8.1%)
600以下	6	(3.8%)
800以下	3	(1.9%)
1000以下	3	(1.9%)
1200以下	1	(0.6%)
1400以下	0	(0.0%)
1400超	11	(6.9%)

問4.CEが行った年間の麻酔補助件数を入力してください n=160



問5 CEが実施している麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務を全て選んでください.(複数回答)

目的: CEが実施する麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務の把握.

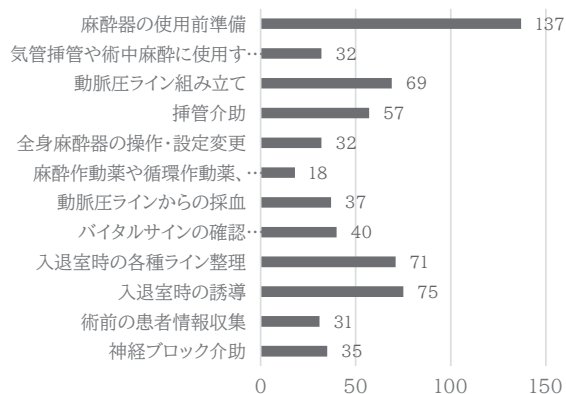
定義: CEが実施する麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務をすべて選択してください.

対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 153

項目	n	割合
麻酔器の使用前準備	137	(89.5%)
気管挿管や術中麻酔に使用する薬剤の準備	32	(20.9%)
動脈圧ライン組み立て	69	(45.1%)
挿管介助	57	(37.3%)
全身麻酔器の操作・設定変更	32	(20.9%)
麻酔作動薬や循環作動薬, 輸液の投与	18	(11.8%)
動脈圧ラインからの採血	37	(24.2%)
バイタルサインの確認・麻酔記録の記入	40	(26.1%)
入退室時の各種ライン整理	71	(46.4%)
入退室時の誘導	75	(49.0%)
術前の患者情報収集	31	(20.3%)
神経ブロック介助	35	(22.9%)

問5. CEが実施している麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務を全て選んでください。(複数回答) n=153



問6 CEは全身麻酔に必要な静脈路の確保を実施していますか。または今後実施する予定がありますか。(単一回答)

目的：全身麻酔に必要な静脈路の確保をCEがどの程度実施するか把握する。

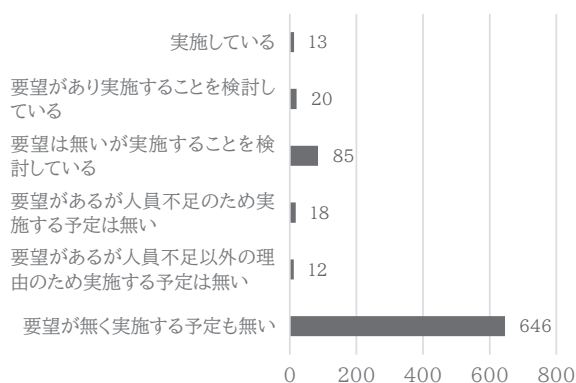
定義：全身麻酔に必要な静脈路の確保をCEは今後実施するかに対して近いものを選択する。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：794

項目	n	割合
実施している	13	(1.6%)
要望があり実施することを検討している	20	(2.5%)
要望は無いが実施することを検討している	85	(10.7%)
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	18	(2.3%)
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	12	(1.5%)
要望が無く実施する予定も無い	646	(81.4%)

問6. CEは全身麻酔に必要な静脈路の確保を実施していますか。または今後実施する予定がありますか。(単一回答) n=794



問7 手術室における清潔野補助をCEは実施していますか。または今後実施する予定がありますか。(単一回答)

目的：CEの手術室における清潔野補助の実施状況を把握する。

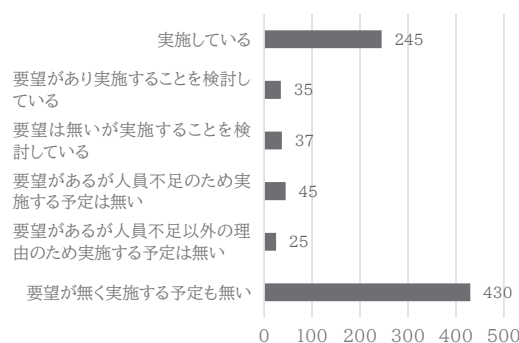
定義：CEの手術室における清潔野補助の実施状況に対して近いものを選択する。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：817

項目	n	割合
実施している	245	(30.0%)
要望があり実施することを検討している	35	(4.3%)
要望は無いが実施することを検討している	37	(4.5%)
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	45	(5.5%)
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	25	(3.1%)
要望が無く実施する予定も無い	430	(52.6%)

問7. 手術室における清潔野補助をCEは実施していますか。または今後実施する予定がありますか。(単一回答) n=817



問8 CEが手術室において清潔野補助を実施している診療科をすべて選択してください。(複数回答) 目的：CEが手術室において清潔野補助を実施している診療科を把握する。

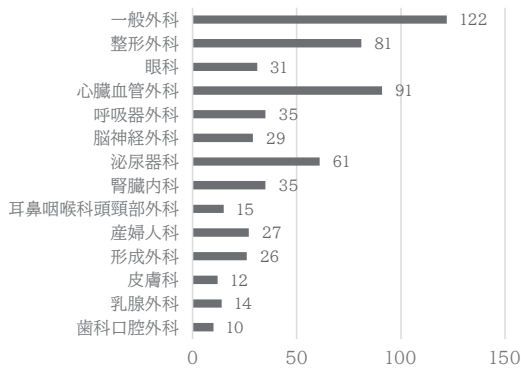
定義：CEが手術室において清潔野補助を実施している診療科を全て選択してください。

対象：2022年10月1日時点

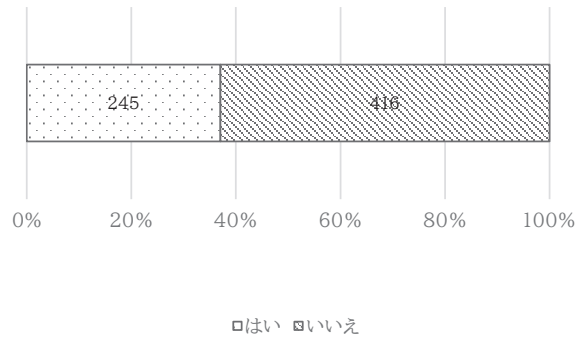
有効回答数：252

項目	n	割合
一般外科	122	(48.4%)
整形外科	81	(32.1%)
眼科	31	(12.3%)
心臓血管外科	91	(36.1%)
呼吸器外科	35	(13.9%)
脳神経外科	29	(11.5%)
泌尿器科	61	(24.2%)
腎臓内科	35	(13.9%)
耳鼻咽喉科頭頸部外科	15	(6.0%)
産婦人科	27	(10.7%)
形成外科	26	(10.3%)
皮膚科	12	(4.8%)
乳腺外科	14	(5.6%)
歯科口腔外科	10	(4.0%)

問8. 内視鏡外科手術を実施していますか (単一回答) n=252



問10. 手術支援ロボットを使用した手術を実施していますか (単一回答) n=661



問9 内視鏡外科手術を実施していますか(単一回答)
目的：所属施設の内視鏡外科手術の実施状況を把握する。

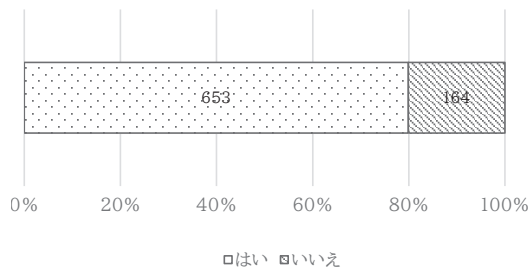
定義：内視鏡外科手術の実施について選択してください。 ※ CE 関与は関係ありません。手術支援ロボットを使用した手術も内視鏡外科手術に含みます。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：817

項目	n	割合
はい	653	(79.9%)
いいえ	164	(20.1%)

問9. 内視鏡外科手術を実施していますか(単一回答) n=817



問10 手術支援ロボットを使用した手術を実施していますか (単一回答)

目的：所属施設の手術支援ロボットを使用した手術の実施状況を把握する。

定義：手術支援ロボットを使用した手術の実施について選択してください。 ※ CE の関与は関係ありません。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：661

項目	n	割合
はい	245	(37.1%)
いいえ	416	(62.9%)

問11 CEはロボット支援手術業務を実施していますか。または今後実施しますか (単一回答)

目的：CEは内視鏡外科手術におけるロボット支援手術業務をどの程度実施しているか把握する。

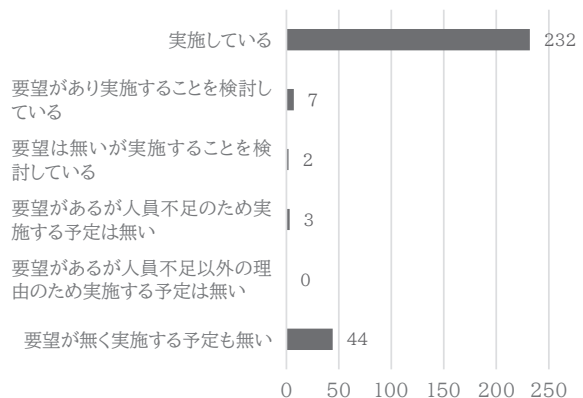
定義：CEは内視鏡外科手術におけるロボット支援手術業務をどの程度実施しているか近いものを選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：288

項目	n	割合
実施している	232	(80.6%)
要望があり実施することを検討している	7	(2.4%)
要望は無いが実施することを検討している	2	(0.7%)
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	3	(1.0%)
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	0	(0.0%)
要望が無く実施する予定も無い	44	(15.3%)

問11. CEはロボット支援手術業務を実施していますか。または今後実施しますか(単一回答) n=288



問12 CEが実施しているロボット支援手術業務を全て選んでください。(複数回答)

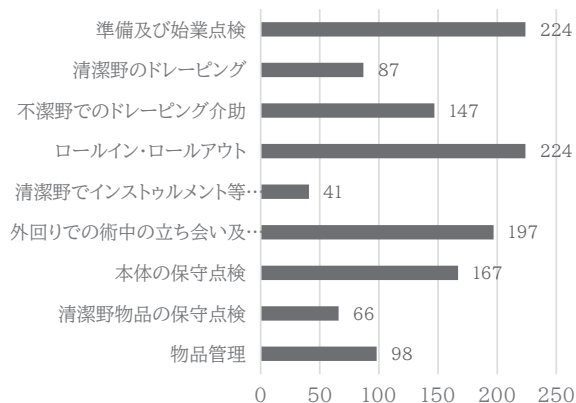
目的：CEが実施するロボット支援手術業務の把握。
 定義：CEが実施するロボット支援手術業務をすべて選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：239

項目	n	割合
準備及び始業点検	224	(93.7%)
清潔野のドレーピング	87	(36.4%)
不潔野でのドレーピング介助	147	(61.5%)
ロールイン・ロールアウト	224	(93.7%)
清潔野でインストゥルメント等の装着及びトラブル対応	41	(17.2%)
外回りでの術中の立ち会い及びトラブル対応	197	(82.4%)
本体の保守点検	167	(69.9%)
清潔野物品の保守点検	66	(27.6%)
物品管理	98	(41.0%)

問12.CEが実施しているロボット支援手術業務を全て選んでください。(複数回答) n=239



問13 CEは内視鏡外科手術におけるスコープオペレーター業務を実施していますか。または今後実施しますか(単一回答)

目的：CEは内視鏡外科手術におけるスコープオペレーター業務をどの程度実施しているか把握する。

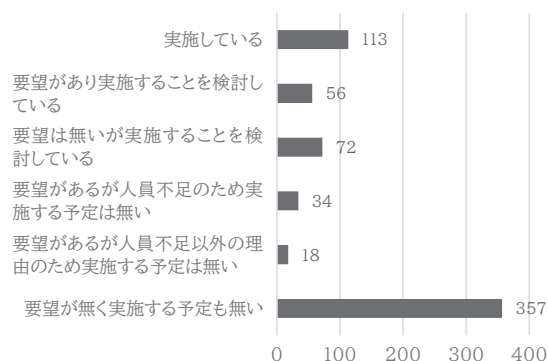
定義：CEは内視鏡外科手術におけるスコープオペレーター業務をどの程度実施しているか近いものを選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：650

項目	n	割合
実施している	113	(17.4%)
要望があり実施することを検討している	56	(8.6%)
要望は無いが実施することを検討している	72	(11.1%)
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	34	(5.2%)
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	18	(2.8%)
要望が無く実施する予定も無い	357	(54.9%)

問13.CEは内視鏡外科手術におけるスコープオペレーター業務を実施していますか。または今後実施しますか(単一回答) n=650



問14 CEが行った年間のスコープオペレーター業務件数を入力してください。

目的：CEによる施設の年間のスコープオペレーター業務件数把握のため。

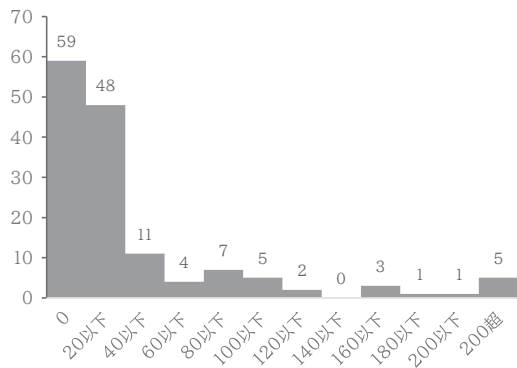
定義：CEによる施設における年間(対象期間)スコープオペレーター実施件数を入力してください。

対象：2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数：146

項目	n	割合
0	59	(40.1%)
20以下	48	(32.7%)
40以下	11	(7.5%)
60以下	4	(2.7%)
80以下	7	(4.8%)
100以下	5	(3.4%)
120以下	2	(1.4%)
140以下	0	(0.0%)
160以下	3	(2.0%)
180以下	1	(0.7%)
200以下	1	(0.7%)
200超	5	(3.4%)

問14. CEが行った年間のスコープオペレーター業務件数を入力してください n=146



問15 CEがスコープオペレーター業務を実施している内視鏡外科手術を全て選択してください(複数回答)

目的: CEがスコープオペレーター業務を実施している内視鏡外科手術を把握する.

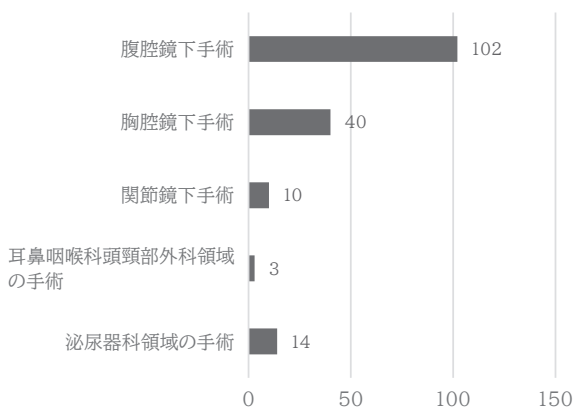
定義: CEがスコープオペレーター業務を実施している内視鏡外科手術をすべて選択してください.

対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 121

項目	n	割合
腹腔鏡下手術	102	(84.3%)
胸腔鏡下手術	40	(33.1%)
関節鏡下手術	10	(8.3%)
耳鼻咽喉科頭頸部外科領域の手術	3	(2.5%)
泌尿器科領域の手術	14	(11.6%)

問15. CEがスコープオペレーター業務を実施している内視鏡外科手術を全て選択してください(複数回答) n=121



XI. 施設調査 不整脈アブレーション治療アドオン
問1 所属都道府県技士会, 問2 所属施設名は省略する.

問3 不整脈カテーテルアブレーションに従事する臨床工学技士は何名在籍していますか?

目的: アブレーション業務に従事している技士数の実数を把握する.

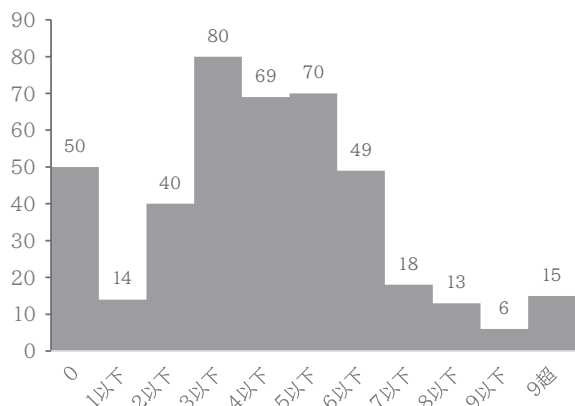
定義: 従事している臨床工学技士がいない場合は0を入力

対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 424

項目	n	割合
0	50	(11.8%)
1以下	14	(3.3%)
2以下	40	(9.4%)
3以下	80	(18.9%)
4以下	69	(16.3%)
5以下	70	(16.5%)
6以下	49	(11.6%)
7以下	18	(4.2%)
8以下	13	(3.1%)
9以下	6	(1.4%)
9超	15	(3.5%)

問3. 不整脈カテーテルアブレーションに従事する臨床工学技士は何名在籍していますか? n=424



問4 不整脈カテーテルアブレーションにおいて臨床工学技士が担当している業務を選択してください。(複数回答)

目的：アブレーション業務実態を把握する。

定義：複数選択（タスクシフト関連）

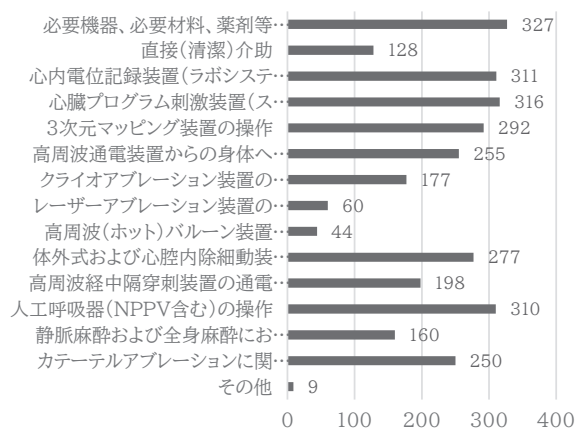
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：381

項目	n	割合
必要機器、必要材料、薬剤等の準備や間接介助	327	(85.8%)
直接(清潔)介助	128	(33.6%)
心内電位記録装置(ラボシステム)の操作	311	(81.6%)
心臓プログラム刺激装置(スティムレータ)の操作	316	(82.9%)
3次元マッピング装置の操作	292	(76.6%)
高周波通電装置からの身体への電気的負荷の実施(通電操作)	255	(66.9%)
クライオアブレーション装置の冷凍焼灼操作	177	(46.5%)
レーザーアブレーション装置の焼灼操作	60	(15.7%)
高周波(ホット)バルーン装置の焼灼操作	44	(11.5%)
体外式および心腔内除細動装置のショック操作	277	(72.7%)
高周波経中隔穿刺装置の通電操作	198	(52.0%)
人工呼吸器(NPPV含む)の操作	310	(81.4%)
静脈麻酔および全身麻酔におけるバイタルモニタリング(EtCO2, BIS)	160	(42.0%)
カテーテルアブレーションに関するデータ管理業務	250	(65.6%)
その他	9	(2.4%)

その他内訳：食道温センサの位置調整(1),食道温センサの抜去(1),アイジェルの抜去(1),心エコー検査(1),メーカー勤務(1)

問4.不整脈カテーテルアブレーションにおいて臨床工学技士が担当している業務を選択してください(複数回答)n=381



問5 不整脈カテーテルアブレーションにおいて、外部業者(メーカーおよび販売代理店)がアブレーション関連医療機器操作を行っていますか?(単一回答)

目的：アブレーション業務における業者の操作行為を把握する。

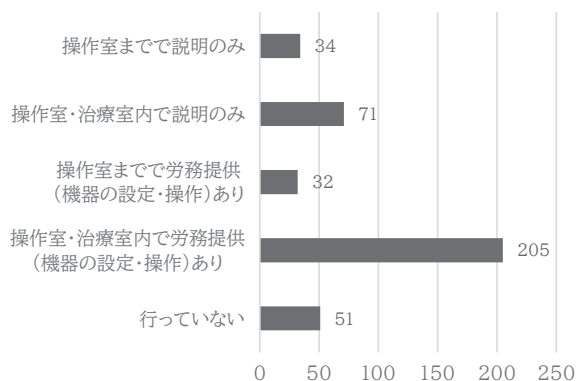
定義：業者の操作行為を選択する。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：393

項目	n	割合
操作室までで説明のみ	34	(8.7%)
操作室・治療室内で説明のみ	71	(18.1%)
操作室までで労務提供(機器の設定・操作)あり	32	(8.1%)
操作室・治療室内で労務提供(機器の設定・操作)あり	205	(52.2%)
行っていない	51	(13.0%)

問5.不整脈カテーテルアブレーションにおいて、外部業者(メーカーおよび販売代理店)がアブレーション関連医療機器操作を行っていますか?(単一回答) n=393



問6 不整脈カテーテルアブレーションに従事する臨床工学技士のうち日臨工・不整脈治療関連専門臨床工学技士は何名在籍していますか?

目的：アブレーション業務に従事している技士数のうち専門臨床工学技士の割合を把握する。

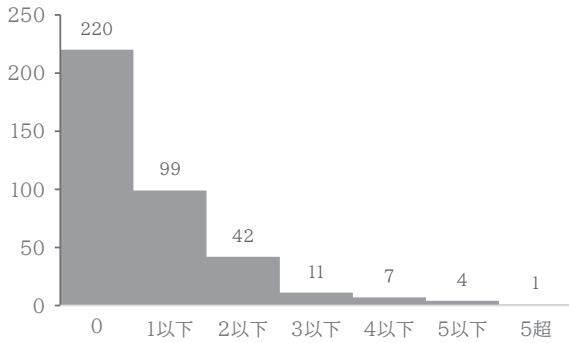
定義：従事している臨床工学技士がいない場合は0を入力

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：425

項目	n	割合
0	220	(51.8%)
1以下	99	(23.3%)
2以下	42	(9.9%)
3以下	11	(2.6%)
4以下	7	(1.6%)
5以下	4	(0.9%)
5超	1	(0.2%)

問6. 不整脈カテーテルアブレーションに従事する臨床工学技士のうち日臨工・不整脈治療関連専門臨床工学技士は何名在籍していますか？ n=425



XII. 施設調査 心臓植込み型デバイス関連アドオン
問1 所属都道府県技士会，問2 所属施設名は省略する。

問3 心臓植込み型デバイス関連業務に従事する臨床工学技士は何名在籍していますか？

目的：デバイス関連業務に従事している技士数の実数を把握する。

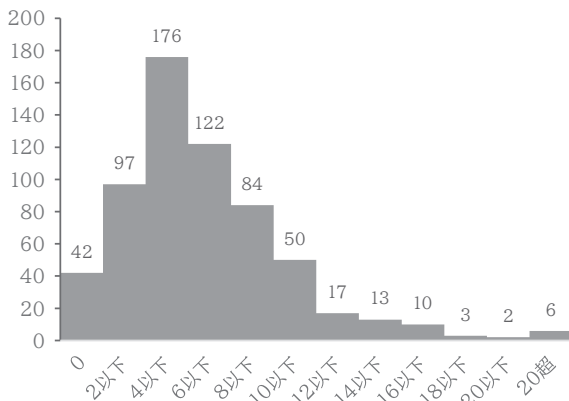
定義：従事している臨床工学技士がない場合は0を入力

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：621

項目	n	割合
0	42	(6.8%)
2以下	97	(15.6%)
4以下	176	(28.3%)
6以下	122	(19.6%)
8以下	84	(13.5%)
10以下	50	(8.1%)
12以下	17	(2.7%)
14以下	13	(2.1%)
16以下	10	(1.6%)
18以下	3	(0.5%)
20以下	2	(0.3%)
20超	6	(1.0%)

問3. 心臓植込み型デバイス関連業務に従事する臨床工学技士は何名在籍していますか？ n=621



問4 心臓植込み型デバイス診療においてCEが担当している業務を選択してください。(複数回答)

目的：デバイス関連業務実態を把握する。

定義：心臓植込み型デバイス診療においてCEが担当している業務を選択してください。

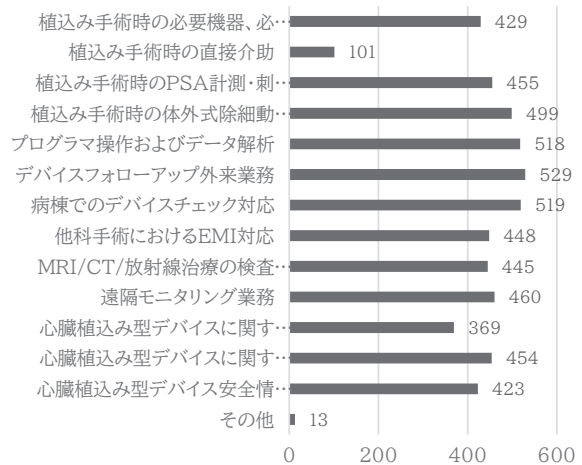
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：586

項目	n	割合
植込み手術時の必要機器，必要材料，薬剤等の準備や間接介助	429	(73.2%)
植込み手術時の直接介助	101	(17.2%)
植込み手術時のPSA計測・刺激操作	455	(77.6%)
植込み手術時の体外式除細動器，体外式ペースメーカの操作	499	(85.2%)
プログラマ操作およびデータ解析	518	(88.4%)
デバイスフォローアップ外来業務	529	(90.3%)
病棟でのデバイスチェック対応	519	(88.6%)
他科手術におけるEMI対応	448	(76.5%)
MRI/CT/放射線治療の検査や治療時対応	445	(75.9%)
遠隔モニタリング業務	460	(78.5%)
心臓植込み型デバイスに関する患者指導および説明業務	369	(63.0%)
心臓植込み型デバイスに関するデータ管理業務	454	(77.5%)
心臓植込み型デバイス安全情報に関する管理業務	423	(72.2%)
その他	13	(2.2%)

その他内訳：関与していない(3)，外来患者スケジュールの管理，外来予約調整，院内講習会講師，WCDに関する患者説明およびデータ管理業務

問4 心臓植込み型デバイス診療においてCEが担当している業務 n=584



問5 年間のプログラマによるテレメトリ業務の回数は何件ですか？（単一回答）

目的：全国の施設におけるテレメトリ業務の実数を把握する。

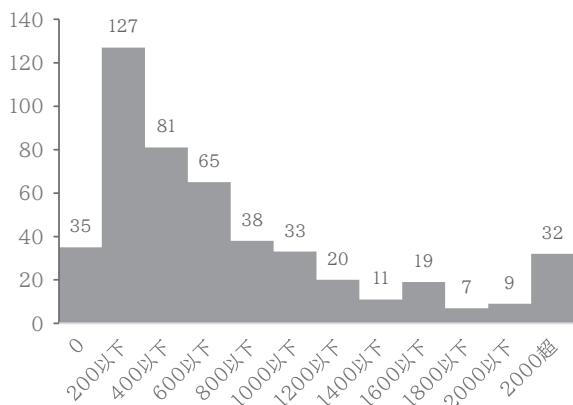
定義：年間のプログラマによるテレメトリ業務の回数を記載してください。

対象：2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数：477

項目	n	割合
0	35	(7.3%)
200以下	127	(26.6%)
400以下	81	(17.0%)
600以下	65	(13.6%)
800以下	38	(8.0%)
1000以下	33	(6.9%)
1200以下	20	(4.2%)
1400以下	11	(2.3%)
1600以下	19	(4.0%)
1800以下	7	(1.5%)
2000以下	9	(1.9%)
2000超	32	(6.7%)

問5. 年間のプログラマによるテレメトリ業務の回数は何件ですか？（単一回答）n=477



問6 心臓植込み型デバイス診療において外部業者（メーカーおよび販売代理店）がプログラマ機器操作を行っていますか？（単一回答）

目的：デバイス業務における業者の操作行為を把握する。

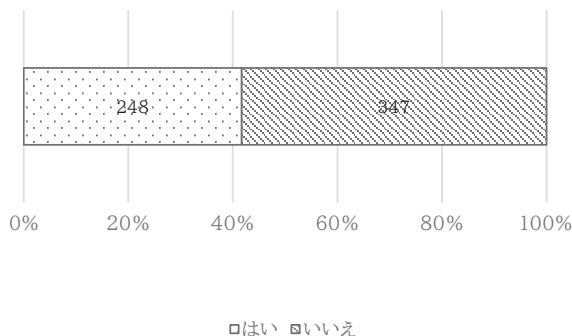
定義：はい、いいえで回答

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：595

項目	n	割合
はい	248	(41.7%)
いいえ	347	(58.3%)

問6 心臓植込み型デバイス診療において外部業者がプログラマ機器操作を行っているか
n=595



問7 心臓植込み型デバイス関連業務に従事する臨床工学技士のうち日臨工・不整脈治療関連専門臨床工学技士は何名在籍していますか？

目的：デバイス関連業務に従事している技士数のうち専門臨床工学技士の割合を把握する。

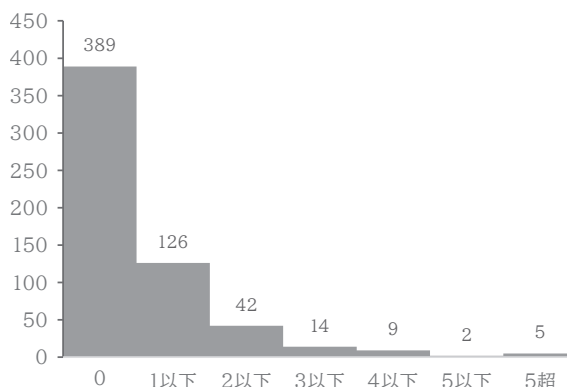
定義：従事している臨床工学技士がいない場合は0を入力

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：587

項目	n	割合
0	389	(66.3%)
1以下	126	(21.5%)
2以下	42	(7.2%)
3以下	14	(2.4%)
4以下	9	(1.5%)
5以下	2	(0.3%)
5超	5	(0.9%)

問7. 心臓植込み型デバイス関連業務に従事する臨床工学技士のうち日臨工・不整脈治療関連専門臨床工学技士は何名在籍していますか？ n=587



Ⅷ. 施設調査 高気圧治療アドオン

問1 所属都道府県技士会，問2 所属施設名は省略する。

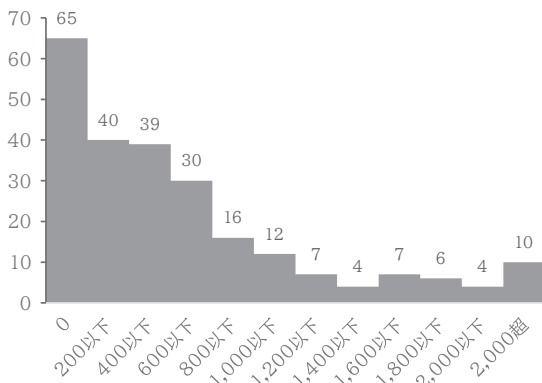
問3 高気圧酸素治療実施件数を入力してください。
 目的：施設の高気圧酸素治療実施件数把握のため。
 定義：施設の高気圧酸素治療実施件数を入力してください。

対象：2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数：240

項目	n	割合
0	65	(27.1%)
200以下	40	(16.7%)
400以下	39	(16.3%)
600以下	30	(12.5%)
800以下	16	(6.7%)
1,000以下	12	(5.0%)
1,200以下	7	(2.9%)
1,400以下	4	(1.7%)
1,600以下	7	(2.9%)
1,800以下	6	(2.5%)
2,000以下	4	(1.7%)
2,000超	10	(4.2%)

問3. 高気圧酸素治療実施件数を入力してください
n=240



問4 高気圧酸素治療装置（第1種装置）の保有数を入力してください。

目的：施設の高気圧酸素治療装置（第1種装置）の台数把握のため。

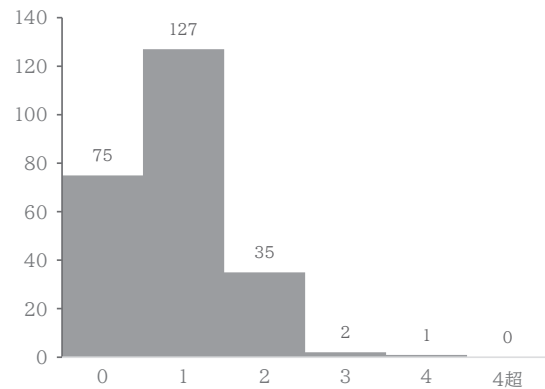
定義：施設の高気圧酸素治療装置（第1種装置）の保有数を入力してください。保有していない場合は0を入力してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：240

項目	n	割合
0	75	(31.3%)
1	127	(52.9%)
2	35	(14.6%)
3	2	(0.8%)
4	1	(0.4%)
4超	0	(0.0%)

問4. 高気圧酸素治療装置（第1種装置）の保有数を入力してください n=240



問5 高気圧酸素治療に関わる臨床工学技士の人数を記載してください。

目的：高気圧酸素治療に従事する専任者および兼任者数を把握する。

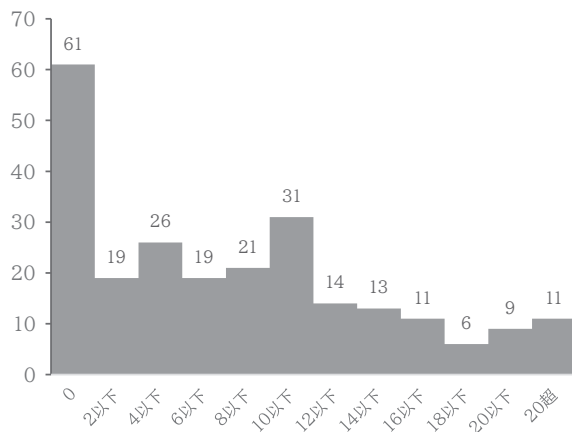
定義：高気圧酸素治療に関わる臨床工学技士の専任者・兼任者を含めた総数を常勤換算で記載してください。関わる臨床工学技士がいない場合は0を入力してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：146

項目	n	割合
0	61	(41.8%)
2以下	19	(13.0%)
4以下	26	(17.8%)
6以下	19	(13.0%)
8以下	21	(14.4%)
10以下	31	(21.2%)
12以下	14	(9.6%)
14以下	13	(8.9%)
16以下	11	(7.5%)
18以下	6	(4.1%)
20以下	9	(6.2%)
20超	11	(7.5%)

n



問6 高気圧酸素治療に関わる臨床工学技士の専任者人数は全部で何人ですか。

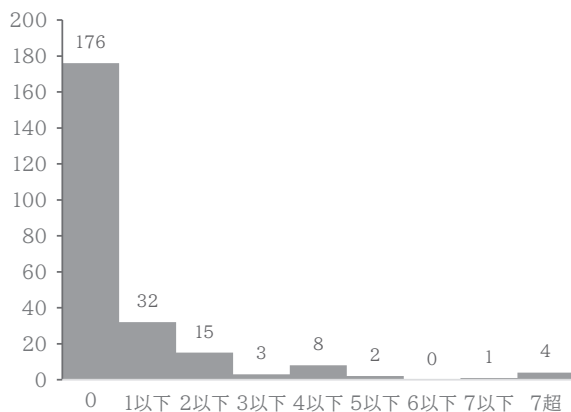
目的:高気圧酸素治療に従事する専任者を把握する。
 定義:高気圧酸素治療に関わる臨床工学技士の専任者を選択してください。専任者がいない場合は0を入力してください。※専任者とは、担当者となっており、その他の診療を兼任しても差し支えないものとする。ただし、その就業の少なくとも5割以上、当該業務に従事している必要があるものとする。

対象:2022年10月1日時点

有効回答数:241

項目	n	割合
0	176	(73.0%)
1以下	32	(13.3%)
2以下	15	(6.2%)
3以下	3	(1.2%)
4以下	8	(3.3%)
5以下	2	(0.8%)
6以下	0	(0.0%)
7以下	1	(0.4%)
7超	4	(1.7%)

問6. 高気圧酸素治療に関わる臨床工学技士の専任者人数は全部で何人ですか n=241



問7 臨床工学技士が休日もしくは夜間における緊急的な高気圧酸素治療に備えて待機を行っていますか。(単一回答)

目的:臨床工学技士の緊急高気圧酸素治療に対する待機実施状況を把握する。

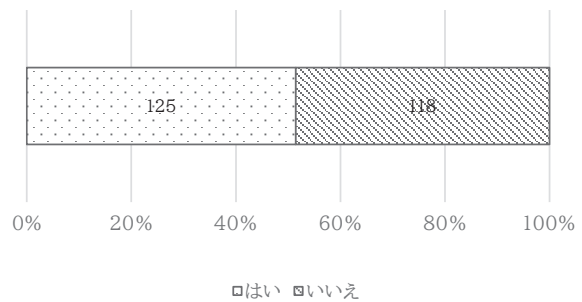
定義:緊急高気圧酸素治療に備え、院内もしくは自宅で待機を行っているか。

対象:2022年10月1日時点

有効回答数:243

項目	n	割合
はい	125	51.4%
いいえ	118	48.6%

問7.臨床工学技士が休日もしくは夜間における緊急的な高気圧酸素治療に備えて待機を行っていますか(単一回答) n=243



問8 高気圧酸素治療の災害(緊急時)訓練を行っていますか。(単一回答)

目的:高気圧酸素治療の災害(緊急時)訓練の実施状況を把握する。

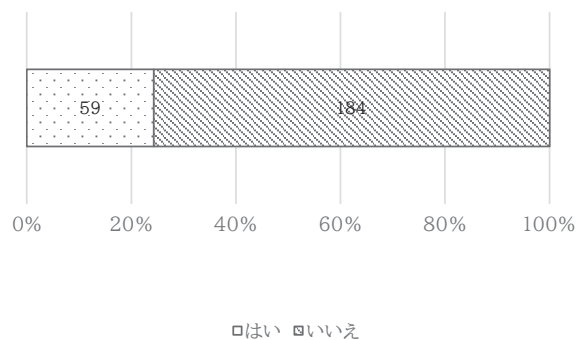
定義:対象期間(1年間)に高気圧酸素治療の災害(緊急時)訓練の実施状況を入力してください。

対象:対象:2021年4月1日~2022年3月31日

有効回答数:243

項目	n	割合
はい	59	(24.3%)
いいえ	184	(75.7%)

問8. 高気圧酸素高気圧酸素高気圧酸素治療の災害(緊急時)訓練を行っていますか。(単一回答) n=243



問9 高気圧酸素治療の臨床実習を受け入れていますか。(単一回答)

目的:高気圧酸素治療の臨床実習の実施状況を把握する。

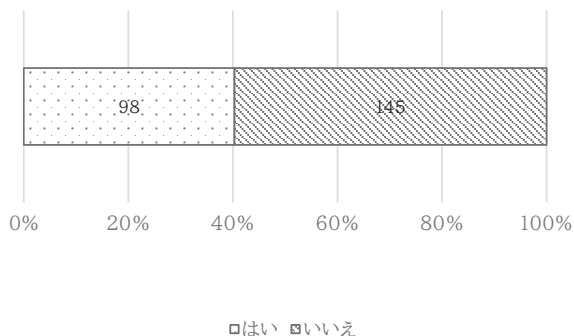
定義:高気圧酸素治療の臨床実習を受け入れているか。

対象:2022年10月1日時点

有効回答数:243

項目	n	割合
はい	98	40.3%
いいえ	145	59.7%

問9.高気圧酸素治療の臨床実習を受け入れていますか
(単一回答) n=243



問10 高気圧酸素治療の臨床実習時間を入力してください。(単一回答)

目的：施設の高気圧酸素治療臨床実習時間の把握のため。

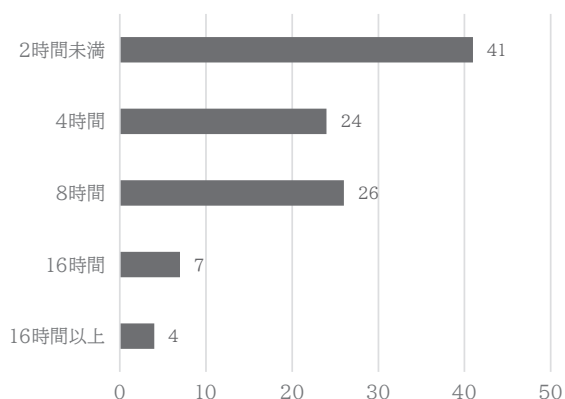
定義：施設の高気圧酸素治療の臨床実習時間に近いものを選択。

対象：2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数：102

項目	n	割合
2時間未満	41	(40.2%)
4時間	24	(23.5%)
8時間	26	(25.5%)
16時間	7	(6.9%)
16時間以上	4	(3.9%)

問10.高気圧酸素治療の臨床実習時間(単一回答)
n=102



XV. 施設調査 ハイパーサーミアアドオン

問1 所属都道府県技士会, 問2 所属施設名は省略する。

問3 CEがハイパーサーミア業務に関与していますか(単一回答)

目的：ハイパーサーミアへの関与を把握する。

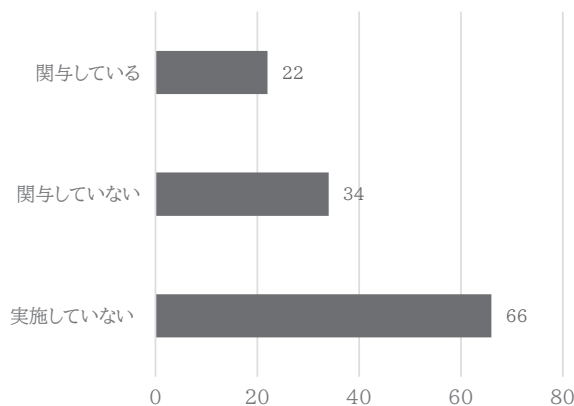
定義：ハイパーサーミアへの関与の有無を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：122

項目	n	割合
関与している	22	(18.0%)
関与していない	34	(27.9%)
実施していない	66	(54.1%)

問3. CEがハイパーサーミア業務に関与していますか
(単一回答) n=122



問4 ハイパーサーミアで深在部の治療件数を入力してください。

目的：施設のハイパーサーミアで深在部の実施件数把握のため。

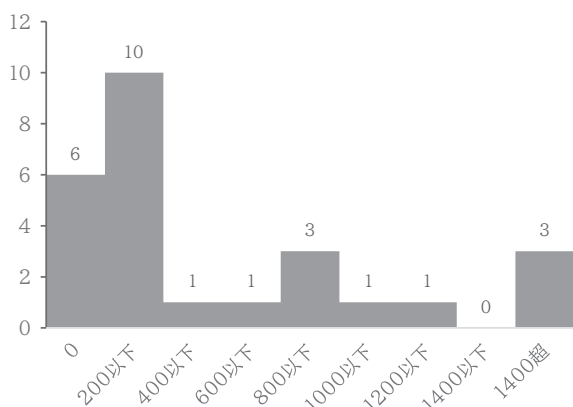
定義：施設のハイパーサーミアで深在部の実施件数を入力してください。

対象：2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数：26

項目	n	割合
0	6	(23.1%)
200以下	10	(38.5%)
400以下	1	(3.8%)
600以下	1	(3.8%)
800以下	3	(11.5%)
1000以下	1	(3.8%)
1200以下	1	(3.8%)
1400以下	0	(0.0%)
1400超	3	(11.5%)

問4. ハイパーサーミアで深在部の治療件数を入力してください n=26



問5 ハイパーサーミアで浅在部の治療件数を入力してください。

目的：施設のハイパーサーミアで浅在部の実施件数把握のため。

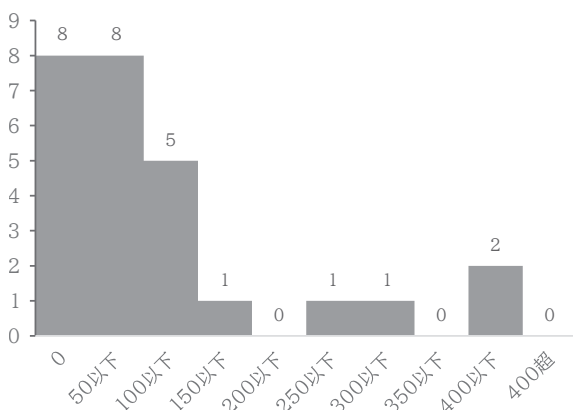
定義：施設のハイパーサーミアで浅在部の実施件数を入力してください。

対象：2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数：26

項目	n	割合
0	8	(30.8%)
50以下	8	(30.8%)
100以下	5	(19.2%)
150以下	1	(3.8%)
200以下	0	(0.0%)
250以下	1	(3.8%)
300以下	1	(3.8%)
350以下	0	(0.0%)
400以下	2	(7.7%)
400超	0	(0.0%)

問5. ハイパーサーミアで浅在部の治療件数を入力してください n=26



問6 CEが関与したハイパーサーミアの治療件数を入力してください。

目的：CEが関与した施設のハイパーサーミア実施件数の把握のため。

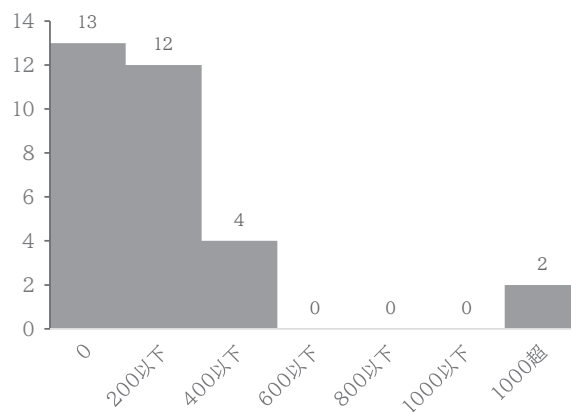
定義：CEが関与した施設のハイパーサーミア実施件数を入力する。

対象：2021年4月1日～2022年3月31日

有効回答数：31

項目	n	割合
0	13	(41.9%)
200以下	12	(38.7%)
400以下	4	(12.9%)
600以下	0	(0.0%)
800以下	0	(0.0%)
1000以下	0	(0.0%)
1000超	2	(6.5%)

問6. CEが関与したハイパーサーミアの治療件数を入力してください n=31



問7 ハイパーサーミアの治療環境（集学的治療）を選択してください。（複数回答）

目的：施設のハイパーサーミアの治療環境（集学的治療）把握のため。

定義：施設のハイパーサーミアの治療環境（集学的治療）を選択する。

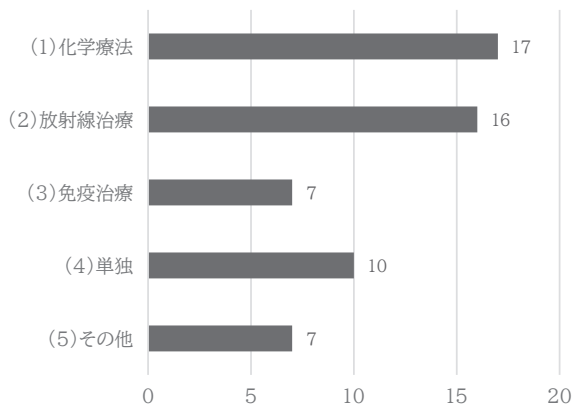
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：26

項目	n	割合
化学療法	17	(65.4%)
放射線治療	16	(61.5%)
免疫治療	7	(26.9%)
単独	10	(38.5%)
その他	7	(26.9%)

その他内訳：不明(3),陽子線, BNCT(1),高気圧酸素治療(1),高気圧酸素治療との併用(1)

問7.ハイパーサーミアの治療環境(集学的治療)
(複数回答) n=26



問8 ハイパーサーミアにおける臨床工学技士の業務体制を選択してください。(単一回答)

目的: CEのハイパーサーミアにおける業務体制を把握するため。

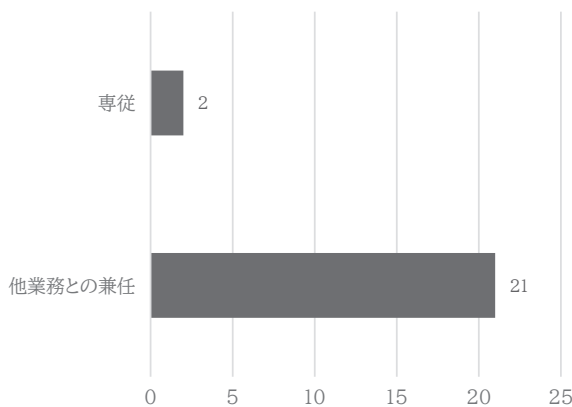
定義: CEのハイパーサーミアにおける業務体制を選択する。※専従:担当者となっており, その他の業務は緊急時以外は行わないものとする

対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 23

項目	n	割合
専従	2	(8.7%)
他業務との兼任	21	(91.3%)

問8,ハイパーサーミアにおける臨床工学技士の業務体制
(単一回答) n=23



問9 ハイパーサーミアに関わる臨床工学技士の人数は全部で何人ですか

目的: ハイパーサーミアに従事する臨床工学技士の人数を把握する。

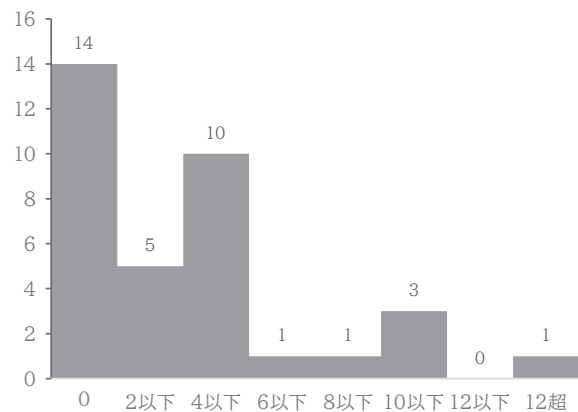
定義: ハイパーサーミアに従事する臨床工学技士の人数を入力して選択してください。 ※関与する臨床工学技士がいない場合は0を入力してください

対象: 2022年10月1日時点

有効回答数: 35

項目	n	割合
0	14	(40.0%)
2以下	5	(14.3%)
4以下	10	(28.6%)
6以下	1	(2.9%)
8以下	1	(2.9%)
10以下	3	(8.6%)
12以下	0	(0.0%)
12超	1	(2.9%)

問9.ハイパーサーミアに関わる臨床工学技士の人数は全部で何人ですか n=35



問10 CEがハイパーサーミアに従事する平日1日あたりの配置人数(平均的な数値)を入力してください。

目的: CEのハイパーサーミアに従事する配置人員を把握するため。

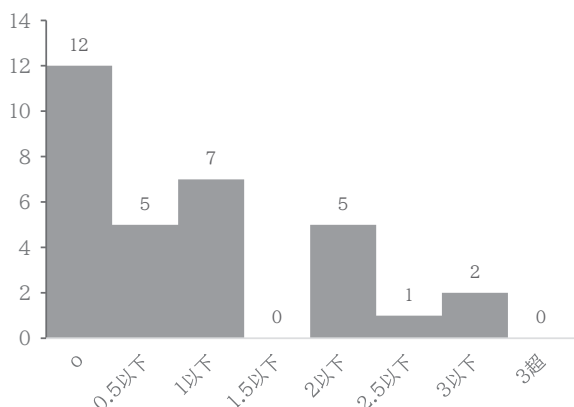
定義: CEがハイパーサーミアに従事する平日1日あたりの平均配置人数を入力してください。 ※1人あたり4時間未満の場合は0.5, 4時間以上の場合1を入力する。

対象: 2021年4月1日~2022年3月31日

有効回答数: 28

項目	n	割合
0	12	(42.9%)
0.5以下	5	(17.9%)
1以下	7	(25.0%)
1.5以下	0	(0.0%)
2以下	5	(17.9%)
2.5以下	1	(3.6%)
3以下	2	(7.1%)
3超	0	(0.0%)

問10. CEがハイパーサーミアに従事する平日1日あたりの配置人数(平均的な数値)を入力してください n=28



問11 ハイパーサーミア治療時の医師の立ち合い状況について選択してください。(単一回答)

目的：施設のハイパーサーミア治療時の医師の立ち合い状況把握のため。

定義：施設のハイパーサーミア治療時の医師の立ち合い状況を選択する。

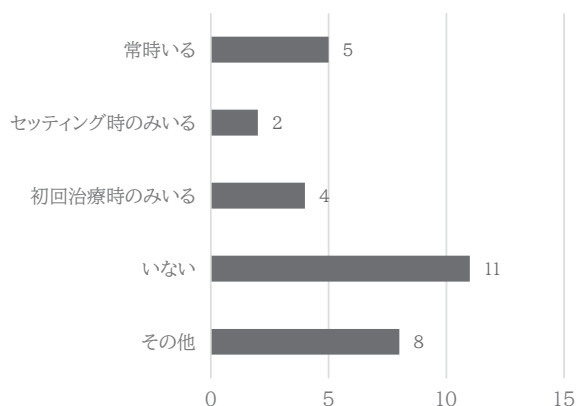
対象：2022年10月1日時点

有効回答数：30

項目	n	割合
常時いる	5	(16.7%)
セッティング時のみいる	2	(6.7%)
初回治療時のみいる	4	(13.3%)
いない	11	(36.7%)
その他	8	(26.7%)

その他内訳:不明(3),治療前に診察を行っている。(1),途中で診察で来る(1),必要な患者のみ(1),Dr 必要時は医師を呼ぶ(1)

問11.ハイパーサーミア治療時の医師の立ち合い状況について選択してください。(単一回答) n=30



問12 ハイパーサーミアで発生した機器トラブルのうち、CEで問題解決できる割合はどの程度ありますか。(単一回答)

目的：ハイパーサーミア室で発生した機器トラブルのうち、CEで対応可能であるものがどの程度であるか把握する。

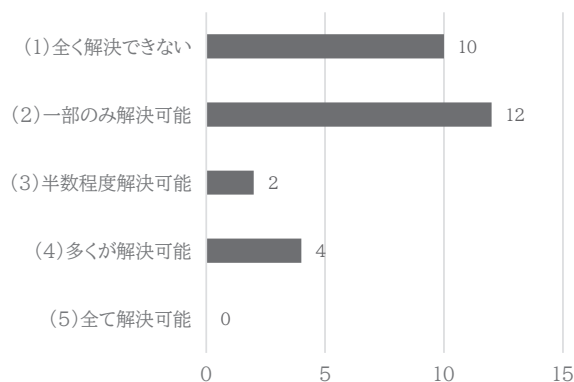
定義：ハイパーサーミア室で発生した機器トラブルのうち、CEで問題解決できる割合を選択してください。

対象：2022年10月1日時点

有効回答数：28

項目	n	割合
(1)全く解決できない	10	(35.7%)
(2)一部のみ解決可能	12	(42.9%)
(3)半数程度解決可能	2	(7.1%)
(4)多くが解決可能	4	(14.3%)
(5)全て解決可能	0	(0.0%)

問12.ハイパーサーミアで発生した機器トラブルのうち、CEで問題解決できる割合はどの程度ありますか。(単一回答) n=28



問13 CE に対するハイパーサーミアの教育体制について選択してください。(複数回答)

目的：施設のハイパーサーミアの教育体制把握のため.

定義：施設の CE に対するハイパーサーミアの教育体制を選択する.

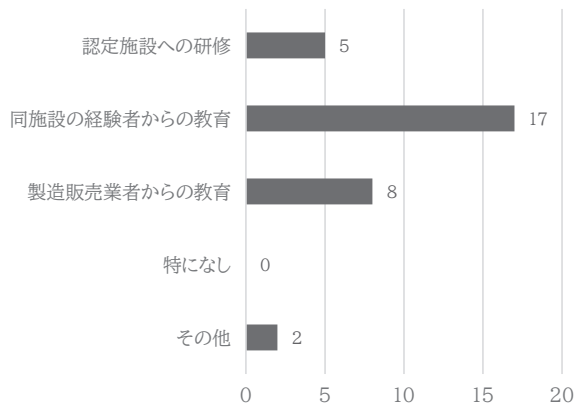
対象：2022 年 10 月 1 日時点

有効回答数：32

項目	n	割合
認定施設への研修	5	(15.6%)
同施設の経験者からの教育	17	(53.1%)
製造販売業者からの教育	8	(25.0%)
特になし	0	(0.0%)
その他	3	(6.3%)

その他内訳：認定施設(1),モチベーションが高ければ,学会参加.(1),関与していないため特に行っていない(1)

問13. CEに対するハイパーサーミアの教育体制
(複数回答) n=32



以上